講義名	1000001001 宗教学（看護学科）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1. 学校法人光星学院と八戸学院大学の建学の精神を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
2. 旧約聖書を通して人間と社会、世界にについて考えることを通して、人間の真のニーズをつかむ。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

宗教を学問として扱う方法論には様々な方法論やアプローチが考えられるが、世界の様々な諸宗教を客観的に考察する比較宗教学的な方法論には、実はあまり大きな意味はない。むしろ、本学も建学の精神とするカトリシズムやキリスト教の根幹にある、聖書という一つの普遍的な書物に対して学問的に真剣に向き合い理解を深めることで、21世紀の現代社会でも通用する気付きを得ることができるものである。
　本講義では、聖書の中でもその大部分を占め、様々な文学ジャンルを収録する『旧約聖書』を取り扱う。旧約聖書は、古代人たちの著作でありながら、極めて過酷な環境と壮大な歴史を背景のために、大変深い人間理解を持ち、また人間社会に対する鋭いまなざしを持ち合わせている。このような文学に学ぶことは、今日なお有意義であり単に「宗教学」に触れる以上の意味がある。真の目標は、聖書を学ぶのみならず、聖書を通して人間について考え、これからの日本の社会に必要なことを考えるための補助線を得ることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

参考文献

『聖書　聖書協会共同訳』または『聖書　新共同訳』
雨宮慧『図解雑学　聖書』ナツメ社、2009年。
雨宮慧『旧約聖書のこころ』女子パウロ会、1989年。
佐久間勤『四季おりおりの聖書』女子パウロ会、2002年。
月本昭雄監修『図説　一冊で学び直せるキリスト教の本』学研プラス、2020年。
その他、有用な書籍は授業時に随時紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	建学の精神について	創立者ヨゼフ中村由太郎について、自分なりに調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書とは何か。背景となるパレスチナの歴史と地理	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書の世界観（創世記1章を分析する）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	旧約聖書の人間論（アダムとエバ、カインとアベル　創世記2~4章）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
6	旧約聖書の人間論II（ノアの方舟と世界刷新　創世記6-9章）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	バベルの塔（創世記11章）、「原初史」と現代を照らし合わせて考える人間の可能性	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	アブラハムの「召命」と人間の現実 「イスラエル民族」I	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	ヤコブ物語とヨセフ物語に見る、神と人間 「イスラエル民族」II	授業内容についてインターネットで調べる	参考文献の関連個所を読む
10	物語としての「出エジプト」: 解放か救済か 「イスラエル民族」III	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	荒れ野の40年と律法授与:イスラエル誕生の史実と真実	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	イスラエル統一王国:権力の現実と理想の平和	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	分裂王国時代:預言者の社会批判と、「あるべき社会」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	詩編と知恵文学から考える、「人間とは何か」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	聖書が示す、人間の希望とは:新約聖書が与える「回答」	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する

講義名	1000001002 宗教学（看護学科2年生）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1. 学校法人光星学院と八戸学院大学の建学の精神を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
2. 旧約聖書を通して人間と社会、世界にについて考えることを通して、人間の真のニーズをつかむ。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

宗教を学問として扱う方法論には様々な方法論やアプローチが考えられるが、世界の様々な諸宗教を客観的に考察する比較宗教学的な方法論には、実はあまり大きな意味はない。むしろ、本学も建学の精神とするカトリシズムやキリスト教の根幹にある、聖書という一つの普遍的な書物に対して学問的に真剣に向き合い理解を深めることで、21世紀の現代社会でも通用する気付きを得ることができるものである。
　本講義では、聖書の中でもその大部分を占め、様々な文学ジャンルを収録する『旧約聖書』を取り扱う。旧約聖書は、古代人たちの著作でありながら、極めて過酷な環境と壮大な歴史を背景のために、大変深い人間理解を持ち、また人間社会に対する鋭いまなざしを持ち合わせている。このような文学に学ぶことは、今日なお有意義であり単に「宗教学」に触れる以上の意味がある。真の目標は、聖書を学ぶのみならず、聖書を通して人間について考え、これからの日本の社会に必要なことを考えるための補助線を得ることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

参考文献

『聖書　聖書協会共同訳』または『聖書　新共同訳』
雨宮慧『図解雑学　聖書』ナツメ社、2009年。
雨宮慧『旧約聖書のこころ』女子パウロ会、1989年。
佐久間勤『四季おりおりの聖書』女子パウロ会、2002年。
月本昭雄監修『図説　一冊で学び直せるキリスト教の本』学研プラス、2020年。
その他、有用な書籍は授業時に随時紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	建学の精神について	創立者ヨゼフ中村由太郎について、自分なりに調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書とは何か。背景となるパレスチナの歴史と地理	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書の世界観（創世記1章を分析する）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	旧約聖書の人間論（アダムとエバ、カインとアベル　創世記2~4章）	創立者ヨセフ中村由太郎について、自分なりに調べる	配布資料とノートを読み直す
6	旧約聖書の人間論II（ノアの方舟と世界刷新　創世記6-9章）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	バベルの塔（創世記11章）、「原初史」と現代を照らし合わせて考える人間の可能性	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	アブラハムの「召命」と人間の現実 「イスラエル民族」I	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	ヤコブ物語とヨセフ物語に見る、神と人間 「イスラエル民族」II	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	参考文献の関連個所を読む
10	物語としての「出エジプト」: 解放か救済か 「イスラエル民族」III	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	荒れ野の40年と律法授与:イスラエル誕生の史実と真実	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	イスラエル統一王国:権力の現実と理想の平和	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	分裂王国時代:預言者の社会批判と、「あるべき社会」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	詩編と知恵文学から考える、「人間とは何か」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	聖書が示す、人間の希望とは:新約聖書が与える「回答」	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する

講義名	1000002002 キリスト教概論（看護）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1.「神を敬し、人を愛する」という学校法人光星学院と八戸学院大学の建学の精神の理解をさらに深め、実践する人となる。
2. 新約聖書への理解を通して、どのような社会になっても必要となる価値観を修得する。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

新約聖書は、旧約聖書が深く認識した人間存在の有り様に対する回答の書であり、それだけを読んでいてもあまり面白くはない。また、人間についての問題意識のないまま読み進めることによる弊害は計り知れない。本授業では、旧約聖書の知識も補いつつ、新約聖書が示す人間と人間社会の新しいあり方の可能性を考えたい。まずは知識は必要なので、新約聖書の背景となる歴史や地理、旧約聖書について知り、またイエスの言行録ともいえる福音書の概説を行う。さらに、様々な物語を通してイエス・キリストと聖書の思想に迫っていく。新約聖書とキリスト教は果たして本当はどのようなことを主張しようとしているのか、また、それらが語る「救い」が何であるのかを考え、生き方をも問う授業としたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

シルヴァノ・ファウスティ『思い起こし、物語れ：マルコ福音書のメッセージ』(上下巻)佐久間勤訳、女子パウロ会、2000-01年。
大貫隆『イエスと経験』岩波書店、2003年。
上村静『宗教の倒錯』岩波書店、2008年。
学校法人上智学院編『新カトリック大事典』研究社、1996-2010年。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	パレスチナの気候と風土	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書が語る人間	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書が語る社会	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
5	福音書通説（映像作品で見るイエス・キリスト）	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	イエスの生涯と、その意味	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	山上の説教に見るイエスの価値観	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	イエスが相手にした人々（律法学者、ヤイロの娘、ザアカイ、その他）	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	イエスが語るたとえ話（放蕩息子のたとえ）	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	イエスが説く生き方（タラントンのたとえ、ぶどう園の労働者のたとえ）	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	ヨハネ文書が語る「友なるイエス」	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	弟子たちの復活体験：永遠のいのちへの希望	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
13	パウロの生涯と神学：「信仰によって義とされる」？	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
14	新約聖書の女性たち	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
15	外部講師特別講義	これまで学んだ内容を総合的に振り返り、その思想に生きるとはどういうことか、自分なりに考えておく	課題のレポートを作成する

講義名	1000003000 地域文化論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	柾谷　伸夫			

学習目標(到達目標)

1. 八戸を中心とする南部地域の歴史と特性を説明できる。
2. 八戸を中心とする南部地域の文化と特性を説明できる。
3. 八戸を中心とする南部地域の地域発展に貢献した先人の業績を説明できる。
4. 八戸の政治・経済界を牽引しているゲストの講義を聞き、地域活性化の現状と課題の解決策を説明できる。

授業概要(教育目的)

近年、「地域活性化、地域創生」という言葉がクローズアップされている。各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指して、内閣総理大臣を本部長とする地域創生本部が設置され、平成26年12月には「まち・ひと・しごと創生法」が施行された。地方創生本部の3つの視点のひとつに「地域の特性に即した地域課題の解決」が挙げられている。そこで本講義では、学外の他の機関などとも連携しつつ、①地域文化の歴史と特性、②地域発展に貢献した先人の事例、③地域活性化の現状と課題の解決策などについて学修することを主たる目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

課題提出、授業アンケート等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

この講義を通して、大学のある八戸を中心とする南部地域の魅力に気づき、八戸が大好きになって欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	八戸の歴史～中世	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
2	八戸の歴史～中世から戦国時代	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
3	八戸の歴史～九戸の乱から八戸藩誕生	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	八戸の歴史～江戸中期から幕末	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	八戸の歴史～幕末から明治期 八戸藩の文化と特性	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
6	八戸の文化の特性①	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	八戸の文化の特性②	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
8	地域活性化の現状と課題の解決策①	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	安藤昌益 美濃屋乙因	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
10	櫛引弓人 前原寅吉	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
11	神田重雄 長谷川藤次郎 浦山太吉 橋本八右衛門	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	地域活性化の現状と課題の解決策②	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	地域活性化の現状と課題の解決策③	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域活性化の現状と課題の解決策④	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	地域活性化の現状と課題の解決策⑤	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	1000004412 基礎演習　三浦ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	三浦　広美			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. 文章の読み方・まとめ方を身につける。
2. 資料(文献)の収集とその利用方法を身につける。
3. レポートの作成方法を身につける。

授業概要(教育目的)

この科目は学生が高等学校段階から大学での学習にスムーズに移行できるように配置され、少人数グループのゼミナール形式で行われる。授業の目的は、学生がスタディスキルズを身に付けることである。各人が自らの問題意識に基づいて、それぞれのテーマを見つけ、自分の考えを整理し、相手に伝える能力を養い、様々な方法で情報交換を行う方法を身につけることである。そのために、様々な情報収集ツールの活用法やそれぞれの考えを文書にまとめるレポート・論文の書き方等が身につくような基礎的な訓練を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら選択したテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出する。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とする。

課題に対するフィードバック

ゼミナール活動として、自己のテーマに沿った文献資料の収集から、レポート作成において、毎時間ごとに進捗状況の報告をしてもらう。また、レポートは紙ベースもしくはデータファイルにより提出してもらい、添削の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引きを参考書として使用する。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践してもらう。そのため、ゼミには毎回出席することが求められる。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「基礎演習」「プレゼンテーション」の進め方 (グループワーク) ・「基礎演習」と「プレゼンテーション」の目的、目標、内容、スケジュール、進め方を学ぶ	ゼミ生・担当教員確認	「基礎演習」「プレゼンテーション」の目的、目標、内容等の確認
2	第1グループ:図書館利用に関する講義 第2・3グループ:①Gmail・WebClass活用体験②入学前課題の意見交換(グループワーク)	手引き「第2章　資料(文献)の収集とその利用／2.図書館を利用しての情報収集」を読む	OPAC検索方法等、図書館の利用方法の確認
3	第2グループ:図書館利用に関する講義 第1グループ:①Gmail・WebClass活用体験②入学前課題の意見交換(グループワーク) 第3グループ:①Gmail・WebClass活用体験②文章の読み方・まとめ方(文章表現①) ・新聞の社説を読み、書かれている内容を理解し、論者の主張を読みとり、簡潔な文章にまとめる方法を学ぶ	新聞の社説を読み、要約等を作成、ゼミ内での発表準備	要約等の見直し
4	第3グループ:図書館利用に関する講義 第1・2グループ:①Gmail・WebClass活用体験②文章の読み方・まとめ方(文章表現①) ・新聞の社説を読み、書かれている内容を理解し、論者の主張を読みとり、簡潔な文章にまとめる方法を学ぶ	新聞の社説を読み、要約等を作成、ゼミ内での発表準備	要約等の見直し
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現②) ・映像教材(ドキュメンタリー番組、あるいは討論番組のVTR)を視聴し、内容を理解し、番組制作者の主張を読みとり、簡潔な文章にまとめる方法を学ぶ	映像教材を視聴し、要約等を作成、ゼミ内での発表準備	要約等の見直し
6	資料(文献)の収集と利用 ・情報検索ツールとしての新聞記事、インターネットの利用方法、利用に関わる注事項及びツールを学ぶ	手引き「第2章　資料(文献)の収集とその利用／1.情報収集と注意事項、3.インターネットによる情報収集」を読む	新聞記事、インターネットの利用方法、利用する際の注意事項・ルール等の確認 テーマに沿ったパソコンや図書館を利用した検索
7	レポートの書き方①(レポート作成の準備) ・レポートの構成(序論・本論・結論)、レポートのテーマ設定、レポートの目的、取り上げる内容を絞り込む方法を学ぶ	レポートのテーマの考案	レポートのテーマ、目的、取り上げる内容の考案
8	レポートの書き方②(レポート作成の準備) ・レポート作成のプロセスのうち、テーマ設定から資料(文献)収集までの手順を学ぶ	レポートのテーマ、目的、取り上げる内容の絞り込み	テーマに沿って、図書館やパソコンを利用した検索
9	レポートの書き方③(図書館を利用しての資料(文献)収集) ・絞り込んだレポートのテーマ、目的、取り上げる内容に応じ、図書館で資料(文献)収集する	テーマに沿って、図書館やパソコンを利用した検索	「文献カード」の作成
10	レポートの書き方④(図書館を利用しての資料(文献)収集、文献整理の方法) ・引き続き、絞り込んだレポートのテーマ、目的、取り上げる内容に応じ、図書館で資料(文献)収集する ・図書館で収集した資料(文献)を読み、内容を整理し、要約する作業を行う	「文献カード」「情報カード」の作成	「情報カード」の整理
11	レポートの書き方⑤(図書館を利用しての資料(文献)収集、文献整理の方法) ・引き続き、絞り込んだレポートのテーマ、目的、取り上げる内容に応じ、図書館で資料(文献)収集する ・引き続き、図書館で収集した資料(文献)を読み、内容を整理し、要約する作業を行う	「情報カード」の作成	「情報カード」の整理
12	レポートの書き方⑥(文献整理の方法、レポート作成) ・引き続き、図書館で収集した資料(文献)を読み、内容を整理し、要約する作業を行う ・資料(文献)の整理、要約の作業終え次第、レポート作成に移行する	「情報カード」及びレポートの作成	「情報カード」の整理
13	レポートの書き方⑦ ・引き続き、レポート作成の作業を行う ・必要に応じ、「情報カード」を見直し、レポートに反映させる	「情報カード」の見直し、レポートの作成	レポートの作成
14	レポートの書き方⑧ ・引き続き、レポート作成の作業を行う。 ・必要に応じ、「情報カード」を見直し、レポートに反映させる	「情報カード」の見直し、レポートの作成	レポートの作成
15	レポートの提出 ・レポートを完成し、発表、提出する	レポートの見直し	＊ゼミごとにレポートの提出

講義名	1000004417 基礎演習　切明ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	切明　美保子			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。
3. レポートの作成等を通して適切な文章表現の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
　一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、各自のテーマに基づいてのレポート作成とそのための資料・文献の検索を実践していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004422 基礎演習　坂本弘子ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	坂本　弘子			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004423 基礎演習　久保ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	久保　宣子			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004424 基礎演習　佐々木ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	佐々木　真湖			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004428 基礎演習　溝江ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	溝江　弓恵			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004431 基礎演習　西川ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	西川　健			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000004433 基礎演習　堺ゼミ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	堺　香奈子			

学習目標(到達目標)

基礎演習の到達目標は以下の通りです。
1. レポートを作成する等の目的に応じて資料・文献を検索する方法を身につけること。
2. レポートの作成方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本演習は、「プレゼンテーション」(秋学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
一般に演習(ゼミ)とは、少人数のメンバーが、特定のテーマ等に関して、報告者による報告をたたき台として、それぞれがもつ意見を出し合って討論していくという双方向の情報交換が行われるところに、その特徴があります。このような情報交換を通じて、大学生としてふさわし「考える力」及び「表現する力」を養成するという点で、大学の教育において、ある意味通常の講義科目よりも大きな役割と機能を果たしてきたと言えます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

自ら決めたテーマにもとづく2枚(A4タテ)程度のレポート(中間稿)を作成し、提出していただきます。そして、レポート(中間稿)の提出は無論のこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	基礎演習・プレゼンテーションの進め方	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	文章の読み方・まとめ方(文章表現①)－新聞の社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	文章の読み方・まとめ方(文章表現②)－前回に引き続き社説等を読み、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	文章の読み方・まとめ方(文章表現③)－VTR等映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	文章の読み方・まとめ方(文章表現④)－前回に引き続き映像教材を見て、文章にまとめる	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	資料(文献)の収集と利用①－新聞、インターネットを利用した情報収集、検索を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	資料(文献)の収集と利用②	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	レポートの書き方①－レポートの構成について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	レポートの書き方②－レポートのテーマ設定について学び、作成の準備をする	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	レポートの書き方③－図書館を利用して、レポートに必要な情報収集を行う	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	レポートの書き方④－文献情報の整理の仕方について学ぶ	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	レポートの書き方⑤－資料を読み込み、収拾した文献を整理し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	レポートの書き方⑥－引き続き、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	レポートの書き方⑦－必要に応じ「情報カード」を見直し、レポートを作成する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	レポートの提出・発表－レポートを提出し、内容について発表する。	テキストの該当箇所を読む。	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005412 プレゼンテーション　三浦ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	三浦　広美			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①－発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005417 プレゼンテーション　切明ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	切明　美保子			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

レポート(完成版)、レジュメ、スライドなどの提出物、毎回のゼミへの取組状況について、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については次の授業でフィードバックする。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き

資格との関連

学生へのメッセージ

担当教員の指導のもと、毎回、各自がレポート内容やプレゼンテーションの進捗状況について報告し、討論を行うため、ゼミには毎回出席することが求められます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①―発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005422 プレゼンテーション　坂本弘子ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本　弘子		

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①－発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005423 プレゼンテーション　久保ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保　宣子		

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

講義や演習中、課題の返却時にフィードバックを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き　を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	プレゼンテーションの目的、目標、内容の確認	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
2	レポートの改定に向けての発表と討議	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
3	修正レポートの発表と討議	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
4	レポートの修正版の提出ーレポートを各自修正する	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
5	レジュメの作成ーレジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
6	発表スライドの作成①ーレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
7	発表スライドの作成②ー引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
8	ゼミ内でのプレゼンテーション①発表スライドを基にプレゼンテーションし、メンバーからアドバイスを受ける。	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
9	ゼミ内でのプレゼンテーション②引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
10	ゼミ内でのプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
11	ゼミ内プレゼンテーション発表会	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
12	討論の方法(特定のテーマに沿って、ゼミ内で討論する)	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
13	討論の方法(選択したテーマに沿って、ゼミ内で討論する)	テキストの該当箇所を読む	発表準備とレポート修正
14	小グループ(2～3ゼミ)ゼミで、プレゼンテーションの発表会を行う	テキストの該当箇所を読む	発表
15	小グループ(2～3ゼミ)ゼミで、プレゼンテーションの発表会を行う	テキストの該当箇所を読む	発表

講義名	1000005424 プレゼンテーション　佐々木ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	佐々木　真湖			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①－発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005428 プレゼンテーション　溝江ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	溝江　弓恵			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①－発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005431 プレゼンテーション　西川ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	西川　健		

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①－発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000005433 プレゼンテーション　堺ゼミ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	堺　香奈子			

学習目標(到達目標)

以下の3点をプレゼンテーションの到達目標といたします。
1. プレゼンテーション資料作成の方法を身につけること。
2. 聞き手にとってわかりやすい説明の方法を身につけること。
3. プレゼンテーションの際の質疑応答等を通じて討論の方法を身につけること。

授業概要(教育目的)

本講義は、「基礎演習」(春学期)とともに、高校教育と大学教育の橋渡しとして、また2年から4年までの「研究演習」の導入段階にある科目として位置づけられています。
「基礎演習」ではレポート作成等を通じ、「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につけるための訓練を行いましたが、「プレゼンテーション」では、自ら作成したレポートに基づいてゼミの中で発表する等を通じ、「発表し、質疑応答(討論)に参加する」スキルの基礎を身につけるための訓練を行います。また、報告者は、調べた成果及び自分の考えを整理し、伝えるため、様々なルートで情報収集を行うとともに、読み手にとってわかりやすい文章にまとめ、聞き手にとってわかりやすく説明する必要があります。報告者以外のメンバーは、報告内容を把握し、不十分な点を質問するあるいは指摘する等積極的に質疑応答に参加します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

秋学期の「プレゼンテーション」においては、春学期において各自が作成したレポート(中間稿)をもとに、レジュメあるいはプレゼンテーション用の原稿を作成し、ゼミ内で順番を決めて発表し、全員で質疑応答を行います。また、春学期に作成したレポートの完成版を作成します。
レポート(完成版)の提出、ゼミ内での報告はもちろんのこと、毎回のゼミへの取組状況についても評価の対象とします。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き を参考書として使用します。
プレゼンテーションでは担当教員の指導のもと、各自が自分のテーマで作成したレポートに基づいてゼミの中で発表していただきます。そのため、ゼミには毎回出席することが求められます。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	レポート作成の修正に向けて－基礎演習で作成したレポートの修正点について、レポート評価シートにまとめる。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
2	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
3	レポートの改定に向けて－修正点を踏まえて、レポートを発表する。聴いている学生はアドバイスをする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
4	レポートの修正版の提出－レポートを各自修正し、提出する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
5	レジュメの作成方法－レジュメの作成方法を学び、レポートを基にレジュメを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
6	発表スライドの作成①－レジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
7	発表スライドの作成②－引き続きレジュメを基に発表スライドを作成する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
8	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション①－発表スライドを基に学生がプレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
9	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション②－引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
10	ゼミのメンバーによるプレゼンテーション③引き続き、プレゼンテーションを行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
11	プレゼンテーション発表会の準備	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
12	プレゼンテーション発表会	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
13	討論について学ぶ①－討論の仕方、流れについて学ぶ。学生同士で簡単な討論を行う。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
14	討論について学ぶ②－討論の仕方、流れを踏まえて、本格的な討論に挑戦する。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。
15	討論について学ぶ③－1年間を振り返って、学生同士で討論をする。	テキストの概要箇所を読む	演習の内容を整理し、論点を再確認する。

講義名	1000006005 情報処理基礎　看護Aクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	村本　卓			

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

学生へのメッセージ

・実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。
・ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コンピュータとネットワークの基礎知識	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
2	はちがくキャンパスWebの利用方法	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
3	情報セキュリティとネチケット	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
4	文書処理①(Wordの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
5	文書処理②(書式の設定)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
6	文書処理③(表作成、図の挿入)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
7	文書処理④(表現力アップ機能の利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
8	文書処理⑤(長文レポート編集と文書校閲)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
9	表計算①(Excelの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
10	表計算②(数式、関数の利用)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
11	表計算③(グラフ作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
12	表計算④(WordとExcelの連携)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
13	プレゼンテーション①(PowerPointの基本操作)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
14	プレゼンテーション②(スライド作成)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
15	プレゼンテーション③(プレゼン)	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。

講義名	1000006006	情報処理基礎　看護Bクラス					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	坂本　貴博			

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする.
成績を知りたい学生には個別に開示する.

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows10　office2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

学生へのメッセージ

実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。
ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コンピュータとネットワークの基礎知識	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
2	キャンパスグループウェアの利用方法	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
3	情報セキュリティとネチケット	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
4	文書処理①(Wordの基本操作)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
5	文書処理②(書式の設定)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
6	文書処理③(表作成、図の挿入)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
7	文書処理④(表現力アップ機能の利用)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
8	文書処理⑤(長文レポート編集と文書校閲)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
9	表計算①(Excelの基本操作)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
10	表計算②(数式、関数の利用)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
11	表計算③(グラフ作成)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
12	表計算④(WordとExcelの連携)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
13	プレゼンテーション①(PowerPointの基本操作)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
14	プレゼンテーション②(スライド作成)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
15	プレゼンテーション③(プレゼン)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

講義名	1000007005	日本語リテラシー　看護　柴垣クラス					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1　常用漢字を中心とした漢字、熟語等の読み、書き、意味、用法について説明できる。
2　一般的な四字熟語、慣用句、故事成語、ことわざ、格言の読み、書き、意味、用法について説明できる。

授業概要(教育目的)

日本語リテラシーはコミュニケーションスキルの向上を目指し、その基礎である日本語の理解、運用能力を身につけることを目的としている。その目的を達成するため、表記と表記符号、送りがなの付け方、筆順の原則、漢字の部首と部首名を始めとして、常用漢字・熟語、同音異義語、同訓異義語、対義語、類義語、四字熟語、故事成語、ことわざ、慣用句の読み、書き、意味、用法について演習を取り入れながら学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

日本語の基礎・基本を学び直し定着させていくことは、単に職業人としての自分に寄与するばかりではなく、生涯学習の観点からも大変意義のあることです。言語生活を豊かにして人生の幅を広げる意味からも、意欲を持って授業に臨んで欲しいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 漢字検定3級の問題演習と解説(1)	これまでの漢字学習への取り組み状況を振り返る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
2	漢字の部首と部首名、筆順について ・漢字の主な部首、筆順についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(1)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
3	熟語の構成について ・熟語の構成についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(2)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
4	対義語と類義語について ・対義語と類義語についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(3)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
5	同訓・同音異義語について ・同訓・同音異義語についての確認と演習 ・漢字・熟語の読み方と書き取り(4)	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
6	前時までの復習と小テスト(1)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
7	四字熟語の解説と演習(1) ・主な四字熟語の解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
8	四字熟語の解説と演習(2) ・主な四字熟語の解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
9	四字熟語の解説と演習(3) ・四字熟語についての演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
10	前時までの復習と小テスト(2)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
11	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(1) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
12	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(2) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
13	故事成語・ことわざ、慣用句の解説と演習(3) ・故事成語・ことわざ、慣用句についての解説と演習 ・好きな故事成語・ことわざ、慣用句について	授業内容について、インターネットなどで調べておく。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
14	前時までの復習と小テスト(3)	前回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。
15	漢字検定3級問題演習と解説(2)	前々回までの配布資料を読み直し、理解不足のところについて習熟を図る。	授業内容を整理して、理解不足の漢字・熟語・用法などに習熟する。

講義名	1000008004 日本語表現リテラシー　看護 柴垣クラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	柴垣　博孝			

学習目標(到達目標)

1. 文章を読んで、要旨、構成、効果的な表現、文法的・意味的な誤り等について説明できる。
2. 目的に応じた文章の内容を過不足なく表現し、文法的に正確で論理的な文章を作成することができる。

授業概要(教育目的)

日本語表現リテラシーは、読解力、思考力、構成力、表現力を養成し、的確で論理的な文章表現能力を身につけることを目的としている。その目的達成に向け、①文章の内容・要旨・意図の正確な把握、②情報の整理、問題の発見、独自の考えの創造、③文章を構成する文・段落・段落相互の関係や役割の把握、④簡潔でわかりやすく効果的な表現という内容を中心に、演習を取り入れた授業を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

小テスト、授業中の発表・発言などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

なし。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

学生へのメッセージ

本授業では、的確で論理的な文章表現能力を身に付けるべく解説や演習を行うとともに、実際に毎時間短作文などの文章を書くことによって、文章表現の習熟を図ります。皆さんは自身の表現能力の上達を感じながら、授業に臨むことができますので、意欲を持って受講して下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	文章の構成・効果的な表現(1) ・語彙・文法(1) ・内容・構成把握(1) ・短作文(1)	表現について、これまでの学習内容を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
2	文章の構成・効果的な表現(2) ・語彙・文法(2) ・内容・構成把握(2) ・短作文(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
3	文章の構成・効果的な表現(3) ・語彙・文法(3) ・内容・構成把握(3) ・短作文(3)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
4	文章の構成・効果的な表現(4) ・語彙・文法(4) ・内容・構成把握(4) ・短作文(4)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
5	文章の構成・効果的な表現(5) ・語彙・文法(5) ・内容・構成把握(5) ・短作文(5)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
6	文章の構成・効果的な表現(6) ・内容・構成把握(6) ・推敲(1) ・短作文(6)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
7	文章の構成・効果的な表現(7) ・内容・構成把握(7) ・推敲(2) ・短作文(7)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
8	文章の構成・効果的な表現(8) ・内容・構成把握(8) ・推敲(3) ・短作文(8)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
9	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(9) ・推敲(4) ・縮約・要約(1)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
10	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(10) ・文章校正(1) ・縮約・要約(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
11	文章の構成・効果的な表現と縮約・要約 ・内容・構成把握(11) ・文章校正(2) ・縮約・要約(3)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
12	縮約・要約(4) ・内容・構成把握(12) ・文章校正(3) ・縮約・要約(4)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
13	手紙文の書き方と演習(1) ・手紙の書き方についての解説(1) ・実際に手紙を書く(1)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
14	手紙文の書き方と演習(2) ・手紙の書き方についての解説(2) ・実際に手紙を書く(2)	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。
15	書き言葉の主なルールと作文 ・書き言葉の主なルールについての演習と説明 ・課題に基づいて作文を書く	前回の配布資料を読み直し、論点を整理する。	授業の内容を整理し、不明な点があれば調べておく。

講義名	1000009002 英語Ⅰ　Aクラス（健康医療学部）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン			

学習目標(到達目標)

学期の終了までに英語の使用を通じて、アクティブラーニング法(グループ活動、提案の準備、タスクの作成、期限厳守、他の学生とやり遂げた評価など)自分自身の能力向上ができる。

授業概要(教育目的)

この講義は、タスクを中心にする授業で、英語自体が目的ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、コミュニケーション力をアップする事を目的とする。いろいろな形式を用いながら、グループで、タスクの価値を考え、計画し、その内容を分析する。決められたタスクをやり遂げることにより、流暢な英語のコミュニケーションを身につけ、学内でも学外でも使える実用的なコミュニケーションスキルアップを図る。クラス外ではオンライン英語教材「English Central」を勉強し、単語を覚える、内容を理解するかだも必要とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

講義内での積極的な参加、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

成績詳細:
①授業中の課題
②宿題(English Central)
③単語ショートテスト(English Central)

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスできる。提示する課題を返し

参考文献

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材(1年間)

授業中にはインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。
英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中では積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。成績も第1日目から評価するので、初日から必ず出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Explanation & Communication Activity	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Entertainment ❶	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Entertainment ❷	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Entertainment ❸	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Entertainment ❹	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Sports ❶	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Sports ❷	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Sports ❸	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Sports ❹	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Technology & Science ❶	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Technology & Science ❷	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Technology & Science ❸	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Travel & Culture ❶	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Travel & Culture ❷	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Travel & Culture ❸	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000009003 英語Ⅰ　Bクラス（健康医療学部）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

学期の終了までに英語の使用を通じて、グループ活動、提案の準備、タスクの作成、期限厳守、他の学生とやり遂げた評価など、自分自身の能力向上ができる。

授業概要(教育目的)

この講義は、タスクを中心にする授業で、英語自体が目的ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、コミュニケーション力をアップする事を目的とする。いろいろな形式を用いながら、グループで、タスクの価値を考え、計画し、その内容を分析する。決められたタスクをやり遂げることにより、流暢な英語のコミュニケーションを身につけ、学内でも学外でも使える実用的なコミュニケーションスキルアップを図る。クラス外ではオンライン英語教材「English Central」を勉強し、単語を覚える、内容を理解するかだも必要とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

講義内での積極的な参加、小テスト、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスがある。提示する課題を返し

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材（予約購読サービスのオンラインアクセスカード）
＊「English Central」オンライン教材については「参考文献」を必ず読むこと。

参考文献は全て授業中に紹介する。
インターネット対応デバイス（スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン）を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

参考文献

春学期の英語Iと秋学期の英語IIには「English Central」オンライン教材（予約購読サービス）が必要。

（6ヶ月間または1年間の予約購読になりますが、春学期の英語Iと秋学期の英語II両方登録学生は1年間の予約購読になる）
（英語I受けなかった場合、英語IIのみの登録学生は6ヶ月間の予約購読になる）

「English Central」の登録の仕方は講義中に指導する。

参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中では積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価するので、初日から必ず出席すること。

実務との関連

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス（スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン）を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class and Online Systems Explanation B: Communication Activity	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Entertainment ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Entertainment ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Entertainment ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Sports ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Sports ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Sports ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Technology and Science ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Technology and Science ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Technology and Science ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Technology and Science ④ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Travel and Culture ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Travel and Culture ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Travel and Culture ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Discuss and Review D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Travel and Culture ④ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Discuss and Review D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000009004 英語Ⅰ　Cクラス（健康医療学部）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

日常生活で頻出する言葉やフレーズを学び、コミュニケーション能力の向上と基礎学力の定着を図る。

1. ネイティブスピーカーがナチュラルスピードで話す英語を理解できる。
2. ネイティブスピーカーが日常生活で使う身近な英語表現を使える。
3. ネイティブスピーカーの発想に基づいた表現ができる。

授業概要(教育目的)

主に、基礎文法、リスニング、ライティングの演習を行う。また授業では、会話や話す演習を行い、声を出す事を目的に活きた英語を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。特に、講義に積極的に臨む姿勢を重視する。

課題に対するフィードバック

試験や課題の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

Peter Vincent/Naoko Nakazato/Alan Meadows 著「Speaking of People」南雲堂

資格との関連

学生へのメッセージ

日頃から英語を聞き、耳を慣らしておくとよい。暮らしの中における英語表記に興味をもち、注意して見るようにしましょう。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Self Introduction (Presentation)	自分のことを英語でクラスに紹介できるよう、これまで学んだ単語やフレーズを確認しておく。	自分の紹介を思い通りにできたかを振り返り、うまくできなかった部分の単語やフレーズを確認しておく。
2	2. Warm-up Unit Welcome to English Class! (Presentation)	これまで学んだ英単語やフレーズを確認しておく。クラスでの自分のニックネームを考えておく。	これまで学んだ英単語やフレーズでうまくできなかった部分を確認しておく。
3	3. Unit 1 Speaking About Yourself ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
4	4. Unit 1 Speaking About Yourself ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
5	5. Unit 2 What Do You Do? ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
6	6. Unit 2 What Do You Do? ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
7	7. Unit 3 What Does He Look Like? ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
8	8. Unit 3 What Does He Look Like? ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
9	9. Review Units 1-3	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
10	10. Unit 4 Where Are You From? ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
11	11. Unit 4 Where Are You From? ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
12	12. Unit 5 Likes and Dislikes ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
13	13. Unit 5 Likes and Dislikes ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
14	14. Unit 6 What's She Like? ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、該当箇所を読む。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
15	15. アメリカと日本の生活・風習・文化の違いについて(ゲストティーチャー)	インターネットや文献で、アメリカ人の生活や文化について調べておく。疑問に思う事を質問として用意する。	内容をまとめ、疑問点に対する答えを含めレポートに書く。

講義名	1000009005 英語Ⅰ（再履修）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

この講義では、読む、書く、聞く、話すのスキルの練習を通して、実践的な英語コミュニケーションスキルの向上に焦点を当てます。クラスの重点は、学生の流暢さと言語使用に対する自信を高めることにあります。

授業概要(教育目的)

現在のメディアリソースだけでなく、学生のニーズに合わせたアクティビティを行う。さまざまなコミュニケーション状況を作り、タスクを完了するためにツールとして英語を試す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

講義内での積極的な参加、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
試験(小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

講義中の使用テキストはなし。
参考文献は全て授業中に紹介する。
英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

覚えておかなければならないのは、講義中は、積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。
タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価する。

実務との関連

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Explanation & Communication Activity	シラバスの内容を確認する。	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Vocabulary Warm-up & Picture Descriptions ① (brainstorming)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Multi Skills ① (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Picture Descriptions part ② (imagining a story)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Picture Descriptions part ③ (finalizing)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Multi Skills ② (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Creating Comic Strip – Cherry Blossom Viewing ① (introduction)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Creating Comic Strip – Cherry Blossom Viewing ② (details & conclusion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Multi Skills ③ (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Creating Comic Strip – Shopping part ① (introduction)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Creating Comic Strip – Shopping part ② (details & conclusion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Multi Skills ④ (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Creating Comic Strip – Festivals part ① (introduction)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Creating Comic Strip – Festivals part ② (details & conclusion)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Multi Skills ⑤ (current events activity)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000010002 英語Ⅱ　Aクラス（健康医療学部）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

学期の終了までに英語の使用を通じて、グループ活動、提案の準備、タスクの作成、期限厳守、他の学生とやり遂げた評価など、自分自身の能力向上ができる。

授業概要(教育目的)

この講義は、タスクを中心にする授業で、英語自体が目的ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、コミュニケーション力をアップする事を目的とする。いろいろな形式を用いながら、グループで、タスクの価値を考え、計画し、その内容を分析する。決められたタスクをやり遂げることにより、流暢な英語のコミュニケーションを身につけ、学内でも学外でも使える実用的なコミュニケーションスキルアップを図る。クラス外ではオンライン英語教材「English Central」を勉強し、単語を覚える、内容を理解するかだも必要とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

講義内での積極的な参加、小テスト、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスがある。提示する課題を返し

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材（予約購読サービスのオンラインアクセスカード）
＊「English Central」オンライン教材については「参考文献」を必ず読むこと。

参考文献は全て授業中に紹介する。
アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を毎回持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

参考文献

春学期の英語Iと秋学期の英語IIには「English Central」オンライン教材(予約購読サービス)が
必要。
(6ヶ月間または1年間の予約購読になりますが、春学期の英語Iと秋学期の英語II両方登録学生は1
年間の予約購読になる)
(英語I受けなかった場合、英語IIのみの登録学生は6ヶ月間の予約購読になる)
「English Central」の登録の仕方は講義中に指導する。
参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中では積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極
性と責任が求められる。成績も第1日目から評価するので、初日から必ず出席すること。
インターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を講義毎回持参すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class and Online Systems Explanation B: Communication Activity	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Health and Food ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Health and Food ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Health and Food ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Health and Food ④ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Environment and Nature ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Environment and Nature ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Environment and Nature ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Environment and Nature ④ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Politics and Crime ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Politics and Crime ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Politics and Crime ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Social Sciences ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Social Sciences ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Social Sciences ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listening and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000010003 英語Ⅱ　Bクラス（健康医療学部）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン			

学習目標(到達目標)

学期の終了までに英語の使用を通じて、アクティブラーニング法(グループ活動、提案の準備、タスクの作成、期限厳守など)、自分自身の能力向上ができる。

授業概要(教育目的)

この講義は、タスクを中心にする授業で、英語自体が目的ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、コミュニケーション力をアップする事を目的とする。いろいろな形式を用いながら、グループで、タスクの価値を考え、計画し、その内容を分析する。決められたタスクをやり遂げることにより、流暢な英語のコミュニケーションを身につけ、学内でも学外でも使える実用的なコミュニケーションスキルアップを図る。クラス外ではオンライン英語教材「English Central」を勉強し、単語を覚える、内容を理解するかだも必要とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

講義内での積極的な参加、宿題、タスクを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。
＊再試験は実施しない。

成績詳細:
①授業の課題
②宿題(English Central)
③単語ショートテスト(English Central)

課題に対するフィードバック

オンライン教材でのユーセージデーターはいつもアクセスがある。提示する課題を返し

講義時使用テキスト

「English Central」オンライン教材(予約購読サービスのオンラインアクセスカード)
＊「English Central」オンライン教材については「参考文献」を必ず読むこと。

参考文献は全て授業中に紹介する。
英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

参考文献

春学期の英語Iと秋学期の英語IIには「English Central」オンライン教材(予約購読サービス)が必要。

(6ヶ月間または1年間の予約購読になりますが、春学期の英語Iと秋学期の英語II両方登録学生は1年間の予約購読になる)
(英語I受けなかった場合、英語IIのみの登録学生は6ヶ月間の予約購読になる)

「English Central」の登録の仕方は講義中に指導する。

参考文献は全て授業中に紹介する。英和・和英辞典を毎回持参すること。
電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中では積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。タスクを完成するために、毎回必要な事柄を調べ、資料などを持参する。何度も言うようだが、積極性と責任が求められる。成績も第1日目から評価するので、初日から必ず出席すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class and Online Systems Explanation B: Communication Activity	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Health and Food ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Health and Food ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Health and Food ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Environment and Nature ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Environment and Nature ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Environment and Nature ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Politics and Crime ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Politics and Crime ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Politics and Crime ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Psychology and Social Science ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Psychology and Social Science ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Psychology and Social Science ③ A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Listen and Discuss D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Multi-Skills and Supplemental Studies ① A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Discuss and Review D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Multi-Skills and Supplemental Studies ② A: Brainstorming Vocabulary Warm-up B: Watch and Learn C: Discuss and Review D: Write Journal	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000010004 英語Ⅱ　Cクラス（健康医療学部）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

日常生活で頻出する言葉やフレーズを学び、コミュニケーション能力の向上と基礎学力の定着を図る。

1. ネイティブスピーカーがナチュラルスピードで話す英語を理解できる。
2. ネイティブスピーカーが日常生活で使う身近な英語表現を使える。
3. ネイティブスピーカーの発想に基づいた表現ができる。

授業概要(教育目的)

主に、基礎文法、リスニング、ライティングの演習を行う。また授業では、会話や話す演習を行い、声を出す事を目的に活きた英語を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。特に、講義に積極的に臨む姿勢を重視する。

課題に対するフィードバック

試験や課題の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

Peter Vincent/Naoko Nakazato/Alan Meadows 著「Speaking of People」南雲堂

資格との関連

学生へのメッセージ

日頃から英語を聞き、耳を慣らしておくとよい。暮らしの中における英語表記に興味をもち、注意して見るようにしましょう。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Unit 6 What's She Like? ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認する。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
2	2. Review Units 4-6	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
3	3. Unit 7 Tell Me About Your Family ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
4	4. Unit 7 Tell Me About Your Family ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
5	5. Unit 8 Communication ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
6	6. Unit 8 Communication ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
7	7. Unit 9 How Are You Feeling? ①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
8	8. Unit 9 How Are You Feeling? ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
9	9. Review Units 7-9	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
10	10. Unit 10 Memories①(Presentation)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
11	11. Unit 10 Memories②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
12	12. Unit 11 Talking About Health ①(Discussion)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
13	13. Unit 11 Talking About Health ②(Group Work)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
14	14. Unit 12 Mindset (Discussion)	シラバスに記載されている授業範囲を確認し、事前に配布されるプリント問題を解く。	付属のCDを使い、授業で行った問題を見直す。また、授業内容で間違った箇所を確認し、理解しておく。
15	15. アメリカ人と日本人の価値観・考え方の違いについて(ゲストティーチャー)	インターネットや文献で、アメリカ人の価値観や考え方について調べておく。疑問に思う事を質問として用意する。	内容をまとめ、疑問点に対する答えを含めレポートに書く。

講義名	1000010005 英語Ⅱ（再履修）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

学習目標(到達目標)

This class will focus on learning English skills through travel videos. It will prepare you for various language situations that might occur either in Japan or overseas. By learning about the places, food, entertainment, shopping and languages of different cultures and what each has to offer, this class will help you overcome fear and anxiety when communicating in a foreign language and when you plan to go overseas.

授業概要(教育目的)

Listening, speaking, reading, and writing will all be practiced for the purpose of effective listening and communication.

卒業認定・学位授与の方針との関連

授業中の参加(participation)不足の場合はその場で注意

評価方法

講義内での積極的な参加(アクティブラーニング法)、宿題、クラスクイズを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

宿題の提出とクイズ結果は授業中でフィードバックする

参考文献

成績詳細:
①授業の課題＆クラスクイズ （50%）
②宿題 （50%）

講義時使用テキスト

資格との関連

上達するためのモチベーションを持って授業に臨むことが肝要です。積極的に参加することが語学上達の鍵であり、このクラスにもその考え方が反映されています。

学生へのメッセージ

講義中と宿題は積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。成績は第1日目から評価する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	Class Introductions: Self-Introduction Task	Warm-up and Review	Wrap-up
2	Topic: Let's learn about Vanuatu	Warm-up and Review	Wrap-up
3	Topic: Let's learn about Iceland	Warm-up and Review	Wrap-up
4	Topic: Let's learn about Venice	Warm-up and Review	Wrap-up
5	Topic: Let's learn about Dublin	Warm-up and Review	Wrap-up
6	Topic: Let's learn about Ho Chi Minh	Warm-up and Review	Wrap-up
7	Topic: Let's learn about Mexico City	Warm-up and Review	Wrap-up
8	Topic: Let's learn about Canberra	Warm-up and Review	Wrap-up
9	Topic: Let's learn about Vancouver	Warm-up and Review	Wrap-up
10	Topic: Let's learn about Budapest	Warm-up and Review	Wrap-up
11	Topic: Let's learn about Cape Town	Warm-up and Review	Wrap-up
12	Topic: Let's learn about Seoul	Warm-up and Review	Wrap-up
13	Topic: Let's learn about Frankfurt	Warm-up and Review	Wrap-up
14	Topic: Oral Presentation Preparation	Warm-up and Review	Wrap-up
15	Topic: Oral Presentations	Warm-up and Review	Wrap-up

講義名	1000011000	英語コミュニケーション					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン			

学習目標(到達目標)

This class will focus on effective English communication skills, especially listening and speaking. It will prepare you for various language situations that might occur either in Japan or overseas. Effective communication begins with communicative intent, so this class will also help you "find your English voice" and overcome fear and anxiety when communicating in a foreign language.

授業概要(教育目的)

This class will focus on improving all of the English language skills necessary for communcation. Listening, speaking, reading, and writing will all be practiced for the purpose of effective communication.

卒業認定・学位授与の方針との関連

講義中と宿題は積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。成績は第1日目から評価する。

評価方法

講義内での積極的な参加(アクティブラーニング法)、宿題、クラスクイズを総合的に評価する。
＊講義内での活動の積極的な参加を重点においている。

成績詳細:
①宿題 (50%)
②スピーキング テスト (50%)

<アメリカ海外研修に参加して行う英語研修は、「英語コミュニケーション」の単位は認定する。>

課題に対するフィードバック

毎回の授業の初めに学生の前で宿題をチェックする;スピーキングテストの点数はテスト日の次の週に報告

講義時使用テキスト

「Project English: An Activity-based Guide to Everyday Conversation and Basic Grammar」by Vivian Morooka. 2022. Publisher: NAN'UN DO.

参考文献

資格との関連

学生へのメッセージ

上達するためのモチベーションを持って授業に臨むことが肝要です。積極的に参加することが語学上達の鍵であり、このクラスにもその考え方が反映されています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	A: Class Introduction B: Self-Introduction Task	Class Introduction	Self-Introduction Task
2	Where are you from?	Warm-up & Review	Wrap-up
3	How are you doing?	Warm-up & Review	Wrap-up
4	How many classes do you have?	Warm-up & Review	Wrap-up
5	How much food do you need for your party?	Warm-up & Review	Wrap-up
6	Speaking Review 1	Warm-up & Review	Wrap-up
7	How many people are there in your family?	Warm-up & Review	Wrap-up
8	When is your report due?	Warm-up & Review	Wrap-up
9	How was your weekend?	Warm-up & Review	Wrap-up
10	What time is your first class?	Warm-up & Review	Wrap-up
11	Speaking Review 2	Warm-up & Review	Wrap-up
12	Have you ever been to Kyoto?	Warm-up & Review	Wrap-up
13	Can I ask you a favor?	Warm-up & Review	Wrap-up
14	I'm going to visit my grandparents.	Warm-up & Review	Wrap-up
15	Speaking Review 3	Warm-up & Review	Wrap-up

講義名	1000012000 英語（TOEIC） I					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

TOEICスコアを伸ばすためには、一般の英語能力をあげなければならない。グループ活動も加えて、読解・聴解・TOEIC専用語彙能力を広げ、過去の問題試験もおこないながら、試験の取り組み方学習し、自分次第スコアを伸ばすことができる。

授業概要(教育目的)

TOEICは日本だけではなく世界各国で英語を用いる職場においての日常的な読解と聴解能力の試験である。近年では就職のみならず昇進の際にも採用している企業も数多くある。実際のTOEIC試験はレベル分けしていないので、練習問題はTOEIC IIのレベルと同じである。TOEIC Ｉの講義では、次の三つのことに重点を置く。①実際のTOEIC試験問題を練習し、頻繁に出題される問題に慣れる。②基本的な戦略を学習する。③単語力を広める。

TOEIC II では、TOEIC Ｉで学習したことをベースに細かく戦略し、さらにスコアを伸ばす。TOEICのスコアを伸ばしたいのなら、TOEIC I・IIの講義両方を受講するのが望ましい。試験の準備を通して実用的な英語能力を身につけることを目標とする。

2016年以降のTOEIC試験問題形式の変更部分も講義中に指導する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業活動参加、課題、クイズに基づいて総合的に評価する。
＊学期後半でおこなう学内 TOEIC ip 試験の受験。
＊授業内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
試験(小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

Tactics for the TOEIC Test Listening and Reading Test Introductory Course: Student Book
Grant Trew, OXFORD UNIVERSITY PRESS
ISBN: 9780194529761

資格との関連

学生へのメッセージ

第1日目に現在のTOEICレベルも確認する。成績も第1日目から評価する。
学期後半で授業時間外におこなう学内TOEIC ip 試験を必ず受験すること。教科書は毎回必ず持参すること。

実務との関連

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を持参すること。英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	TOEIC Level Check	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Part 1 Photographs ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Part 1 Photographs ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Part 2 Question-Response ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Part 2 Question-Response ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Part 3 Conversations ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Part 3 Conversations ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Part 4 Talks ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Part 4 Talks ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Part 5 Incomplete Sentences ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Part 5 Incomplete Sentences ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Part 6 Text Completion ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Part 6 Text Completion ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Part 7 Reading Comprehension ① (strategies)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Part 7 Reading Comprehension ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000013000 英語（TOEIC）Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

TOEICスコアを伸ばすためには、一般の英語能力をあげなければならない。グループ活動も加えて、読解・聴解・TOEIC専用語彙能力を広げ、過去の問題試験もおこないながら、試験の取り組み方学習し、自分次第スコアを伸ばすことができる。

授業概要(教育目的)

TOEICは日本だけではなく世界各国で英語を用いる職場においての日常的な読解と聴解能力の試験である。近年では就職のみならず昇進の際にも採用している企業も数多くある。実際のTOEIC試験はレベル分けしていないので、練習問題はTOEIC Ⅱのレベルと同じである。TOEIC Ⅰの講義では、次の三つのことに重点を置く。①実際のTOEIC試験問題を練習し、頻繁に出題される問題に慣れる。②基本的な戦略を学習する。③単語力を広める。

TOEIC Ⅱでは、TOEIC Ⅰで学習したことをベースに細かく戦略し、さらにスコアを伸ばす。TOEICのスコアを伸ばしたいのなら、TOEIC Ⅰ・Ⅱの講義両方を受講するのが望ましい。試験の準備を通して実用的な英語能力を身につけることを目標とする。

2016年以降のTOEIC試験問題形式の変更部分も講義中に指導する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業活動参加、課題、クイズに基づいて総合的に評価する。
＊学期後半でおこなう学内 TOEIC ip 試験の受験。
＊授業内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

課題は講義中口頭でフィードバックする。
試験(小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

Tactics for the TOEIC Test Listening and Reading Test Introductory Course: Student Book
Grant Trew, OXFORD UNIVERSITY PRESS
ISBN: 9780194529761

資格との関連

学生へのメッセージ

成績も第1日目から評価する。
学期後半で授業時間外におこなう学内TOEIC ip 試験を必ず受験すること。教科書は毎回必ず持参すること。

アクティブラーニングの実施について:この講義にインターネット対応デバイス(スマートフォン、タブレットPC、ノートパソコン)を持参すること。
英和・和英辞典を毎回持参すること。電子辞書や携帯でもOK。英語の使い方の例文が書いてあるものがよい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	TOEIC Test Prep Schedule and Strategies	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	Part 1 Photographs ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	Part 1 Photographs ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	Part 2 Question-Response ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	Part 2 Question-Response ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	Part 3 Conversations ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	Part 3 Conversations ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	Part 4 Talks ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	Part 4 Talks ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	Part 5 Incomplete Sentences ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	Part 5 Incomplete Sentences ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	Part 6 Text Completion ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	Part 6 Text Completion ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	Part 7 Reading Comprehension ① (tactics)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	Part 7 Reading Comprehension ② (practice)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000014003 ドイツ語（看護）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小澤　昭夫		

学習目標(到達目標)

1　発音できる。
2　動詞の現在人称変化ができる。
3　冠詞類の格変化ができる。
4 ドイツ語で自己紹介し、簡単な手紙を書くことができる。

授業概要(教育目的)

ドイツ語の初歩を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験と小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストと中間試験は採点の上返却する。

講義時使用テキスト

櫻井麻美
『アイレ・ミット・ヴァイレー会話ではじめるドイツ語文法』
三修社

参考文献

黒田龍之助『はじめての言語学』講談社現代新書
福本義憲『はじめてのドイツ語』講談社現代新書
黒田龍之助『にぎやかな外国語の世界』白水社
町田　健監修『ニューエクスプレス・スペシャル　ヨーロッパのおもしろ言語』白水社

資格との関連

学生へのメッセージ

ドイツ(連邦共和国)はヨーロッパ大陸の中央部に位置して、9つの国と国境を接しています。ドイツ語は、ドイツはもちろんオーストリアとリヒテンシュタインの唯一の公用語であり、スイス、ルクセンブルクでは公用語の一つです。
この授業では初級ドイツ語を学びます。(1)アルファベートから始めて、(2)文を作る基本的なルール(＝文法)を理解し、(3)多くの平易な文章に触れ、(4)ドイツ語圏の文化や歴史にも目を向けるのが目標です。
ドイツ語の読み方は容易です。(1)ローマ字を読む要領で、(2)語の最初の母音にアクセントを置き、(3)アクセントのある母音は、うしろに子音が一つの場合に長く、子音が二つ以上続く場合に短く読むのが原則です。
これまで英語に馴染んできた目には複雑そうに映るかもしれない文法も、要点は(1)主語に応じて動詞の語尾が定まること(＝人称変化)、(2)名詞の前に付けられる冠詞(類)が、その名詞の文中での役割を明示するために語尾を変えること(＝格変化)の二つに過ぎません。とは言っても、語学は結局のところ覚えなければ何ものでもありません。語彙は少しずつ増やしていきましょう。
ドイツ語を学ぶことで、未知の世界への扉がまた一つ開くことになればと願っています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	世界の言語とドイツ語 アルファベート 発音とつづりの読み方 あいさつ	世界地図または地球儀を見る	授業の内容を整理する 発音練習をする
2	動詞の現在人称変化 人称代名詞と動詞の語尾 最重要動詞sein(be)とhaben(have)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理する 発音練習をする
3	名詞の性 名詞の格 定冠詞と名詞の格変化 不定冠詞と名詞の格変化 定冠詞と不定冠詞 複数形	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
4	不規則動詞の現在人称変化 決定疑問文の答え方	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
5	前置詞の格支配	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
6	定冠詞類・不定冠詞類 nichtとkeinの使い分け	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
7	人称代名詞の格変化 3格目的語と4格目的語の語順 非人称のes	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
8	話法の助動詞の現在人称変化 話法の助動詞の種類と用法 枠構造 未来・推量の助動詞werden	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
9	分離動詞と非分離動詞 接続詞 形容詞と副詞の用法 比較級・最上級	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
10	動詞の3基本形 現在完了形 haben支配とsein支配	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
11	動詞の過去人称変化 受動態	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
12	再帰代名詞 再帰動詞 zu不定詞	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
13	形容詞の格変化 比較級と最上級	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
14	関係代名詞 命令形	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
15	接続法 接続法第2式の用法	テキストの該当箇所を読む 練習問題を解く	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む

講義名	1000015003 ドイツ語コミュニケーション（看護）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小澤　昭夫		

学習目標(到達目標)

1　発音できる。
2　動詞の現在人称変化と冠詞類の格変化ができる。
3　日常生活で多用される基本表現を使える。

授業概要(教育目的)

ドイツ語の初級文法を踏まえながら、日常生活に必要な基本的な語彙と表現を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験と小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストと中間試験は採点の上返却する

参考文献

黒田龍之助『はじめて言語学』講談社現代新書
福本義憲『はじめてのドイツ語』講談社現代新書
高橋憲『最新版 ドイツの街角から 素顔のドイツーその文化・歴史・社会』郁文堂

講義時使用テキスト

春学期「ドイツ語」のテキスト(櫻井麻美『アイレ・ミット・ヴァイレー会話ではじめるドイツ語文法』三修社)を引き続き使用し、副教材としてプリントを配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	春学期「ドイツ語」の要点整理	春学期「ドイツ語」の学習範囲に目を通す	授業の内容を整理する
2	お名前は？(1)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
3	お名前は？(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
4	こんにちは(1)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
5	こんにちは(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
6	レストランにて(1)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
7	レストランにて(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
8	誕生パーティー	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
9	いくらですか？	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
10	ハンザ都市	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
11	結婚式の写真を見て	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
12	ポツダム広場へ	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
13	どこへ行くの？	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
14	路上にて	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
15	道案内	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む

講義名	1000015004	ドイツ語コミュニケーション（再履修）					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科/看護学科		担当教員(単位認定者)	小澤　昭夫			

学習目標(到達目標)

1　発音できる。
2　動詞の現在人称変化と冠詞類の格変化ができる。
3　日常生活で多用される基本表現を使える。

授業概要(教育目的)

ドイツ語の初級文法を踏まえながら、日常生活に必要な基本的な語彙と表現を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験と小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストと中間試験は採点の上返却する。

参考文献

黒田龍之助『はじめて言語学』講談社現代新書
福本義憲『はじめてのドイツ語』講談社現代新書
高橋　憲『最新版 ドイツの街角から　素顔のドイツーその文化・歴史・社会』郁文堂

講義時使用テキスト

プリントを配付する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	世界の言語とドイツ語、アルファベット	世界地図または地球儀を見る	授業の内容を整理する
2	つづりと発音	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理する 発音練習をする
3	お名前は(1)～動詞の人称変化(1)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
4	お名前は(2)～定動詞の位置、疑問文	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
5	こんにちは(1)～名詞の性と冠詞(1格)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
6	こんにちは(2)～動詞の人称変化(2)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
7	レストランで(1)～定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の1格と4格	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
8	レストランで(2)～動詞の人称変化(3)	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
9	誕生パーティー～定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の3格、人称代名詞の3格	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
10	いくらですか～所有冠詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
11	結婚式の写真～名詞の複数形、冠詞・所有冠詞・名詞の2格、紹介のdas	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
12	ポツダム広場～不規則動詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
13	旅行～3格支配の前置詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
14	路上で(1)～4格支配の前置詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む
15	路上で(2)～3・4格支配の前置詞	テキストの該当箇所を読む 発音練習をする	授業の内容を整理する ドイツ語例文を繰り返し読む

講義名	1000016000 哲学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	石原　良明			

学習目標(到達目標)

1.哲学的な文献に触れ、読解する訓練を積む。
2.様々な思想や考え方があることを知り、それぞれを自分の言葉で説明できるようになる。
3.抽象的かつ観念的な内容について記述することができるようになる。

授業概要(教育目的)

哲学とは、理性のみを方法論として真理を探究する学問である。人間は文明の発祥の時代から自らの頭脳を駆使して、世界や人間についての真理を探求してきたのである。本講義では、様々な文献資料、特に『新カトリック大事典』を頼りに、哲学の通史と様々な諸テーマに迫ることとしたい。幾人かの哲学者についても紹介することとなるが、人名や歴史を覚える必要はない。古来どのようなことが論じられ、それに従えば世界はどのように見えるのか、受講生の世界を広げ、問題意識を深め、また思考の基礎を養う場としたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

学期末の筆記試験によって総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

授業内における質疑応答を歓迎する。
課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

今道友信『西洋哲学史』講談社学術文庫、1987年。
K.リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社、2000年。
学校法人上智学院編『新カトリック大事典』研究社、1996-2010年。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

受講生には、漫然とではなく、分からないところはまず何が分からないのかはっきりさせるような「攻める読書」を求めたい。配布資料のすべてを理解する必要は必ずしもないが、全体として様々な思想のそれぞれの特徴や個性を面白く感じてほしい。授業を通して「ともに考える」姿勢を望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	哲学入門：過ぎ去らない確かなこととは	『新カトリック大事典』の「哲学」の項目を見ておくこと	参考文献の関連個所を読む
2	ソクラテス以前とソクラテス	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	プラトンの存在論	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	アリストテレス：万能の天才	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	中世哲学：形而上学が見る人間と知の世界	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	近代思想：認識論が述べる「知る」とは何か	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
7	実存をめぐって	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	解釈学と物語論	「解釈違い」というネットスラングについて調べること	配布資料とノートを読み直す
9	人間と心	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	言葉とは	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	時間とはなにか	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	世界観と歴史：大きな物語はもはや不可能なのか	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	社会にあるべき姿はあるのか	参考文献の関連個所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	超越的人間：人はなぜ永遠を想うのか	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	さらなる普遍性を求めて：すべてのことはメッセージ？	これまでの授業内容を復習しておくこと	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000017000 芸術論						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

人と芸術表現および活動について視野や発想を広げ、その精神的な意味を把握し、理論的理解にとどまらず、表現創造活動を試みるきっかけとする。

授業概要(教育目的)

私たちは時代や環境から多くの精神的影響を受けていますが、特に今日私たちを取り巻く社会・生活は環境や生活様式が大きく変化し、多様・複雑化してきています。この講義では造形芸術表現や身近な生活文化について、ひとりひとりが違う感動や心の思いと創造表現について、他の表現分野との関連も比較しながら多角的に考えてみましょう。また講義と合わせて、身近な自然や日常の生活を題材に基礎的な表現実技の過程を体験し、自分自身が感じていることを生きた手触りとして確かめてみましょう。それはもう一つの生きる意味や新たな価値観、発想と創造の素晴らしさに出会うきっかけとなるはずです。
　演習については一人ひとりの興味や関心、考え方が生かされるように配慮していきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業を理解するうえで必要不可欠と思われる資料(作品写真・映像・参考資料・図書等)については、必要に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

授業用の専用ノートを一冊用意し、授業中の板書や口頭による説明を記録すること(その講義内容を元に、小レポートや期末レポートの課題を課す)。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術の原点と芸術の諸領域の表現 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	芸術の原点と芸術の諸領域の表現 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	芸術の原点と芸術の諸領域の表現 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	日本の芸術・文化の特質	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	デッサンの世界 ① 講義	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	デッサンの世界 ② 演習	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	デッサンの世界 ③ 演習	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	写真映像と空間表現	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	日常を見つめ、表現する ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	日常を見つめ、表現する ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	美の伝統を現代に生かす ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	美の伝統を現代に生かす ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	国際展に見る、美と世界との対峙	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	地域社会・文化とアートによる創造の試み ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	地域社会・文化とアートによる創造の試み ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	1000018000 デザイン論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	船山　哲郎			

学習目標(到達目標)

デザインと文化、社会における役割について、基本的な知識や考え方を具体的に把握し、新たな発想やデザイン創造活動に生かす。

授業概要(教育目的)

私たちの社会・生活は、実に様々なデザインされたものに囲まれています。この講義では、社会や生活の実際的ニーズと直接結びつき、「使用」や「情報伝達」、「空間・環境形成」などの具体的目的の中で行われている諸デザイン活動が人の長い歴史の中でどのようなニーズや意図のもとに、何を生み出してきたのか、またそれらが社会・生活にどのような変化や影響をもたらしたのかについてさまざまな具体的事例を挙げながら、考察を進めてみます。
講義とともに基礎的な構成理論とデザイン構成演習を併せて実施します。構成演習については、一人ひとりの興味関心・考え方が生かされるように配慮していきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

授業を理解するうえで必要不可欠と思われる資料(作品写真・映像・参考資料・図書等)については、必要に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

授業用の専用ノートを一冊用意し、授業中の板書や口頭による説明を記録すること(その講義内容を元に、小レポートや期末レポートの課題を課す)。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術とデザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	人とデザインの歴史	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	近代デザインとバウハウス ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	近代デザインとバウハウス ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	バウハウスと日本への影響	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	日本のかたちと用の美 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	日本のかたちと用の美 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	文字・記号と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	色彩・光と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	デザイン構成理論と基礎演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	デザイン構成理論と基礎演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	デザイン構成理論と基礎演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	デザインと装飾性	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	現代社会・生活とデザイン活動の展開 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	現代社会・生活とデザイン活動の展開 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	1000019000 心の科学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	金地　美知彦		

学習目標(到達目標)

心理学の基礎知識の習得を目標とする。

授業概要(教育目的)

本講義では、心理学の観点から「心」の基本的なメカニズムについて考えていきたい。心理学の研究によって、「心」の意外な働きが分かってきた。本講義では、知覚、記憶などの認知的な側面から心理学の基礎について概説する。また、人格、知能、発達などから、その人特有の個性を形作る「心」の働きについても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験の成績を中心に、講義中の小レポートも加味し、総合的に評価する。なお、定期試験は、テキスト、ノートなど一切の資料を持ち込み不可で行う。

課題に対するフィードバック

全体の成績評価および定期試験の成績(得点)については、成績発表終了後に金地まで問い合わせれば個別に開示する。

参考文献

角山剛・小西啓史・三星宗雄・渡辺浪二(編著)『基礎からの心理学』おうふう

講義時使用テキスト

特に指定しない

資格との関連

認定心理士資格申請に必要な科目の一つである。

学生へのメッセージ

【履修上の注意】
　秋学期集中講義で開講される『行動の科学』では、主に集団としての人間の問題、心の病などについて概説する予定である。本科目と『行動の科学』を併せて履修することで、心理学の知識を幅広く習得されることを希望する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	【ガイダンス ＆ 心理学とは】 ①授業の進め方 ②心理学とは ③心理学の歴史	心理学の研究対象について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
2	【知覚】 ①知覚とは ②視覚の世界 ③その他の知覚世界	物を知覚するしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
3	【記憶】 ①記憶とは ②短期記憶と長期記憶 ③勉強に役立つ記憶法	記憶のしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
4	【思考】 ①問題解決 ②推理 ③確率判断 ④意思決定	問題解決、推理、確率判断、意志決定のしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
5	【行動学習(レスポンデント条件付け)】 ①無条件反射 ②条件反射とレスポンデント条件付け ③さまざまな条件反射	レスポンデント条件付けのしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
6	【行動学習(オペラント条件付け)】 ①生得的行動と獲得的行動 ②スキナーの実験とオペラント条件付け ③ギャンブルに依存する心理 ④学習性無力感	オペラント条件付けのしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
7	【対人関係】 ①他者を知る仕組み ②自分を知ってもらうには ③友情＆恋愛	他者認知、自己呈示、印象形成のしくみについて図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
8	【感情・動機づけ】 ①感情とは ②フラストレーションとストレス ③動機づけ	感情が生起するしくみ、フラストレーションの解消法について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
9	【性格】 ①性格とは ②性格のとらえ方 ③性格を決める要因	性格の捉え方(類型論と特性論)について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
10	【性格テスト(心理検査)】 ①性格テスト(心理検査)とは ②性格テスト(心理検査)の実施	性格(心理状態)の3つの測定方法について図書館やネットを用いて調べる。	性格テスト(心理検査)の結果を振り返ってみる。
11	【心の発達】 ①乳児期・幼児期 ②認知の発達 ③言語能力の発達	乳児期や幼児期、児童期の心の発達について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
12	【心の発達】 ①社会性の発達 ②自己の発達 ③成人期・老年期	青年期から老年期の心の発達について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
13	【心のダメージ】 ①心の葛藤 ②ストレス ③心の病気	ストレスによって引き起こされる心や身体の病気について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
14	【心の治療】 ①心理療法とは ②心理療法の様々な技法 ③日常生活でのメンタルケア	心理療法の様々な技法について図書館やネットを用いて調べる。	配布資料を読み返し、授業の内容を理解する。
15	【まとめ】 これまでの授業を一通り振り返り、ポイントを押さえる。	配布プリントがすべて手元にあるかどうか確認し整理しておく。	ポイントを重点的に学習し、試験に備える。

講義名	1000020000 行動の科学						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	石岡　れい子			

学習目標(到達目標)

行動の科学的接近の成果にもとづいて、心理学の各領域のテーマについて基本的な事柄を理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

この授業では、行動の科学的な理解を通して、社会、他者、集団、環境における人間の行動や心の働きについて概説する。また、心の病やそれに対する治療、援助について学び、臨床的・応用的な見地からも「心」の働きについて考えていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

試験や小テスト、課題提出、演習の発表、授業中の発言等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎回の授業の終わりに、出席確認と授業内容の確認の意味で、小テストを実施する。
レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び、地域で支えよう」全国キャラバンメイト連絡協議会

資格との関連

社会福祉士、教員、看護師の資格取得のための選択科目である。人間の行動を科学的に観察、分析するために、まずは実際に自分で各種の検査を行い、自身の性格や行動について客観的に分析することから始めていく。

学生へのメッセージ

受講者は、意志・好奇心を持って参加されたい。また、学んだ知識を生かせるように実際の事例にあてはめながら理解してもらいたい。重要なことは、学んだことをただ授業の中だけで終わらせないことである。そうでなければ、内容を理解したとは言えない。理解習得し、ものごとを学習前と違った視点から見られるようになって欲しい。

実務との関連

小学校教員、特別支援学校教員を経て、教育大学の大学院で臨床心理学を学んだ。特に応用行動分析学の研究室で、人間の行動、行動変容、環境との相互作用、コンサルテーションについて学んだ。その知見と実務経験をもとに話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	心理学とはなにか	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
2	環境の認知	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
3	行動の変容 自身のコーピング尺度を分析し行動パターンについて感想文を提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
4	記憶	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
5	感情と動機づけ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
6	性格と知能 自身のエゴグラムの結果を分析し説明したうえで、今後の自身のあり方をレポートにまとめ提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
7	発達	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
8	対人認知と対人魅力、態度と態度変化 Leeの受情尺度の結果を自己分析し、レポートを提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
9	自己と他者 ハイダーのバランス理論について学び日常の行動と結び付けて具体例を挙げて、レポートにまとめ提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
10	集団の心理	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
11	リーダーシップ 自身のLPC尺度の結果を分析し効果的なリーダーシップのあり方について考え、レポートを提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
12	適応と不適応 STAI1とSTAI2を分析し、レポートを提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
13	主な精神障害の概要 SDS(うつ尺度)を実施し、うつの症状を知る。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
14	精神障害への介入技法(認知症の理解と支援について-ゲストティーチャー) 認知症サポーター養成講座を受けて、感想文の提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	ゲストティーチャーによる寸劇などを見て、グループディスカッションをして発表する。 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する
15	障害の心理(発達障害児者の理解と支援について-ゲストティーチャー) 自閉症キャラバン隊(八戸市自閉症親の会主催)の話を聞き、実際に発達障害の人の困難さを体験し、 感想文を提出する。	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	ゲストティーチャーによる寸劇などを見て、グループディスカッションをして発表する。 配布資料とノートを読み直す 課題のレポートを作成する

講義名	1000021000	歴史学 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1、歴史的なものの見方の意義が理解できる。
2、古代ギリシアから現代に至るまでの法思想の概要について理解できる。
3、それぞれの思想家が思索した時代背景を理解できる。

授業概要(教育目的)

現代世界は「グローバリゼーション」の掛け声のもとに、大きな変動を迎えている。そうした中で、従来の国家・社会の構造は変容し、人々の信念にも変容がみられると同時に、そうした変化に対する反発も生じている。
こうした流動的な状況においては、人類の歴史を振り返り、過去の変動の時代に人々が何を考え、どのように行動し、結果として何がもたらされたかを学ぶ歴史学の視点は大変重要に思われる。
この授業では、国家と社会を形作るいわば骨格である「法」についての捉え方の歴史、すなわち「法思想」の歴史を西洋という文脈に限って、古代ギリシアから現代に至るまでたどってみたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

期末の定期試験によって評価する。出席が3分の2を超えていることは単位取得の前提条件である。穴埋め個所は試験範囲になるので、授業中はこまめな穴埋めをすること。なお遅刻は3回で欠席1回相当とみなす。

課題に対するフィードバック

授業中には適宜討論の時間を設けたい。電子メールで質問には随時答える。講義中の質問は大歓迎である。

参考文献

三島淑臣『法思想史〔新版〕』青林書院、1993年。それ以外は授業時に紹介する。

講義時使用テキスト

テキストは特に指定せずに、スライド資料などを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

高校時代に世界史を履修していない人は、何か世界史に関する入門書を授業受講以前に1冊読んでおいてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	「歴史」のとらえ方　歴史学の歴史	高校の世界史の教科書や資料集をもう一度取り出して、自分の関心のある所を見直すなどしてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
2	法思想史の意義について プラトンの哲人王政　魂の政治	高校の世界史教科書でも構いませんので、古代ギリシアに関する部分をざっくり読んできてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
3	アリストテレスの正義論　正義の三分説	高校の世界史教科書でも構いませんので、古代ギリシアに関する部分をざっくり読んできてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
4	ヘレニズム時代の法思想　ストア派とエピクロス派	高校の世界史教科書でも構いませんので、古代ギリシアに関する部分をざっくり読んできてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
5	キリスト教の登場　旧約の法から新約の法へ	高校の世界史教科書でよいので世界史・倫理のキリスト教に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
6	教父アウグスティヌスの法思想　永遠法について	高校の世界史教科書でよいので世界史・倫理のキリスト教に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
7	スコラ学者トマス・アクィナスの法思想　自然法について	高校の世界史教科書でよいので世界史・倫理のキリスト教に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
8	末期スコラ学とグロティウス　国際法の萌芽	高校の世界史教科書でよいので世界史の大航海時代前後に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
9	ルネサンスから「宗教改革」へ　マキアヴェリの君主論について～ホッブズの社会契約論	高校の世界史の教科書でよいのでルネサンス前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
10	近代市民社会の成立　ジョン・ロックの所有権論	高校の世界史の教科書でよいので近代市民革命前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
11	近代市民社会の深化　カントの普遍主義的法理論とJ.S.ミルの自由論	高校の世界史の教科書でよいので近代市民革命前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
12	近代市民社会への批判　ルソーの一般意思論とヘーゲルの人倫論	高校の世界史の教科書でよいので近代市民革命前後の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
13	実証主義の時代　ハンス・ケルゼンの法実証主義とラートブルフの価値相対主義	高校の世界史の教科書でよいので19世紀の記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
14	自然法論の「復権」　ヨハネス・メスナーの自然法倫理学	高校の世界史の教科書でよいので第二次世界大戦前後のヨーロッパに関する記述(特にファシズムについて)を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。
15	現代世界の法思想　「ハーバード白熱教室」が問いかけるもの	高校の世界史の教科書でよいので現代に関する記述を読み直しておいてください。	授業時に穴埋めしたスライド箇所を見直してください。穴埋め箇所は試験範囲となります。

講義名	1000022001 日本国憲法（看護学科）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	髙須 則行			

学習目標(到達目標)

① 日本国憲法の理念・構造を説明できる。
② 基本的人権の精神およびその内容、平和の尊さを考え、民主政治の仕組みを説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、私たちの国家の基本的在り方を決めている日本国憲法について、その基本原理として挙げられている国民主権、基本的人権の保障、平和主義の理念、権力分立制がどのような働きをしているのかを判例を踏まえながら理解してもらうことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験および小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

他の参考書、参考資料は、講義の中で適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『憲法概観(再訂版)』(司法協会)

資格との関連

公務員試験 行政書士試験

学生へのメッセージ

テキストは必ず持ってくること。
新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。女性天皇制・天皇の国事行為・天変地異と危機管理・日本を取り巻く国際社会の変化など、憲法改正論が巷を騒がせている。他方で国民の人権はどうなるのか是非関心を持ってニュースに接してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	憲法へのいざない：日常生活における基本的人権の問題)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	憲法の位置付け：憲法の最高法規性	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	憲法の基本原理：国民主権・基本的人権の保障・権力分立制・平和主義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	憲法の歴史：近代憲法から現代憲法へ	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	基本的人権の性質	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	基本的人権の体系	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	法の下の平等	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	自由権(1)：精神的自由(信教の自由)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	自由権(2)：精神的自由(表現の自由)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	自由権(3)：人身の自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	自由権(4)：経済的自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	社会権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	統治機構(1)：三権分立制の意義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	統治機構(2)：三権分立制の関係	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	地方自治	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	1000023000 政治学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①政治学で用いられる基本的な概念について説明できるようになる。
②政治学の考え方を活用して、実際の政治現象を読み解くことができるようになる。
③物事を客観的・理性的に判断したうえで、自らのもつ政治的権利を行使できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、政治が決めたルールなどに従って生活していると同時に、主権者であり、政治の行方を決める存在でもある。そのため、実際の政治現象を正確に理解したうえで、行動することが求められる。本講義では、この点を踏まえ、現実社会における複雑な政治現象を理解し、さまざまな政治的課題への解答を見つけ出すために必要な政治学の諸概念や分析手法を身につけていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

日頃から政治に興味・関心をもって新聞やニュースに触れるとともに、政治の当事者としての意識をもちながら生活してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	政治と政治学	政治とは何かについて考えておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	国家と主権	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	政治権力	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	政治制度	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	政治体制とイデオロギー	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	政治思想	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	民主主義①:民主主義の歴史的展開	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
8	民主主義②:民主主義を支える諸概念	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
9	政党と政党システム	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
10	選挙	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
11	諸外国の政治①:イギリス	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
12	諸外国の政治②:アメリカ	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
13	日本の政治①:日本政治史	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
14	日本の政治②:現代日本政治の特徴と課題	参考文献の該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する。
15	政治学の役割	政治的課題の解決に向けて自ら何ができるのかについて考えておく。	授業の内容を整理し、論点を整理する。

講義名	1000024000 社会学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①現代社会の特徴について理解し、説明できるようになる。
②個人と社会の関係性や生活(生き方)の多様性について理解し、さまざまな生き方を選択したり、受け容れたりできるようになる。
③社会の抱える諸問題とその背景を理解し、問題の解決策を考えることができる。

授業概要(教育目的)

社会学は、私たちが生活する社会の仕組みやそこで起こる現象の説明を試みる学問分野であり、非常に幅広い研究対象をもつ。この講義では、社会のさまざまな側面を取り上げ、それを客観的に理解・説明するために必要な能力を身につけ、実社会で直面する多種多様な課題に自ら対応できるようになることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

講義時使用テキスト

奥村隆編『はじまりの社会学――問いつづけるためのレッスン』ミネルヴァ書房、2018年。

資格との関連

学生へのメッセージ

社会学は、私たちの暮らしに関わるさまざまな面を分析する学問である。そのため、普段の生活のなかでも、さまざまな事象に興味・関心をもつよう心掛けてほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	社会学の意義	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	社会学の射程	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	自己と他者	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	家族	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	ジェンダー	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	労働	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	格差・不平等	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	病気・障害	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	外国人・民族	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	宗教	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境と開発	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	逸脱と社会規範	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	権力と国家	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	マスメディア	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	社会学がもつチカラ	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000025000 国際関係論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①国際社会の特徴と歴史を踏まえ、現在の国際関係や世界情勢を説明できるようになる。
②国際関係や国際政治の説明に必要な理論を活用できるようになる。
③国際社会から受けるさまざまな影響に対して正しく対応できるようになる。

授業概要(教育目的)

私たちは、国際社会のなかで暮らし、国際関係から大きな影響を受けている。グローバル化が進んだ現代、地域社会で活躍するためには、国際関係を客観的に理解し、論理的に説明する力が求められる。この授業では、国際関係の特徴・歴史・理論・課題を学び、世界情勢を読み解く力を習得したうえで、持続可能な開発目標(SDGs)に代表されるさまざまな地球的課題への解答を自ら見つけ出せるようになることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、次の授業およびWebClassにて結果を紹介したり特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

講義時使用テキスト

佐渡友哲・信夫隆司・柑本英雄(編)『国際関係論(第3版)』弘文堂、2018年。

資格との関連

学生へのメッセージ

国際関係論は政治学の一分野であることから、事前に政治学の履修を勧める。また、日頃から国際情勢に関心をもち、新聞の国際面に目をとおしたり、世界の出来事を伝えるニュース番組を見たりすることが望ましい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	国際関係を学ぶ理由	世界情勢にの興味・関心をもっておくこと。	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	国際社会の特徴	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	20世紀の国際関係	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	21世紀の国際関係	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	現代のグローバル化	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	グローバル化の光と影	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	地域化	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	北東アジアの今	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	現代の安全保障	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	南北問題	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	地球環境問題	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	非国家アクター	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	国際関係の理論①	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	国際関係の理論②	テキストの該当箇所およびWebClassにある資料を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	世界の平和と安定に向けて	世界を平和にする方法を考えておくこと。	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	1000026000 海外事情						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

「海外事情」は国際理解教育の観点から、外国に一定期間滞在して、人的交流と語学研修等を通して、具体的かつ実践的な海外各国の異文化の事情等を学ぶことを目的とする。異文化や異国でのビジネス等に触れることにより、広い視野と積極性に基づく国際理解を身につけ説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

海外事情に関する事前講義、現地における各種研修、帰国後に行う事後講義・レポート提出・プレゼンテーション等により、教員が必要に応じて受講や発表を決定しその内容で評価する。
<「アメリカ海外研修」および「CNE1フィリピン」、「EF(英語圏)」での英語研修については、「英語コミュニケーション」を参照。>

講義時使用テキスト

後日指定する。
団体行動を基本としたスケジュールを組んでいるので、その自覚と意欲ある者の履修を求める。

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

①<アメリカ合衆国>ワシントン州シアトル市にあるKAPLAN語学研修および同校学生との交流に参加し、ホームステイや同校における米国人学生および各国からの留学生との交流を通じて海外生活を体験する。また、米国シアトル市などにおいて、米国企業見学や市庁舎訪問を実施することや、引率教員による「異文化理解」現地講義を予定している。
②<タイ>ファーイースタン大学の見学および学生との交流。タイ国チェンマイ市の歴史や専物館、病院、福祉施設などの見学を通して、異文化を理解し、国際感覚を培うことを目的として実施する。
③<CNE1フィリピン>学校法人光星学院が協定を結んでいるフィリピンの語学学校「CNE1」での語学トレーニングを通して英語でコミュニケーションする能力を高め、現地研修によって外国の歴史や文化や習慣に触れることで、国際的な視野を広げる。
④<EF>学校法人光星学院が協定を結んでいるEF(イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社)が提供する世界各地への語学留学プログラムに参加する。
＊注意事項
上記①～④の研修に参加する予定の学生は、あらかじめ「海外事情」を履修登録すること。また、研修参加後に「海外事情」と「英語コミュニケーション」の単位認定を希望する学生は、教務学生課において修了証等の写しとともに、「単位認定願」を必ず提出すること。なお、参加費は実費で、費用に含まれるのは次の通りである。
1)交通費(国内の移動費。航空運賃)と海外旅行傷害保険料
2)英語研修費と諸活動費の一部及び宿泊費(ホテル・ホームステイ費用)
3)その他費用(現地移動費等)

課題に対するフィードバック

事前研修プログラム最中にプログラム担当者が口頭でフィードバックする。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習
1	海外研修事前指導(1) 研修の目的	シラバスの内容を確認する。	研修内容を整理する。
2	海外研修事前指導(2) 研修地の事情、歴史、文化	研修地についてメディアで調べる。	研修内容を整理する。
3	海外研修事前指導(3) 研修スケジュールの計画	研修地についてメディアで調べる。	研修内容を整理する。
4	海外研修 語学研修(1)	研修スケジュールを確認する。	研修内容を整理する。
5	海外研修 語学研修(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
6	海外研修 歴史・文化(1)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
7	海外研修 歴史・文化(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
8	海外研修 歴史・文化(3)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
9	海外研修 ビジネス(1)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
10	海外研修 ビジネス(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
11	海外研修 観光・食(1)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
12	海外研修 観光・食(2)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
13	海外研修 観光・食(3)	前回の研修内容を再確認する。	研修内容を整理する。
14	海外研修事後指導(1) 海外研修の振り返り	海外研修中の学習内容を整理する。	研修内容を整理する。
15	海外研修事後指導(2) レポートの作成	海外研修中の学習内容を整理する。	研修内容を整理する。

講義名	1000026001	海外事情（韓国文化）					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	崔　桓碩			

学習目標(到達目標)

本講義の学習目標は、韓国語および韓国文化について基礎的な知識を習得し、韓国文化への理解を深めることをである。具体的には、毎回韓国語の学習を通じ、ハングル文字や発音を身につける。さらには、簡単な文法を覚え、日常生活に必要な表現について学習し、授業の最後には初級レベルに達することを目標とする。そして、韓国文化について地理、衣・食・住文化、歴史、芸能などのように幅広く学習し、隣国である韓国文化への理解を深めることを目標とする。

授業概要(教育目的)

授業は大きく2つに分けて進める。一つは、韓国語の学習である。ハングルが創造された歴史を踏まえ、ハングルの基本的な文字構成や発音について身につける。文字を単に覚えるのみではなく、基礎的に読める、書ける、聞ける、言えるようになっていただくよう、随時テストを行いながら授業を進める。二つは、韓国文化の学習である。文化の基本的な定義から始め、韓国の地理的特徴や歴史、社会的情勢などできる限り幅広く紹介する。すなわち、韓国文化について一面ではなく、多面的に観察することにより文化への理解を深める。さらには、韓国文化への理解を始め、異文化を理解するための土台を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

本講義の評価は、課題(レポート)2回と定期試験1回により評価する。レポート1回につき15点で合計30点、定期試験を70点にして、総100点で評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. 李昌圭著『日常会話から文法まで学べる　はじめての韓国語』ナツメ社

講義時使用テキスト

レジュメ配布

資格との関連

韓国語能力試験(TOPIK)の資格を受験する基礎になる。

学生へのメッセージ

本講義は、韓国語および韓国文化について理解を深めたい人を対象としている。また、授業での内容を十分理解した上で、両国の交流増進のために積極的に活動してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. ハングルについて 2. 文化について(文化とは何か？)	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
2	1. ハングルの創造の歴史 2. 韓国の地理(位置、領土、気候、山河などの自然環境など)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
3	1. ハングルの子音について 2. 韓国の「食」文化(キムチ、サムギョプサルなど)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
4	1. ハングルの母音について 2. 韓国の「衣」文化(韓服(チマチョゴリ)など)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
5	1. 基本的な文字の構成①(パッチム無し) 2. 韓国の「住」文化(昔の住宅と現在の住宅)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
6	1. 基本的な文字の構成②(パッチム有り) 2. 韓国の歴史(原始時代から現代まで)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
7	1. ハングルの発音法①(パッチム無し) 2. 韓国の民俗芸能と通過儀礼(陶磁器(世界遺産、国宝)、生活規範としての儒教)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
8	1. ハングルの発音法②(パッチム有り) 2. 韓国の伝統舞踊と仮面劇(「판소리」と「탈춤」)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
9	1. ハングルを書いてみよう①(パッチム無し) 2. 韓国の音楽(「트로트」と「K-POP」)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
10	1. ハングルを書いてみよう②(パッチム有り) 2. 韓国のドラマと映画	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
11	1. ハングルの読み・聞き練習①(パッチム無し) 2. 韓国の若手文化	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
12	1. ハングルの読み・聞き練習②(パッチム無し) 2. 日本との交流について①(朝鮮通信使について)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
13	1. 基本的な会話表現①(あいさつ、自己紹介) 2. 日本との交流について②(近代から現代まで)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
14	1. 基本的な会話表現②(家族の紹介) 2. 日本との交流について③(地域ごとの交流について)	授業内容についてインターネットで調べる 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる
15	1. 基本的な会話表現③(食事する時) 2. 在日韓国人・朝鮮人について	授業内容についてインターネットで前回の配布資料とノートを読み直す 調べる	配布資料とノートを読み直す 授業内容についてインターネットで調べる

講義名	1000026002	海外事情（中国文化）					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	楊　麗栄			

学習目標(到達目標)

①中国の文化、習慣など、広範な内容を通して、中国に対する理解を深める。
②中国文化と日本文化の違いなどを、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現する力を養う。

授業概要(教育目的)

日本は中国と一衣帯水の国であり、両国の交流は古代より頻繁に行われている。近年、日本を訪れる中国人観光客や、日本の教育機関で学ぶ留学生は増加する一方である。国際化社会の中では、いかに相手の国の文化、そして習慣を理解しながら、円滑にコミュニケーションを取れるのかが重要視されている。本講義は中国の大学生とオンライン交流を交えつつ、中国の文化について様々な視点から学び、思考を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業態度、発表やレポートを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やレポートなどの取組みに対してアドバイスを行う。

参考文献

授業時に指示する。

講義時使用テキスト

教科書は基本的に使用しない。パワーポイント、視覚教材などを使用する。必要に応じてプリントを配布。

資格との関連

学生へのメッセージ

1. 中国に興味をお待ちの方大歓迎。

2. 中国の大学とオンライン交流を実施する予定。国際交流に熱心な学生を望む。

3. 履修人数により、オンライン交流の準備は一回になる可能性がある。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 中国の概況① （地理、気候、民族、文化の背景） 2. ゲームで中国語を覚えよう	中国についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
2	1. 中国の概況② 中国の都市を知る 2. ゲームで中国語を覚えよう	授業内容についてインターネットで調べる 発音③	授業の内容とポイントを整理する 発音②
3	1. 中国の社会・人文科学① 政治、経済を知る 2. 簡単な自己紹介を覚えよう 3. ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる 発音④	授業の内容とポイントを整理する
4	1. 中国の社会・人文科学② 中国の教育システムを知る 2. 簡単な自己紹介を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる 発音⑤	授業の内容とポイントを整理する 発音③
5	1. 中国人の生活① 習慣と慣習 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる 発音⑥	授業の内容とポイントを整理する 発音④
6	1. 中国人の生活② 中国人の対人関係 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する 発音⑤
7	1. 中国人の生活③ 中国人の学生生活 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する 発音⑥
8	中国の学生とオンライン交流会の準備	授業内容についてインターネットで調べ、準備する	授業の内容とポイントを整理する
9	中国の学生とオンライン交流会の準備	授業内容についてインターネットで調べ、準備する	オンライン交流会の内容をを整理する
10	中国の学生とオンライン交流会	授業内容についてインターネットで調べる	オンライン交流会の内容をを整理する
11	1. 中国の社会システム① 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	オンライン交流会を振り返る
12	1. 中国の社会システム② 中国医学(中国医学、健康法) 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
13	1. 中国の伝統・芸能 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
14	1. 中国のサブカルチャー 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験　OR　ディスカッション	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する
15	1. 中国文化と日本文化の相違点 2. 中国の言葉を覚えよう 3. 文化体験	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容とポイントを整理する

講義名	1000026003 海外事情（タイ文化）						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	横田　将志			

学習目標(到達目標)

①タイの社会や文化について理解を深め、説明できるようになる。
②日本はタイからどのように見られているのかについて知り、自らの暮らす社会を客観的に把握できる能力を獲得する。
③国際社会で求められるコミュニケーション・スキルとコモンセンスを身につける。

授業概要(教育目的)

タイは、日本人が観光やビジネスで最も頻繁に行き来する国の1つである。近年は、日本に訪れるタイ人の数も急激に増えつつある。しかしながら、日本では、タイに誤ったイメージを抱く人々がいまだに多くいる。反対に、タイでは、アニメをはじめとする日本のポップカルチャーが広く浸透し、日本に興味・関心を抱く人々が数多く存在するが、実際の日本社会を正確に把握・理解している者はまだ少ない。本講義では、これらの点を踏まえて、タイの大学生とのオンラインでの交流等も交えつつ、日本とタイの相互理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内での発表やレポートを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やレポートなどの取り組みに対してアドバイスを行うとともに、学生と教員が一緒になって改善策を考えていく。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

タイの大学生とのオンライン交流やワークショップを実施することから、履修者の上限を10名程度とする。受講希望者が多数であった場合は、選抜試験を実施し、成績上位の者のみ履修を認める。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	タイを学ぶ意義	タイについて興味や関心をもつ	授業の内容と論点を整理する
2	タイのイメージの整理	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
3	タイ社会の特徴	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
4	タイの政治と経済	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
5	タイの学生生活	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
6	チェンマイを知る	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
7	バンコクを知る	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
8	タイにおける日本	授業内容について本やインターネットで調べる	授業の内容と論点を整理する
9	オンライン交流の準備①:質問事項の検討	タイの大学生に質問したい事柄を考えておく	各自でわかりやすく質問する練習を行う
10	オンライン交流の準備②:タイのマナーを学ぶ	タイ独自のマナーについて調べておく	各自でタイ語でのあいさつを練習を行う
11	オンライン交流の準備③:リハーサル	タイ語であいさつできるようにしておく	上手くいかなかったところを改善しておく
12	オンライン交流会	質問内容を整理・確認しておく	振り返りレポートを作成する
13	オンライン交流会の振り返り	振り返りレポート完成させておく	オンライン交流会で得られた情報や経験をノートにまとめておく
14	プレゼンテーションの準備	これまで学んできたタイに関する事項をまとめておく	パワーポイントを作成する
15	タイから学んだことについてのプレゼンテーション	パワーポイントを完成させておく	期末レポートを作成する

講義名	1000027000 自然科学概論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	熊谷　晶子			

学習目標(到達目標)

物理学・化学・生物学の基礎を理解し、物理学・化学・生物学の統合された自然科学で生物を説明できる。

授業概要(教育目的)

生物の特徴はその多様性と統一性の両面に見られる。生物体内では絶えず化合と分解の化学変化が行われ、生物体とそれをとりまく外部環境との間には物質の循環がみとめられる。物質の循環は化学変化であるが、光のエネルギーが大きな働きをなす。太陽のエネルギーが姿をかえて、生物体内の化学変化を酵素の存在のもとに行っている。また、機械的な仕事、熱、光、電気、化学現象間はエネルギー概念により結びつけられた。
生命現象を理解するために、これらの自然科学(生物学、化学、物理学)の基礎を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

受講態度と定期試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義において随時紹介する。

講義時使用テキスト

とくに必携テキストは必要としない。必要に応じてプリントなど配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自然科学概論とは	自然界の成り立ちとこれを支配する法則を調べる。	人類の直面する諸問題の論点を整理する。
2	生物の基本概念と基本構造	生命体の基本的属性を調べる。	生物の多様性と生命の斉一性を理解する。
3	生物の増殖	生物の増殖について調べる。	生物としての増殖には無性生殖と有性生殖があることを理解する。
4	生命と水	生命活動に重要な水の性質を調べる。	生命現象を水との関わりで理解する。
5	タンパク質	タンパク質の構造と機能について調べる。	タンパク質を機能から整理する。
6	糖質	生命活動のエネルギー源としての糖質について調べる。	糖質のエネルギー代謝を理解する。
7	脂質	水に溶けない脂質の役割を調べる。	エネルギー源、生体膜成分等の脂質の役割を整理する。
8	核酸と遺伝子	核酸の構造と機能を調べる。	遺伝子の本体としての核酸の構造を理解する。
9	細胞	生命活動の最小単位としての細胞について調べる。	細胞の構造と機能を理解する。
10	遺伝子DNA	遺伝子の本体のDNAの構造と遺伝情報の関係を調べる。	DNAの二重らせん構造と遺伝情報について理解する。
11	遺伝情報の発現	遺伝情報はタンパク質となり機能する。その仕組みを調べる。	遺伝情報の発現の仕組みを理解する。
12	遺伝情報の翻訳	遺伝情報をタンパク質に翻訳する仕組みを調べる。	遺伝情報の翻訳の仕組みを理解する。
13	生物学的存在としての人間①	人間は周囲の環境と影響し合って生きている。その仕組みを調べる。	人間の生命活動を整理する。
14	生物学的存在としての人間②	60兆個の細胞からなる人間の生体内の恒常性を調べる。	動的平衡で生体内の恒常性を保つ仕組みを理解する。
15	生命誕生	生命誕生について調べる。	受精から生命誕生までの仕組みを整理する。

講義名	1000028000 数学						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

以下の項目を到達目標とする。
授業で扱った内容について説明できる。
卒業論文や卒業研究など分析を行う際に、授業で扱った内容を応用できる。

授業概要(教育目的)

数学は、抽象的な論理展開を通じて物事の本質を見ようというものである。また、就職に関する試験などでも数学の知識が求められることから、今や数学の知識は社会において必要不可欠であるといえる。
本講義では、学生諸君が各学部・学科において2年次以降の応用科目の中でもよく用いられる、統計学や統計的分析、地域経営学部に関しては経営科学(線形計画法をはじめとしたOR:Operations Research, 3年次以降開講)や経済学などの分析方法の背後にある数学的構造(線形代数、解析学)の基礎的内容を講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

履修者が20人以下の場合には、複数回の小テストの結果、ならびにホームワーク(授業の課題)の結果によって評価する。
履修者が21人以上の場合には、定期試験の結果によって評価する。

課題に対するフィードバック

質問などがあれば、個別に対応する。

参考文献

必要に応じて適宜指示するが、授業内容の参考になるものとして以下を上げる。
松阪和夫 『線型代数入門』, 岩波書店.
原岡喜重 『はじめての解析学』, 講談社ブルーバックス.

講義時使用テキスト

使用しない.
講義資料を配布し、それに基づき行う。

資格との関連

学生へのメッセージ

高等学校で数学Ⅱ以降を習っていない場合には、各自で参考書などを購入し補うこと。
数学に限らずどの科目にも言える事であるが、遅刻等をせずに講義に臨むこと。
予習、復習とくに復習は欠かさず行うこと。
ほぼ毎回の授業で練習問題(ホームワーク)が課される。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	この授業の全体のアウトライン。 行列の基本(行と列、対角成分、正方行列)	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。 この授業専用のノートとファイルを用意する。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
2	行列の演算(四則演算)	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
3	逆行列・単位行列 ケリー・ハミルトンの公式	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
4	行列と行列式の違い 行列式の演算(2行2列)	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
5	行列式の演算(3行3列) サラスの方法 余因子展開	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
6	行列を用いた連立方程式の解法 クラーメルの公式	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
7	行列の固有値と写像	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
8	解析の基本事項 関数の連続と無限、平均変化率、極限	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
9	微分可能性とε－δ法 導関数と微分係数	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
10	指数関数や対数関数の微分 高次関数の微分 三角関数の微分	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
11	2変数の以上の微分(偏微分) 最適化	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
12	積分の基本事項 原始積分と区間積分	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
13	重積分と線積分	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
14	微分方程式の基礎事項	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。
15	授業内容の他分野との関わり 数学と情報理論 数学と統計学	事前に配布している授業の資料を予めダウンロードし目を通しておく。	授業の内容についてのノートなどを整理する。 練習問題に取り組む。

講義名	1000029000 スポーツの科学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	泉水　朝宏		

学習目標(到達目標)

以下の事項を到達目標とする。
1. 現代社会におけるスポーツの意義を説明することができる。
2. 自分自身の健康を保つためのスポーツトレーニングを実践することができる。
3. スポーツパフォーマンスを決定する原理原則を説明することができる。

授業概要(教育目的)

現代社会においてスポーツの持つ役割はますます重要なものとなっている。スポーツの本質を理解することは、スポーツの専門家を目指す場合だけではなく、健全な市民として身に付けるべき教養として不可欠なものであり、それは自然科学、人文科学、社会科学をはじめとする諸学問の力を借りる必要がある。本講義では、自らの心身を健康に保つため、そして生涯にわたりスポーツに親しむために必要となるスポーツの科学的知識を理解することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

講義への参加態度(発問への答えなど)、課題、小テストの成績から総合的に評価する。
オムニバス科目であるためそれぞれの教員の評価の総計をもって評価する。
また、原則として再試験・追試験は行わない。

課題に対するフィードバック

・成績を知りたい学生には個別に開示する。
・成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

・深代千之監修「スポーツを科学しよう!：トレーニング・競技から用具まで」(PHP研究所)
・鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター編；西薗秀嗣著者代表「スポーツ選手と指導者のための体力・運動能力測定法 ：トレーニング科学の活用テクニック」(大修館書店)
・宮西智久編 ； 岡田英孝，藤井範久著「スポーツバイオメカニクス」(化学同人)
・日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者テキスト」(大修館書店)

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

本科目は「教育職員免許法施行規則66条の6」に定められた科目の1つであり、中学校、高等学校に限らず教員免許を取得する学生は必ず履修し、修得すること。

学生へのメッセージ

講義会場を変更する場合があるので、掲示に注意すること。
講義科目であるが、実技を行う場合があるので掲示に注意すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 体力とは何か	・参考文献の関連個所を読む。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
2	2. 体力の測定 ①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
3	3. 体力の測定 ②	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
4	4. 体力の測定 ③	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
5	5. 体力評価の方法	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
6	6. 体力を高める方法(トレーニングの原理と原則)	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
7	7. スポーツ科学とは何か	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
8	8. スポーツと科学の関わり	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
9	9. トレーニングへの体力測定の活用	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
10	10. トレーニングの構成の実際	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
11	11. 生涯スポーツと体力トレーニング①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
12	12. 生涯スポーツと体力トレーニング①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
13	13. 運動生理学の基礎①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
14	14. スポーツのバイオメカニクス ①	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。
15	15. スポーツのバイオメカニクス ②	・参考文献の関連個所を読む。 ・前回の講義内容を整理する。	・授業の内容を整理しノートにまとめる。

講義名	4020001000	看護教育のための生物基礎					
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

1. 生命科学と生命観について基礎的知識を述べることができる。
2. 細胞、生殖、発生、生物と環境のかかわりなどの基礎的知識を述べることができる。
3. 生命体と地球環境との関連などの知識をもとに生命観について考察する。

授業概要(教育目的)

本講義では、看護・医療の基礎科学として、生命現象の共通性や特異性すなわち細胞・秩序・動的平衡・エネルギー・恒常性・反応性・成長と生殖・遺伝・適応による進化などを追及する。高校で生物を履修していない学生にも理解しやすいよう、平易で明快な表現を用いた授業とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

ミニテスト、まとめのテストは解説、解答を提示する。

参考文献

テキスト以外に授業で必要な資料は印刷して配布する。

講義時使用テキスト

系統看護学講座　基礎分野　生物学、医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

基礎的な知識を十分身に付けるように予習と復習をしてください。ミニテストおよびまとめのテストを行い、知識を整理する機会を設けます。

実務との関連

高橋正知担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、基礎生物学について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	生命体のつくりとはたらき・ 生命維持のエネルギー	生命体のつくりとはたらき・生命維持のエネルギーについて該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
2	細胞の増殖と体の成り立ち	細胞の増殖と体の成り立ちについて該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
3	遺伝情報と伝達・発現のしくみ	遺伝情報と伝達・発現の該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
4	生殖と発生・個体の調節	生殖と発生・個体の調節について該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
5	刺激の受容と行動	刺激の受容と行動について該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
6	生命の進化と多様性	テキストの該当箇所をあらかじめ読み、生命の進化と多様性に関連する事項について該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
7	生物と環境のかかわり	生物と環境のかかわりについて該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
8	地球環境とヒトの共存	地球環境とヒトの共存について該当する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	配布されたハンドアウトおよび講義の要点をまとめ、疑問点をピックアップする。

講義名	4020002000	看護教育のための化学基礎					
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	熊谷　晶子			

学習目標(到達目標)

1. 無機化学について、無機物の化学的性質および化学反応の基礎知識を述べることができる。
2. 放射性元素について、原子核崩壊および人工的原子核反応の知識を述べることができる。
3. 有機化学について、有機化合物の特性および化学反応の基礎知識を述べることができる。

授業概要(教育目的)

医療系教育において、人の正常な活動や疾病に理解には、身体を構成する物質とその反応を知ることが不可欠である。本講義では看護の道に進む学生が興味を持って化学を学べるよう、なるべく日常生活や健康・医療に関連した事項を取り上げ、無機化学・有機化学の理解を通して、生化学・薬理学・栄養学の学びにつながるように教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験の結果により評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

系統看護学講座　基礎分野　化学、医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

高校で学んだ知識を確実なものとし、さらにその上に積み上げていきますから、高校時代の授業内容を復習して本授業に臨むことが効果的です。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	物質の特性および原子と分子、化学結合	生活と切り離せない物質の本質を 原子・分子・化学結合で整理する。	物質の性質を整理する。
2	物質の三態と気体の性質、溶液とコロイド、化学反応	教科書で物質には，個体、液体，気体という三つの状態の変化があることを調べる。	授業の内容を整理し、教科書の関連個所を読む。
3	塩・酸・アルカリ、電解質と電池、無機物質	酸とアルカリの定義及び関連個所を整理する。	身近な現象にも関係している内容を整理する。
4	放射性元素、原子核崩壊と人工的原子核反応	教科書の関連個所を読む。	授業の内容を整理し、教科書の関連個所を読む。
5	有機化合物の特性および実験式と分子式	有機化合物の特性を調べる。	有機化合物と無機化合物の違いを整理する。
6	脂肪族炭化水素、酸素・窒素などを含むかんたんな有機化合物、カルボン酸および炭酸誘導体	教科書の該当箇所を読む。	授業内容を整理し、まとめる。
7	芳香族化合物、脂環式化合物およびテルペン類、複素環化合物	教科書の該当箇所を読む。	授業内容を整理し、まとめる。
8	糖質、アミノ酸とたんぱく質、合成高分子化合物	生体物質を化学的に整理する。	授業内容を整理し、まとめる。

講義名	4020004000	生命と倫理（看護学科）					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

1. 生命倫理に関する基本的な考え方を説明できる。
2. 生命倫理に関する主要な思想や歴史について説明できる。
3. 生命倫理に関する種々の問題について説明できる。

授業概要(教育目的)

生命は何故かけがえのないものであるのか、人間には何故、尊厳があるのか、人類の歴史は生命や尊厳を軽視してこなかったか、現代社会において生命や尊厳について何が問題となり、私たちはどのような選択を迫られているか。また、医療における倫理的な種々の問題、つまり患者の権利、障害者や先天異常に対する考え方、安楽死や尊厳死、緩和ケア、薬害、医療過誤、臓器移植、生殖医療および遺伝子治療などにおける倫理ついて学ぶことが本講義の目的である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

講義後のテーマに対する小論文と期末の筆記テストの結果で評価する。

課題に対するフィードバック

・課題(小論文)は各回の講義の終了20分前に行い、次回の講義でフィードバックする。

参考文献

塩野　寛著、「生命倫理への招待」 南山堂

講義時使用テキスト

使用しない。講義の度にハンドアウトを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

生命倫理や人間の尊厳に関する新聞やテレビの報道に注目し、自分のこととして考えることが医療従事者としての心構えになり得る。

実務との関連

大学病院勤務の実務経験を活かして職業と倫理(看護倫理、守秘義務、ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞｺﾝｾﾝﾄ)、生命の尊厳、患者の権利と医療現場、障がい者の尊厳、先天的異常、安楽死、尊厳死、生殖医療、グリーフケア、人生の最終段階における治療、薬害、医療過誤、各種ハラスメント、ジェンダー問題、臓器移植および遺伝子治療について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	職業と倫理(守秘義務・インフォームド・コンセントIC)	職業と倫理に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
2	生命の尊厳(クローン技術)	生命の尊厳に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
3	患者の権利と義務(医療現場)	患者の権利と義務に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
4	障がい者の尊厳	障がい者の尊厳に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
5	先天異常	先天異常に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
6	安楽死・尊厳死	安楽死・尊厳死に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
7	生殖医療(人工授精・不妊治療・人工妊娠中絶)	出生前診断に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
8	臓器移植	臓器移植に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめる。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
9	人生の最終段階における治療(緩和ケア・延命治療・ホスピスケア)	緩和ケア・延命治療・ホスピスケアに関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
10	薬害(薬物乱用)	薬害に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
11	ジェンダー問題と人権	ジェンダー問題に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
12	ハラスメント(キャンパス、パワー、アカデミック、セクシャルハラスメント)	種々のハラスメントに関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
13	医療過誤	医療過誤に関連する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
14	臨床研究における倫理	臨床研究における倫理について書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。
15	遺伝子治療	遺伝子治療に関する情報を書籍やインターネットを用いて調べてまとめておく。	配布資料と講義のノートを読み返し、要点と疑問点をピックアップする。

講義名	4020006000 解剖生理学Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	高橋　正知		

学習目標(到達目標)

1. 解剖学と生理学を定義できる。
2. 人体の構成要素を列挙できる。
3. 体を構成する細胞と組織について説明できる。
4. 体や組織を護る皮膚と膜、物質を輸送する血液系、体に血液を送る循環器系、酸素を取り入れ二酸化
　炭素を排出する呼吸器系、栄養の消化と吸収を行う消化器系、腎・尿路系の構造と機能、尿の産生と
　組成および腎機能低下ににについて説明できる。

授業概要(教育目的)

人体のしくみについての基本的な知識と、血液系、循環器系、呼吸器器系、消化器系および腎臓系の
解剖と生理について、臨床場面での疾患との関連を通して教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

講義ごとにミニテストを施行し、学期末に実施する客観試験(筆記)と併せて総括的評価を行う。。

課題に対するフィードバック

各講義ごとに課題(ワークシート)を与え、そのレポートを評価、添削して学生に返却する。

参考文献

1.のほほん　解剖生理学　(永岡書店)
2.かんごろ　(メディックメディア出版)
3.国試対策　「はじめてドリル」(メヂカルフレンド社:2017年臨時増刊号)

講義時使用テキスト

ナーシンググラフィカ　人体と構造と機能① 解剖生理学(MCメディカ出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

覚えなければならない医学用語がたくさんあるので、あらかじめ教科書の講義該当部分をしっかり読み、それらに慣れること、また、繰り返し接することが大事である。そのため各自ノートを用意し、毎回の講義終了後に語句や要点をまとめる作業を行うこと。また、ミニテストは覚えておくべき重要な点が網羅されているので、間違えた部分をやり直して復習に大いに活用して欲しい。

実務との関連

高橋正知:大学病院勤務の実務経験を活かし、人体のしくみについての基本的な知識と、血液系、循環器系、呼吸器系、消化器および腎・泌尿器系の解剖と生理について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 解剖生理学　定義、解剖学的用語、恒常性、フィードバック機構	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと教科書を用い、講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
2	2. 細胞と組織　. 皮膚と膜、体熱産生と体温	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと教科書を用い、講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
3	3.血液系①　血液の発生、機能と成分	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと教科書を用い、講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
4	4. 血液系②　血液型と輸血	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
5	5. 循環器系①　心臓の構造と機能	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
6	6. 循環器系②　血液と循環、胎児循環	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
7	7. 循環器系③　心臓・血管の成長と老化、リンパ系	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
8	8. 呼吸器系①　構造と機能	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
9	9.呼吸器系②　呼吸のプロセス	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
10	10. 呼吸器系③　呼吸の調節	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと教科書を用い、講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
11	11. 消化器系①　構造と機能	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
12	12. 消化器系②　食欲・咀嚼・嚥下	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
13	13. 消化器系③　消化・吸収・排泄、成長と老化	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと教科書を用い、講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
14	14. 腎臓系①　腎臓・尿路系の構造と機能	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
15	15. 腎臓系②　尿の産生と組成、排尿の生理、腎機能低下	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。 ②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。

講義名	4020007000	解剖生理学Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

1. 内分泌系の構造と機能を理解し、ホルモンの作用を説明できる。
2. 生殖器系の構造と機能を理解し、子孫を残す仕組みを説明できる。
3. 骨格系と筋系の構造と機能を理解し、体を動かす仕組みを説明できる。
4. 神経系の構造と機能を理解し、情報の収集、判断および伝達の仕組みを説明できる。
5. 感覚系の構造と機能を理解し、外部の情報を取り入れる仕組みを説明できる。
6. 免疫系の機能を理解し、異物を認識、記憶して排除する仕組みを説明できる。

授業概要(教育目的)

内分泌系、生殖器系、骨格系、筋系、感覚器系および免疫系の解剖と生理について、臨床場面での疾患を通して教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

講義ごとにミニテストを行い、学期末に実施する客観試験(筆記)と併せて総括的評価を行う。

課題に対するフィードバック

各講義ごとに課題(ワークシート)を与え、そのレポートを評価、添削して学生に返却する。

講義時使用テキスト

【講義時使用テキスト】
ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能①　(MCメディカ出版)

参考文献

【参考文献】
1. のほほん　解剖生理　(永岡書店)
2. かんごろ　(メディックメディア出版)ド出版)
3. 国試対策　はじめてドリル　(メヂカルフレンド社。2017年11月号臨時増刊)

資格との関連

学生へのメッセージ

覚えなければならない医学用語がたくさんあるので、あらかじめ教科書の講義該当部分を読み、それらに慣れること、また、繰り返し接することが大事である。そのため各自ノートを用意し、毎回の講義終了後に語句や要点をまとめる作業を行うこと。また、ミニテストは覚えておくべき重要な点が網羅されているので、間違えた部分をやり直して復習に大いに活用して欲しい。

実務との関連

高橋正知担当分:大学病院勤務の実務経験を活かし、人体のしくみについての基本的な知識と、血液系、循環器系、消化器系および呼吸器系の解剖と生理について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	内分泌系①　内分泌とホルモン	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
2	内分泌系②　脳・甲状腺・副甲状腺・膵臓・副腎・性腺	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
3	内分泌系③　消化管・腎臓・胸腺・心臓からのホルモン	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
4	生殖器系　女性生殖器、男性生殖器	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
5	骨格系①　骨の働き、頭蓋・体幹の骨格、四肢の骨格	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
6	骨格系②　関節の構造と種類、骨格系の成長と老化	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
7	筋系　筋の種類、機能、骨格筋の解剖生理、成長と老化	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
8	神経系①　神経の分類、神経の構造と機能	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
9	神経系②　中枢神経	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
10	神経系③　末梢神経系、生体とリズム	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
11	感覚系①　感覚情報と大脳皮質、視覚、聴覚と平衡覚、嗅覚、味覚	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
12	感覚系②　体性感覚、内臓感覚、成長と老化	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
13	免疫系①　免疫系のしくみ、自然免疫と獲得免疫	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
14	免疫系②　免疫系と感染症、アレルギーと自己免疫疾患	講義内容に一致する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。
15	演習:ケーススタディ(各臓器に関連する疾患)	講義内容に関連する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	①ハンドアウトと講義の要点をノートにまとめる。②よく理解できなかった部分をノートに記入し、教科書を読み返しておく。

講義名	4020008000 病態学Ⅰ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

疾病による身体変化や病因、診断・治療の概略について説明できることと、呼吸器および循環器疾患について以下の3点を到達目標とする。
1. 各系統別疾患の医療の動向を説明できる。
2. 主な疾患の基礎的な事項について説明できる。
3. 呼吸器および循環器疾患での看護実践に必要な患者の身体的特徴を明確にできる。

授業概要(教育目的)

疾病の原因、変化の過程、転帰についての知識を習得することで、医学的根拠に基づいた看護に従事できる能力を身につけることを目的とする。
病態学Ⅰでは、総論として疾病による身体変化や質病の原因、診断・治療の概略を教示し、さらに呼吸器疾患、循環器疾患の特徴や成り立ち、および症状・診断・治療・予後について教授するとともに、演習として呼吸機能検査の異常、心電図の異常からみた症例検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

課題(ワークシート)について添削し、次週の講義時に学生に返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 系統看護学講座　基礎分野　病態生理学　疾病のなりたちと回復の促進②(医学書院)
2. ナーシンググラフィカ　疾患と看護1　呼吸器(MCメディカ出版)
3. ナーシンググラフィカ　疾患と看護2　循環器(MCメディカ出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

「看護師国家試験出題基準」に準じたテキストを使用し、解剖生理学などすでに学んだ事項と並行して理解することで統合的な知識を習得する。高橋担当分の講義では、知識を確認し理解を深めることを目的に毎回ミニテストを行い、復習のための課題(ワークシート)を次週までの講義の前日までに提出してもらいます。

実務との関連

遠藤守人の担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、疾病の原因や疾病による身体の変化などについて教授する。
高橋正知の担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、疾病の症候、診断、検査および予防について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	総論:疾病の原因	疾病の原因に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
2	総論:疾病による身体の変化	疾病による身体の変化に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
3	総論:疾病の症候	疾病の症候に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
4	総論:疾病の検査と診断	疾病の検査と診断に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
5	総論:疾病の検査と予防	疾病の検査と予防に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
6	呼吸器:呼吸器疾患の症状と病態生理	呼吸器疾患の症状と病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
7	呼吸器:呼吸器疾患の検査と治療・処置	呼吸器疾患の検査と治療・処置に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
8	呼吸器:呼吸器疾患の理解①	種々の呼吸器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
9	呼吸器:呼吸器疾患の理解②	種々の呼吸器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
10	循環器:循環器疾患の症状と病態生理	循環器疾患の症状と病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
11	循環器:循環器疾患の検査と治療・処置	循環器疾患の検査と治療・処置に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
12	循環器:循環器疾患の理解①	種々の循環器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
13	循環器:循環器疾患の理解②	種々の循環器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
14	(演習)呼吸機能測定～肺機能の異常と呼吸器疾患	呼吸機能検査に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。
15	(演習)心電図測定～心電図の異常と心疾患	心電図検査に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。

講義名	4020009000 病態学Ⅱ						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

消化器(消化管、肝・胆・膵)疾患、血液・造血器疾患およびアレルギー・膠原病疾患について、以下の3点を到達目標とする。
1. 各系統別疾患の医療の動向を説明できる。
2. 主な疾患の基礎的な事項について説明できる。
3. 血液・造血器疾患およびアレルギー・膠原病疾患での看護実践に必要な患者の身体的特徴を明確にできる。

授業概要(教育目的)

疾病の原因、変化の過程、転帰についての知識を習得することで、医学的根拠に基づいた看護に従事できる能力を身につけることを目的とする。病態学Ⅱでは消化器(消化管、肝・胆・膵)疾患、血液・造血器疾患、アレルギー・膠原病疾患の特徴や成り立ち、および症状・診断・治療・予後について教授するとともに、演習として貧血から考える症例、発熱から考える症例について検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

課題(ワークシート)を添削し、次週の講義時に返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. ナーシンググラフィカ　疾患と看護3　消化器(MCメディカ出版)
2. ナーシンググラフィカ　疾患と看護4　血液/アレルギー・膠原病/感染症(MCメディカ出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

「看護師国家試験出題基準」に準じたテキストを使用しており、解剖生理学などのすでに学んだ分野と並行して理解することで統合的な知識を習得する。高橋担当分の講義では、知識を確認し理解を深めることを目的に毎回ミニテストを行い、復習のための課題(ワークシート)を次週までの講義の前日までに提出してもらいます。

実務との関連

高橋正知担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、血液疾患の総論と各論について教授する。
遠藤守人担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、体温測定、発熱の病態および不明熱について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	消化器:消化管疾患の病態生理	消化管疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
2	消化器:消化管疾患の症状・徴候	消化管疾患の症状・徴候に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
3	消化器:消化管疾患の理解	消化管疾患の理解に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
4	消化器:肝・胆・膵疾患の病態生理	肝・胆・膵疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
5	消化器:肝・胆・膵疾患の理解①	肝・胆・膵疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
6	消化器:肝・胆・膵疾患の理解②	肝・胆・膵疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
7	血液・造血器:血液・造血器疾患の症候・病態生理	血液・造血器疾患の症候・病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
8	血液・造血器:血液・造血器疾患の検査・診断	血液・造血器疾患の検査・診断に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
9	血液・造血器:血液・造血器疾患の理解①	血液・造血器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
10	血液・造血器:血液・造血器疾患の理解②	血液・造血器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
11	アレルギー・膠原病:免疫のしくみとアレルギー	免疫のしくみとアレルギーに関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
12	アレルギー・膠原病:アレルギー疾患の理解	アレルギー疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
13	(演習)症例検討	提示された血液疾患および消化器疾患の症例についての問題点を整理しておく。	提示された症例の病態に関する要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
14	(演習)ヘモグロビン測定～貧血とその病態	ヘモグロビン測定に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。
15	(演習)体温測定～発熱の病態と不明熱	体温測定に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。

講義名	4020010000 病態学Ⅲ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	高橋　正知		

学習目標(到達目標)

運動器疾患、脳・神経疾患および代謝・内分泌疾患について、以下の3点を到達目標とする。
1. 各系統別疾患の医療の動向を説明できる。
2. 主な疾患の基礎的な事項について説明できる。
3. 運動器疾患、脳・神経疾患および代謝・内分泌疾患での看護実践に必要な患者の身体的特徴を明確に
　できる。

授業概要(教育目的)

疾病の原因、変化の過程、転帰についての知識を習得することで、医学的根拠に基づいた看護に 従事できる能力を身につけることを目的とする。
病態学Ⅲでは運動器疾患、脳・神経疾患、内分泌・代謝疾患の特徴や成り立ち、および症状・診断・治療・予後について教授するとともに、演習として、血圧測定から血圧異常と脳疾患について、体組成の測定から骨量の異常や肥満の症例について考え検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

課題を添削し、次週の講義時に返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. ナーシンググラフィカ　疾患と看護8　腎/泌尿器/内分泌・代謝(MCメディカ出版))
2. ナーシンググラフィカ　疾患と看護5　脳・神経(MCメディカ出版))
3. ナーシンググラフィカ　疾患と看護7　運動器(MCメディカ出版))

資格との関連

学生へのメッセージ

「看護師国家試験出題基準」に準じたテキストを使用しており、解剖生理学などすでに学んだ分野と並行して理解することで統合的な知識を習得する。高橋担当分の講義では、知識を確認し理解を深めることを目的に毎回ミニテストを行い、復習のための課題(ワークシート)を次週までの講義の前日までに提出してもらいます。

実務との関連

藤井一晃担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、整形外科疾患の総論と各論について教授する。
遠藤守人担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、代謝疾患(糖尿病)と血圧測定(演習)について教授する。
高橋正知担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、内分泌疾患、肥満の病態および水分の異常などについて教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	運動器:運動器疾患の症状と病態生理	運動器疾患の症状と病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
2	運動器:運動器疾患の検査と治療・処置	運動器疾患の検査と治療・処置に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
3	運動器:運動器疾患の理解①	運動器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
4	運動器:運動器疾患の理解②	運動器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
5	運動器:運動器疾患の理解③	運動器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
6	脳・神経:脳・神経疾患の症状と病態生理	脳・神経疾患の症状と病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
7	脳・神経:脳・神経疾患の検査・診断と治療・処置	脳・神経疾患の検査・診断と治療・処置に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
8	脳・神経:脳・神経疾患の理解①	脳・神経疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
9	脳・神経:脳・神経疾患の理解②	脳・神経疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
10	内分泌・代謝:代謝性疾患の病態生理	代謝性疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
11	内分泌・代謝:代謝性疾患の理解	代謝性疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
12	内分泌・代謝:内分泌疾患の病態生理	内分泌疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
13	内分泌・代謝:内分泌疾患の理解	内分泌疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
14	(演習)血圧測定～血圧の異常とその予防	血圧測定に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。
15	(演習)体組成測定～肥満の病態、水分の異常と骨量の異常	体組成測定に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。

講義名	4020011000 病態学Ⅳ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

腎・泌尿器疾患、感覚器系疾患(皮膚・眼・耳鼻咽喉)、精神疾患、歯・口腔疾患について、以下の3点を到達目標とする。
1. 各系統別疾患の医療の動向を説明できる。
2. 主な疾患の基礎的な事項について説明できる。
3. 腎・泌尿器疾患、感覚器系疾患(皮膚・眼・耳鼻咽喉)、精神疾患、歯・口腔疾患での看護実践に
　必要な患者の身体的特徴を明確にできる。

授業概要(教育目的)

疾病の原因、変化の過程および転帰についての知識を習得することで、医学的根拠に基づいた看護を行う能力を身につけることを目的とする。
病態学Ⅳでは腎・泌尿器疾患、感覚器系疾患(皮膚・眼・耳鼻咽喉)、精神疾患、歯・口腔疾患の特徴や成り立ち、および症状・診断・治療・予後について教授するとともに、演習として尿検査の異常と皮膚症状の異常についての症例検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

課題を添削し、次週の講義時に返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. ナーシンググラフィカ　疾患と看護8　腎/泌尿器/内分泌・代謝
(MCメディカ出版)
2. ナーシンググラフィカ　疾患と看護6　眼/耳鼻咽喉/歯科・口腔/皮膚
(MCメディカ出版)

資格との関連

学生へのメッセージ

「看護師国家試験出題基準」に準じたテキストを使用しており、解剖生理学などすでに学んだ分野と並行して理解することで統合的な知識を習得する。高橋担当分の講義では、知識を確認し理解を深めることを目的に毎回ミニテストを行い、復習のための課題(ワークシート)を次週までの講義の前日までに提出してもらいます。

実務との関連

遠藤守人担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、腎疾患(総論・各論)について教授する。
山内崇生担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、泌尿器科疾患について教授する。
高橋正知担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、皮膚疾患と眼疾患について教授する。
遠藤守人担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、皮膚疾患の各論について教授する。
深澤隆担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、精神疾患について教授する。
田名部茂担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、精神疾患について教授する。
吉田洋一担当分として一般病院勤務の実務経験を活かし、口腔疾患

授業計画表

	内容	予習	復習
1	腎・泌尿器:腎・泌尿器疾患の症状と病態生理	腎・泌尿器疾患の症状と病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
2	腎・泌尿器:腎・泌尿器疾患の検査	腎・泌尿器疾患の検査に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
3	腎・泌尿器:腎・泌尿器疾患の治療・処置	腎・泌尿器疾患の治療・処置に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
4	腎・泌尿器:腎疾患の理解	腎疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
5	腎・泌尿器:泌尿器疾患の理解	泌尿器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
6	感覚器:皮膚疾患の病態生理	皮膚疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
7	感覚器:皮膚疾患の理解	皮膚疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
8	感覚器:耳鼻咽喉疾患の理解	耳鼻咽喉疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
9	感覚器:眼疾患の理解	眼疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
10	精神:精神機能の統合障害	精神機能の統合障害に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
11	精神:発達障害、心的外傷や心理的要因の大きい障害	発達障害、心的外傷や心理的要因の大きい障害に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
12	精神:精神科における治療	精神科における治療に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
13	歯・口腔疾患の理解	口腔疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直して要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
14	(演習)尿試験紙検査～尿の異常と腎疾患	尿試験紙検査に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、レポートにまとめる。
15	(演習)スライド写真による皮膚疾患の症例検討	皮膚疾患のスライド写真に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、レポートにまとめる。

講義名	4020012000	薬理学					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	小池　智彦			

学習目標(到達目標)

1. 薬物治療の目的と薬物療法における看護職の役割について説明できる。
2. 薬物の作用機序、有害作用、薬効に影響する因子等について説明できる。
3. 薬物の管理と新薬開発のプロセスについて説明できる。
4. 薬効分類に従った各薬物について、薬理作用、使用上の注意、安全で有効な使用方法等について説明できる。

授業概要(教育目的)

ヒトは生を受けてから死に至るまで多くの病気の脅威にされされているが、その治療に大きな役割を果たすのが薬である。体内ではそのような機序で薬が作用するのか、異なった薬を使用した場合の相乗効果、副作用や毒性、誤った使用方法などを知り、両刀の刀である薬を正しく安全に有効に使用できるよう、総合的な知識を身に付ける。さらに、新薬がどのようにして研究開発され販売されるのか、新しい薬が生まれるまでの課程を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学(医学書院)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	薬理学総論①(使用目的、看護師の役割、薬理作用の基本形式)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	薬理学総論②(投与経路、吸収・代謝・排泄)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	薬理学総論③(耐性・依存・相互作用)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	薬理学総論④(適量、有益性、有害性)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	薬理学総論⑤(薬の管理、新薬の誕生)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	薬理学各論①(抗感染症)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	薬理学各論②(抗がん薬、免疫治療薬)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	薬理学各論③(補充)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	薬理学各論④(抗アレルギー薬、抗炎症薬)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	薬理学各論⑤(末梢での神経活動に作用する薬物)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	薬理学各論⑥(中枢神経系に作用する薬物)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	薬理学各論⑦(心臓・血管系、呼吸器・消化器系に作用する薬物)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	薬理学各論⑧(物質代謝に作用する薬物)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	薬理学各論⑨(漢方、消毒、輸液・輸血、看護業務の知識①)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	薬理学各論⑩(漢方、消毒、輸液・輸血、看護業務の知識②)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	4020013000	栄養学					
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	熊谷　晶子			

学習目標(到達目標)

1. ヒトが発育・成長して生命を維持し，健康な生命活動を営むための栄養を説明できる。
2. 種々の栄養素の働きとエネルギー代謝を説明できる。
3. 消化吸収された栄養素の体内での代謝を説明できる。

授業概要(教育目的)

生命を営む上で必須である「栄養」の基礎知識を習得し、健康の維持や疾病の治療における栄養(食事)療法の役割と実際について学ぶ。基礎知識を応用し、特に高齢者の低栄養やライフサイクルを通しての生活習慣病を回避するためのマネジメントなど、医療と保健活動において栄養面からのアプローチができるようになることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

・前回の学習内容は小テストで毎回確認する。
・小テストの模範解答を示す。
・学期末試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 三輪一智　他著、系統看護学講座専門基礎分野　生化学　人体の構造と機能[2](医学書院)
2. 小野章史　他著、系統看護学講座専門基礎分野　栄養学　人体の構造と機能[3](医学書院)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	栄養と栄養素	栄養学の栄養と日常使う栄養という言葉の違いを調べる、	栄養学の観点から，栄養と栄養素を整理する。
2	栄養素の消化・吸収	解剖学の消化器を読む。	栄養素ごとの消化・吸収を整理する。
3	エネルギー代謝	健全な生命活動を営むために必要なエネルギー源になる栄養素について、教科書の関連個所を読む。	生体のエネルギー獲得とその変化について教科書の関連個所を読む。
4	糖質の代謝	糖質について教科書の関連個所を読む。	消化・吸収された糖質の代謝を整理する。
5	脂質の代謝	脂質について教科書の関連個所を読む。	消化・吸収された脂質の代謝を整理する。
6	タンパク質の代謝	タンパク質について教科書の関連個所を読む。	消化・吸収されたタンパク質の代謝を整理する。
7	健康と栄養	食生活の変遷と栄養の問題点を整理する。	食を通して生活の質と社会環境の質の向上の大切さを整理する。
8	代謝の異常(代謝性疾患)	食事・運動・飲酒・喫煙などの生活習慣と代謝生疾患の関連について調べる。	病態の改善や疾病の良好なコントロールを計るため、全身の栄養状態を改善する重要性を整理する。

講義名	4020014000	微生物学（看護学科）					
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	井元　紀子			

学習目標(到達目標)

1. 微生物の種類・構造など特性について説明できる。
2. 滅菌、消毒についてそれぞれの手法の違いについて説明できる。
3. 微生物の感染・伝播について理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

人間の生活環境に存在している微生物には、人体に有用な微生物や病気の原因となる病原微生物がある。生物の有用な代謝産物の医学的応用について理解するとともに、病原微生物感染から人体を防御する手段を考える必要がある。そこで、感染防止の手段として滅菌、消毒等の感染から人体を防御する基本的概念やワクチンや抗生剤によって感染拡大から人体を防御するメカニズムを理解する。このように人の生活面における微生物の利害両面にわたる関わりあいを認識し、衛生管理の意識を育成する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

【1】『感染制御の基本がわかる　微生物学・免疫学』羊土社

【2】『系統看護学講座　専門基礎分野　微生物学　疾病の成り立ちと回復の促進4』医学書院

【3】『イラストでわかる　微生物学超入門　病原微生物の感染のしくみ』南山堂

【4】『休み時間の微生物学　第2版』講談社

講義時使用テキスト

『病気がみえる＜vol.6＞ 免疫・膠原病・感染症(Medical Disease：An Illustrated Reference)』メディックメディア

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

看護師として、自身の感染予防対策、医療現場での感染予防・感染者への対応ができるように、感染症を引き起こす微生物のそれぞれの特徴を理解してください。
8回の講義ですので、個々の感染症については触れられませんが、感染症を引き起こす微生物の構造や増殖の仕方など、微生物に関する基礎的な知識を習得していただきます。
教科書は、2021年度から別の出版社のものに変更しました。2020年度まで使用していた教科書よりも、よりわかりやすい文章で、コンパクトにまとめられていますので、予習・復習にも活用してください。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	微生物概論	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
2	感染と感染症 微生物の種類と分類	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
3	微生物の種類と分類(1)細菌の構造・種類・増殖過程(1)	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
4	微生物の種類と分類(1)細菌の構造・種類・増殖過程(2) 微生物の種類と分類(2)ウイルスの構造・種類・増殖過程(1)	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
5	微生物の種類と分類(2)ウイルスの構造・種類・増殖過程(2)	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
6	真菌の構造・種類	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
7	寄生虫の構造・種類	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。
8	感染予防について(滅菌・殺菌の手法)	テキストを読む。	配布したプリント、教科書を読み整理する。

講義名	4020015000 社会福祉論						
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	吉田　守実			

学習目標(到達目標)

1. 学生が社会保障および社会福祉の歴史的変遷について説明できる。
2. 学生が社会保障や社会福祉の制度について説明できる。
3. 学生が他職種との連携の重要性について説明できる。

授業概要(教育目的)

わが国の社会保障と社会福祉制度について歴史的変遷を学び、「人間の尊厳」を守るということについて考える。現在の社会福祉・保障制度によって人々の生活はどのように守られているか、もし生活困窮に陥った時どうしたらよいのか、生活に深く結びついている社会福祉の考え方を法律や制度と関連付けて理解できるように教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

社会福祉(医学書院)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	・社会保障制度・社会保障の機能	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
2	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・社会福祉の組織	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
3	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・現代社会の変化・地域社会の変化	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
4	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・医療保障・保険の制度	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
5	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・所得保障・年金保険制度	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
6	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・公的扶助・高齢者福祉	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
7	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・社会福祉の歴史・社会福祉と実践	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。
8	・前回の授業の振り返り(コメントシートから) ・連携の看護師の役割(グループワーク)	社会福祉に関することを新聞やインターネット等で調べる。	配布資料等を見直し、不明な点があれば調べ直す。

講義名	4020016000	公衆衛生学（看護学科）					
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	千葉　啓子			

学習目標(到達目標)

1．健康の概念やそれに関わる保健の概念を説明できる。
2．疾病の予防や健康増進のための対策について説明できる。
3．わが国における様々な保健活動の実態を説明できる。
4．生活環境の保全の重要性を理解し、環境汚染よって生じる健康への影響を説明できる

授業概要(教育目的)

公衆衛生の意義を認識し、わが国の保健・医療システムの基礎的な理解を目的とする。
公衆衛生学は個人、家族、地域社会さらには国民全体の健康の増進、疾病の予防のための学問体系である。疾病予防のみでなく、感染予防、積極的な健康増進の達成を目標としている。講義では、公衆衛生学の概要を学習する。人口・保健統計などから日本人の健康状態を知り、感染症や生活習慣病などの疾病予防と健康管理について考える。また、自然環境や食環境と健康の関わりについて理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

公衆衛生上の科学的な根拠に基づき、看護ケアの基礎的な実践を可能にする。多くの医療関係職種と連携・協働でき、看護の役割を判断して行動する能力を身につけることができる。

評価方法

定期試験や授業時の小テストにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎回、講義の始めに前回のまとめと小テストの解答・解説を行い、要点や課題を明確にし、理解度を高めるよう努める。

参考文献

厚生の指標・増刊 「国民衛生の動向 2022/2023」財団法人厚生統計協会
「令和4年度厚生労働白書」 厚生労働省 編

講義時使用テキスト

「衛生・公衆衛生学」、山本玲子　編(アイ・ケイコーポレーション)

資格との関連

学生へのメッセージ

インターネットや新聞、テレビ、ラジオ等で配信される健康に関する情報に関心を持つよう心掛けて欲しい。
出席を重視し、全回出席を基本とする。1/3以上欠席した場合、単位未習得となるので注意すること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	公衆衛生学概論(健康と疾病予防の関わり、世界の健康状況)	シラバスで講義の到達目標を理解し、講義計画に目を通しておく	講義内容をノートにまとめ、整理する
2	保健統計からみたわが国の健康状況Ⅰ(人口静態・動態統計)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理する
3	保健統計からみたわが国の健康状況Ⅱ(傷病統計、健康指標)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理する
4	疾病予防と健康管理Ⅰ(健康増進行動、感染症予防)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理する
5	疾病予防と健康管理Ⅱ(生活習慣病予防等)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理する
6	環境と健康Ⅰ(食品・食生活の安全)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理する
7	環境と健康Ⅱ(暮らしや地域の環境問題)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理する
8	環境と健康Ⅲ(地球規模の環境問題)	教科書の該当部分を読み、授業内容を理解する。講義全体を通しての理解度を確認しておく	当日分及び全回の講義内容を整理しする

講義名	4020017000 疫学						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	木村 緑			

学習目標(到達目標)

1. 疫学の概念および疫学データが示す要素について述べることができる。
2. 集団の健康状態の把握と意味、疫学的研究方法について述べることができる。
3. 感染症及び主な疾患の疫学について述べることができる。

授業概要(教育目的)

公衆衛生の基盤となり、得られた知見を現在あるいは将来の国民の健康に寄与するために、明確に規定された人間集団の中で出現する健康関連のいろいろな事象の頻度と分布及びそれらに影響を与える要因を明らかにして、健康関連の諸問題に対する有効な対策を検討するための原理と方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

試験及び課題レポートによる評価

課題に対するフィードバック

課題レポートに対しては、評価したのち、添削し、学生に返却する。

参考文献

テキスト以外に必要な資料は、授業時配布する。

講義時使用テキスト

標準保健師ロ座別巻2 疫学・保健統計学 医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	疫学の基本概念	予め、シラバスで講義の到達目標を理解し、講義計画を調べておく。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
2	疾病の原因、疫学的な因果関係の考え方	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
3	疾病頻度の指標	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
4	曝露の効果を示す指標	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
5	疫学的研究方法	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
6	疫学研究の様々なデザイン:グループワーク(記述疫学研究についてまとめる)	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
7	疫学研究の様々なデザイン:グループワーク(分析疫学研究についてまとめる)	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
8	疫学研究の様々なデザイン:グループワーク(介入研究についてまとめる)	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
9	疫学研究の様々なデザイン:発表(記述疫学研究の方法・分析・限界について理解を深める)	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
10	疫学研究の様々なデザイン:発表(分析疫学研究の方法・分析・限界について理解を深める)	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
11	疫学研究の様々なデザイン:発表(介入研究の方法・分析・限界について理解を深める	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
12	疫学研究の質	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
13	岩木健康プロジェクトにおける疫学研究の実際	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
14	疫学研究から得られた知見	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。
15	疫学的見地からの予防	予め、配布されたプリント内容を教科書で調べ、次週の講義内容を理解する。	講義内容をノートにまとめ、整理しておく。

講義名	4020018000	保健統計学Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

1. 統計学の考え方、および推定・検定の考え方について説明できる。
2. データの度数分布、代表値、ばらつきの指標の計算方法について説明できる。
3. 区間推定、適切な検定の方法を選択し、検定の手順について説明できる。
4. 複数の指標間の関連を説明することができる。

授業概要(教育目的)

統計学は、何らかの集団の特徴を数量化したもので把握し活用する方法論ではあるが、その特徴が健康(保健)の分野に関連したデータを用いて、それを分析しようというのが保健統計学の範囲である。
本講義では、保健統計学の考え方および推定・検定の考え方について説明する。そしてデータの度数分布、代表値、ばらつきの指標の計算方法、区間の推定、適切な検定の選択、検定の手順などを理解し、それを実際の保健の分野において活用する知識を習得することを最終目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験による評価

課題に対するフィードバック

課題については採点の上、各自返却する。

参考文献

P.G.ホーエル著，浅井晃・村上正康共訳『初等統計学(原書第4版)』，培風館.
スネデガー・コクラン著，畑村・奥野・津村訳『統計的方法(原書第6版)』，岩波書店.

講義時使用テキスト

使用せず。参考資料を用意し、それに基づいて講義する。
但し、主要な内容については、標準保健師講座別巻2『疫学・保健統計学』，医学書院の第8章の構成に基づいている。

資格との関連

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。
授業には電卓(可能ならば関数電卓)を用意しておくこと。
高校数学Ⅰのデータの分析の範囲について、受講前に各自で復習しておくこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保健統計学の考え方及び意義 統計学＝記述統計学＋推測統計学 ヒストグラムの見方(尖度、歪度、正規分布) 代表値(平均値、モード、メディアン) 分散と標準偏差(平均からのバラつき)	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
2	相関係数 散布図 単回帰(最小二乗法)と回帰線 相関係数と決定係数	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
3	推測統計学の考え方 母集団と標本 確率分布	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
4	データの標準正規分布への基準化 標準誤差 区間推定と信頼区間(90%，95%，99%)と係数	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
5	仮説・検定 自由度の考え方 帰無仮説と対立仮説 標本平均、標本分散、標本分散(不偏分散) 仮説の支持と棄却の意味(判断基準)	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
6	t検定の考え方 標本数が少ない時のデータ分析 対応データの分析	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
7	カテゴリーデータの分析 クロス集計表(分割表) χ2乗独立性の検定とその意味	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。
8	多変量解析の概要 計算機としての統計ソフト(パッケージソフト) 保健統計の分析におけるデータの取扱の留意点 個人情報の取扱 データの特性とバラつき・個体差(個人差)	予め配布・指示した授業資料等の該当箇所をよく読んでおく。	授業のノート・資料を整理する。 練習問題に取り組む。

講義名	4020019000	保健統計学Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田村　正文			

学習目標(到達目標)

1. 統計学的分析や検定の結果を説明できる。
2.「保健統計学Ⅰ」や「疫学」で学習した内容を、演習データを用いて確認し説明できる。
3. 保健師国家試験の統計学に関する設問を独力で解答できる。

授業概要(教育目的)

本授業は、「保健統計学Ⅰ」や「疫学」で学んだ統計学に関する基本的な考え方、保健統計の進め方の手順に従って、保健福祉の現場で用いることが多い統計学的分析や検定結果を正しく解釈する方法について教示する。また、このような一連の手順を習得するために、問題演習等を取り入れ分析・検定の方法を習得し、自ら分析や統計的計算、結果の解釈ができるようになることが最終的な授業の目的である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

履修者が10名未満の場合には、演習課題レポートによる評価。
履修者が10名以上の場合には、定期試験による評価。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

保健統計学や疫学は、我々の社会的な問題に直結している。知識の習得として、以下の文献を参考文献として挙げる。
(1)T.マルサス著・永井義雄訳『人口論』, 中央公論新社(中公文庫)
(2)ジュルケーム著・宮島喬訳『自殺論』, 中央公論新社(中公文庫)
(3)丸山健夫著『ナイチンゲールは統計学者だった！統計の人物と歴史の物語』, 日科技連
(4)河野稠果著『人口学への招待』, 中央公論新社(中公新書)

講義時使用テキスト

1. 使用しない。配布資料に基づいて授業を進める。
開講時に指示するが、『保健統計学Ⅰ』で使用したテキストや配布資料、数多く出版されている『統計学』の本から各自、使いやすいと思われるものを用意しておくことが望まれる。

資格との関連

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の選択科目となっている。
授業を受ける際には、電卓(できれば関数電卓)を持参すること。
疫学や保健統計学で扱われる、様々な事例などに興味関心を有しておくこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 保健統計学の基礎的考え方・保健統計の進め方 (保健統計学Ⅰの主な箇所の復習と確認)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料とノートを読み直す。
2	2. 正規分布の分布形の特徴 (正規分布図の図形の特徴と、計算上の特徴)	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。
3	3. パラメトリック検定① (標本検定：母集団の母平均・標準偏差等のデータについて何が既知で、何が未知なのか、それによってどのような検定方法を用いるべきなのか。)	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。
4	4. パラメトリック検定② (t検定とt分布，対応が無い場合と対応が有る場合のt検定と結果の見方)	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。
5	5. パラメトリック検定③ (χ2乗検定：一般的なχ2乗検定、適合度の検定、独立性の検定)	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。
6	6. ノンパラメトリック検定 (マン−ウィットニーのU検定、多変量解析)	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。
7	7. 問題の演習①	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。
8	8. 問題の演習②	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業内容を整理しておく。	配布資料とノートを読み直す。

講義名	4020020000	保健医療福祉行政論Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	藤本　幸男			

学習目標(到達目標)

1　保健医療福祉行政・財政の理念としくみを理解し、説明できる。
2　社会情勢の変化と保健医療福祉行政の考え方の変遷について理解し、説明できる。
3　保健医療福祉行政の分野と制度について理解し、説明できる。
4　保健医療福祉の計画と評価について理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

保健医療従事者として地域保健を実践する上で不可欠な知識として、保健医療福祉の制度や組織、内容、またその変遷について説明を行う。
また、保健福祉計画の策定から評価までのプロセスと策定方法を説明するとともに、実際の計画策定事例について検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

期末試験による。

課題に対するフィードバック

課題レポートは内容を確認して返却する。
理解が十分でない事項については、再学習すること。

参考文献

フランク・M・スノーデン「疫病の世界史(上下)」明石書店(桃井、塩原共訳　2021)
その他、講義中に必要に応じて紹介する。

講義時使用テキスト

標準保健師講座別巻1　保健医療福祉行政論　医学書院

資格との関連

保健師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。
相互授業を目指しているので、質問はいつでも受け付ける。他の学生に迷惑となるので、私語は厳に慎むこと。事前に教科書を読んでから受講すること。

実務との関連

保健師として活動するために必要不可欠な、保健医療福祉行政の仕組みや制度の変遷とその内容及び関係行政計画について講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1章　保健医療福祉行政の基本	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
2	2章　保健医療福祉制度の変遷	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
3	3章　保健医療福祉行政・財政の理念としくみ	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
4	4章　地域保健行政と保健師活動	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
5	5章　社会保障制度と政策　①社会保障制度の理念としくみ　②医療制度と政策	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
6	5章　社会保障制度と政策　③介護保険制度　④社会保障・社会福祉の制度	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
7	6章　保健医療福祉の計画と評価　①地方公共団体の保健医療福祉計画	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。
8	6章　保健医療福祉の計画と評価　②保健計画の策定プロセス　③保健計画の推進と評価	教科書の該当部分を事前に読んでから出席すること。	教科書の該当部分を読み返すこと。

講義名	4020021000	保健医療福祉行政論Ⅱ					
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	末廣　敏昭			

学習目標(到達目標)

1. 法の概念、厚生行政を支える衛生法の基本的考え方を説明できる。
2. 衛生法の分類と主要な法規を挙げることができる。
3. 看護業務を支える法規について概略の説明ができる。

授業概要(教育目的)

保健医療従事者として必要なわが国の保健医療福祉制度の概要と制度を支える法規について教示する。法とは何か、法の社会性・規範性といった基本的な事項から、高度先進医療や医療事故の動向とその対応、法的側面からの看護倫理の課題等について教示する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験による評価

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

必要な場合、授業時紹介する。

講義時使用テキスト

系統看護学講座専門基礎分野　看護関係法令　医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	法の概念と厚生行政のしくみ	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	医事法:看護法・医師法・医療法・医療関係資格法　等	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	保健衛生法:共通保健法・分野別保健法・その他	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	薬務法・環境衛生法	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	社会保険法・福祉法	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	労働法・環境法	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	高度先進医療および医療事故の動向と法的対応	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	看護の倫理的課題と法律	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

印刷日：2023年09月26日

講義名	4020081000	保健医療福祉行政論Ⅲ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4年
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

保健医療従事者として保健師に求められる保健政策の施策化能力について、具体的事例を用いて実践的に教示する。保健医療福祉行政の体系ならびに法的基盤および財政の実際から、円滑な公衆衛生看護活動の実践方法を学び、保健医療福祉サービスの評価を通し、調整していくための基礎的な能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働する中で求められる看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020022000	看護学概論					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田中　克枝			

学習目標(到達目標)

1.看護の歴史的変遷、看護制度、看護活動の場について概要を説明できる。
2.看護学の基盤となる「人間」「健康」「環境」「看護」の4つの基本的概念について説明できる。
3.主な看護理論家の理論の特徴を説明できる。
4.看護倫理および看護者の責務について概要を説明できる。
5.自分が目指す看護について説明することができる。

授業概要(教育目的)

看護を学ぶ第一歩として、看護の基本概念である「人間」「健康」「環境」「看護」の4概念と、その関係を学ぶ。また、看護の歴史的な変遷や社会における看護の役割や機能についても理解し、自らの看護観を構築していくための手がかりとするとともに、看護の専門職としての自律と責任を理解し、今後の学びの基礎づくりをする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護を学ぶベースとなる看護学概論であり、必修科目です。
科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

課題レポート(40%)と試験(60%)による総合評価

課題に対するフィードバック

・課題は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時に参考文献を紹介する

講義時使用テキスト

系統看護学講座　基礎看護学〔1〕看護学概論、医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

「看護」を学ぶ者として、まずは人間・健康・環境に関心をもち、先人に学びながら看護観を養う基礎としましょう。

実務との関連

臨床経験・看護教育経験を生かし、講義・演習を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	看護とはなにか、看護への導入	シラバスを読んでくる	教科書を読みなおす
2	看護の変遷① ナイチンゲール、ヘンダーソン	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
3	看護の変遷② 看護理論家の看護の定義、現代の動向	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
4	看護における基本的概念「人間」「健康」	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
5	看護における基本的概念「環境」「看護」	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
6	看護の役割と機能	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
7	保健・医療・福祉の連携	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
8	看護の対象の理解	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
9	援助的人間関係	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
10	看護における倫理と法、倫理的ジレンマ	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
11	看護の提供としくみ(制度と政策、医療の質保証)	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
12	専門職としての看護、広がる看護の活動領域	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
13	医療安全・国際看護・災害看護	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
14	事例を通して看護を考える① 看護倫理のジレンマ、グループワーク((GW)	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
15	事例を通して看護を考える② 対象者の尊厳、グループワーク(GW)	自分の看護観について考えてくる	教科書を読みなおす

講義名	4020022001 看護学概論（再履修）						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田中　克枝			

学習目標(到達目標)

1.看護の歴史的変遷、看護制度、看護活動の場について概要を説明できる。
2.看護学の基盤となる「人間」「健康」「環境」「看護」の4つの基本的概念について説明できる。
3.主な看護理論家の理論の特徴を説明できる。
4.看護倫理および看護者の責務について概要を説明できる。
5.自分が目指す看護について説明することができる。

授業概要(教育目的)

看護を学ぶ第一歩として、看護の基本概念である「人間」「健康」「環境」「看護」の4概念と、その関係を学ぶ。また、看護の歴史的な変遷や社会における看護の役割や機能についても理解し、自らの看護観を構築していくための手がかりとするとともに、看護の専門職としての自律と責任を理解し、今後の学びの基礎づくりをする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護を学ぶベースとなる看護学概論であり、必修科目です。
科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

課題レポート(40%)と試験(60%)による総合評価

課題に対するフィードバック

・課題は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時に参考文献を紹介する

講義時使用テキスト

系統看護学講座　基礎看護学〔1〕看護学概論、医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

「看護」を学ぶ者として、まずは人間・健康・環境に関心をもち、先人に学びながら看護観を養う基礎としましょう。

実務との関連

臨床経験・看護教育経験を生かし、講義・演習を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	看護とはなにか、看護への導入	シラバスを読んでくる	教科書を読みなおす
2	看護の変遷① ナイチンゲール、ヘンダーソン	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
3	看護の変遷② 看護理論家の看護の定義、現代の動向	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
4	看護における基本的概念「人間」「健康」	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
5	看護における基本的概念「環境」「看護」	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
6	看護の役割と機能	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
7	保健・医療・福祉の連携	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
8	看護の対象の理解	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
9	援助的人間関係	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
10	看護における倫理と法、倫理的ジレンマ	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
11	看護の提供としくみ(制度と政策、医療の質保証)	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
12	専門職としての看護、広がる看護の活動領域	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
13	医療安全・国際看護・災害看護	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
14	事例を通して看護を考える① 看護倫理のジレンマ、グループワーク((GW)	教科書の関連個所を読んでくる	教科書を読みなおす
15	事例を通して看護を考える② 対象者の尊厳、グループワーク(GW)	自分の看護観について考えてくる	教科書を読みなおす

講義名	4020023000 日常生活援助論　Aクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保　宣子		

学習目標(到達目標)

1. 患者へ提供する看護技術の基本的な考え方を説明できる。
2. 看護行為に共通する援助技術の基本を身につける。
3. 健康的な日常生活行動の促進する援助技術の基本を身につける。
4. 生命活動を支える援助技術の基本を身につける。

授業概要(教育目的)

人間の生活を看護の視点から捉え、解剖生理学と連動させながら、科学的根拠のある知識に裏づけられ対象にあわせた看護技術を習得する。食事・清潔・排泄を中心とした日常生活援助の看護技術について教授する。また、患者の療養環境、倫理的配慮や安全管理の重要性についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

提出物、筆記試験、実技試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

技術演習に関する課題(予習および、演習後の振り返り)については、講義や演習中にフィードバックを行う。また、課題の返却はフィードバックが終了した後に行う。

参考文献

1. 必要時紹介する。

講義時使用テキスト

1.メディカ出版 ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ
2.インターメディカ 新訂版　写真でわかる基礎看護技術アドバンス
3.インターメディカ 新訂版　写真でわかる臨床看護技術①アドバンス
4.インターメディカ 新訂版　写真でわかる臨床看護技術②アドバンス

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに具体的な事例を交えながら援助技術について理解が深まるように助言する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.【看護技術とは】看護技術オリエンテーション	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
2	2.【共通する看護技術】①快適な環境を作る	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
3	3.【共通する看護技術】②感染を予防する・安全を守る	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
4	4. 演習①手洗い・病床環境の調整	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
5	5. 演習②ベッドメーキング	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
6	6. 演習③ベッドメーキング	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
7	7.【健康的な日常生活行動の促進】①活動・運動	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
8	8.【共通する看護技術】③効率的で安楽な動きを作り出す	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
9	9. 演習④体位と移動	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
10	10.【健康的な日常生活行動の促進】②身体の清潔	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
11	11. 演習⑤手浴・足浴	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
12	12.【健康的な日常生活行動の促進】③休息・睡眠	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
13	13. 演習⑥洗髪	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
14	14. 演習⑦洗髪	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
15	15. 演習⑧清拭・寝衣交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
16	16. 演習⑨清拭・寝衣交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
17	17.【生命活動を支える】①バイタルサインの測定	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
18	18. ベッドメーキング実技試験	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
19	19.【生命活動を支える】②体温調節　③安楽の確保	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
20	20. 演習⑩体温・呼吸・脈拍・血圧測定	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
21	21.【健康的な日常生活行動の促進】④排泄	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
22	22. 演習⑪罨法・臥床患者のシーツ交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
23	23. 演習⑫罨法・臥床患者のシーツ交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
24	24.【共通する看護技術】④人間関係を成立・発展させる技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
25	25. 演習⑬排泄の援助(便器・尿器・おむつの装着・陰部洗浄)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
26	26. 演習⑭排泄の援助(便器・尿器・おむつの装着・陰部洗浄)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
27	27. ベッドメーキング実技試験	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
28	28. バイタルサイン測定実技試験	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
29	29.【健康的な日常生活行動の促進】⑤食事・栄養	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
30	30. 演習⑮食事の援助・口腔ケア	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。

講義名	4020023001 日常生活援助論　Bクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保　宣子		

学習目標(到達目標)

1. 患者へ提供する看護技術の基本的な考え方を説明できる。
2. 看護行為に共通する援助技術の基本を身につける。
3. 健康的な日常生活行動の促進する援助技術の基本を身につける。
4. 生命活動を支える援助技術の基本を身につける。

授業概要(教育目的)

人間の生活を看護の視点から捉え、解剖生理学と連動させながら、科学的根拠のある知識に裏づけられ対象にあわせた看護技術を習得する。食事・清潔・排泄を中心とした日常生活援助の看護技術について教授する。また、患者の療養環境、倫理的配慮や安全管理の重要性についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

提出物、筆記試験、実技試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

技術演習に関する課題(予習および、演習後の振り返り)については、講義や演習中にフィードバックを行う。また、課題の返却はフィードバックが終了した後に行う。

参考文献

1. 必要時紹介する。

講義時使用テキスト

1.メディカ出版 ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ
2.インターメディカ 新訂版　写真でわかる基礎看護技術アドバンス
3.インターメディカ 新訂版　写真でわかる臨床看護技術①アドバンス
4.インターメディカ 新訂版　写真でわかる臨床看護技術②アドバンス

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに具体的な事例を交えながら援助技術について理解が深まるように助言する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.【看護技術とは】看護技術オリエンテーション	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
2	2.【共通する看護技術】①快適な環境を作る	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
3	3.【共通する看護技術】②感染を予防する・安全を守る	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
4	4. 演習①手洗い・病床環境の調整	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
5	5. 演習②ベッドメーキング	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
6	6. 演習③ベッドメーキング	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
7	7.【健康的な日常生活行動の促進】①活動・運動	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
8	8.【共通する看護技術】③効率的で安楽な動きを作り出す	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
9	9. 演習④体位と移動	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
10	10.【健康的な日常生活行動の促進】②身体の清潔	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
11	11. 演習⑤手浴・足浴	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
12	12.【健康的な日常生活行動の促進】③休息・睡眠	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
13	13. 演習⑥洗髪	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
14	14. 演習⑦洗髪	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
15	15. 演習⑧清拭・寝衣交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
16	16. 演習⑨清拭・寝衣交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
17	17.【生命活動を支える】①バイタルサインの測定	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
18	18. ベッドメーキング実技試験	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
19	19.【生命活動を支える】②体温調節　③安楽の確保	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
20	20. 演習⑩体温・呼吸・脈拍・血圧測定	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
21	21.【健康的な日常生活行動の促進】④排泄	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
22	22. 演習⑪罨法・臥床患者のシーツ交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
23	23. 演習⑫罨法・臥床患者のシーツ交換	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
24	24.【共通する看護技術】④人間関係を成立・発展させる技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
25	25. 演習⑬排泄の援助(便器・尿器・おむつの装着・陰部洗浄)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
26	26. 演習⑭排泄の援助(便器・尿器・おむつの装着・陰部洗浄)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
27	27. ベッドメーキング実技試験	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
28	28. バイタルサイン測定実技試験	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。演習の内容を整理し、要点をまとめる。
29	29.【健康的な日常生活行動の促進】⑤食事・栄養	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。
30	30. 演習⑮食事の援助・口腔ケア	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキストの該当箇所を読む。授業の内容を整理し、要点をまとめる。

講義名	4020024000	回復促進援助論　Aクラス					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	久保　宣子			

学習目標(到達目標)

1. 生命活動を支える援助技術の基本を身につける。
2. 治療・処置に伴う援助技術の基本を身につける。

授業概要(教育目的)

医療的側面から人間の健康に寄与する目的で、診察・検査・治療などの医療行為が円滑に行えるように支援するための看護技術の基礎を学ぶ。感染予防、創傷管理、与薬、呼吸を楽にする技術を中心とした回復促進の看護技術について、科学的根拠のある知識に裏づけられた技術の実際を学ぶとともに、倫理的配慮や安全管理の重要性についても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

提出物、筆記試験、実技試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

技術演習に関する課題(予習および、演習後の振り返り)については、講義や演習中にフィードバックを行う。また、課題の返却はフィードバックが終了した後に行う。

参考文献

1. 必要時紹介する。

講義時使用テキスト

1. メディカ出版 ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ
2. インターメディカ 新訂版　写真でわかる基礎看護技術アドバンス
3.インターメディカ　新訂版　写真でわかる臨床看護技術①アドバンス
4.インターメディカ　新訂版　写真でわかる臨床看護技術②アドバンス

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに具体的な事例を紹介しながら援助技術の基本を教える。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 感染予防を促進する看護技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、授業の内容を整理し、要点をまとめる。
2	2. 演習:滅菌手袋・無菌操作①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、授業の内容を整理し、要点をまとめる。
3	3. 演習:滅菌手袋・無菌操作②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
4	4. 皮膚・創傷を管理する技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
5	5. 演習:包帯法・ガーゼ交換①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
6	6. 演習:包帯法・ガーゼ交換②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
7	7. 呼吸を楽にする技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
8	8. 演習:吸引・吸入・酸素療法①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
9	9. 演習:吸引・吸入・酸素療法②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
10	10. 演習:吸引・吸入・酸素療法③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
11	11. 与薬を安全かつ正確に行う技術①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
12	12. 与薬を安全かつ正確に行う技術②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
13	13. 演習:浣腸①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
14	14. 演習:浣腸②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
15	15. 演習:皮下注射・筋肉内注射①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
16	16. 演習:皮下注射・筋肉内注射②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
17	17.演習:皮下注射・筋肉内注射③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
18	18.演習:静脈血採血①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
19	19. 演習:静脈血採血②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
20	20. 演習:静脈血採血③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
21	21. 演習:点滴静脈内注射①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
22	22. 演習:点滴静脈内注射②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
23	23. 演習:点滴静脈内注射③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
24	24. 治療・検査を安全に正確に行う技術①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
25	25. 治療・検査を安全に正確に行う技術②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
26	26. 演習:一時的導尿・持続的導尿①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
27	27. 演習:一時的導尿・持続的導尿②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
28	28. 演習:一時的導尿・持続的導尿③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
29	29. 総合演習①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
30	30. 総合演習②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。

講義名	4020024001 回復促進援助論　Bクラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保　宣子		

学習目標(到達目標)

1. 生命活動を支える援助技術の基本を身につける。
2. 治療・処置に伴う援助技術の基本を身につける。

授業概要(教育目的)

医療的側面から人間の健康に寄与する目的で、診察・検査・治療などの医療行為が円滑に行えるように支援するための看護技術の基礎を学ぶ。感染予防、創傷管理、与薬、呼吸を楽にする技術を中心とした回復促進の看護技術について、科学的根拠のある知識に裏づけられた技術の実際を学ぶとともに、倫理的配慮や安全管理の重要性についても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

提出物、筆記試験、実技試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

技術演習に関する課題(予習および、演習後の振り返り)については、講義や演習中にフィードバックを行う。また、課題の返却はフィードバックが終了した後に行う。

参考文献

1. 必要時紹介する。

講義時使用テキスト

1. メディカ出版 ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ
2. インターメディカ 新訂版　写真でわかる基礎看護技術アドバンス
3.インターメディカ　新訂版　写真でわかる臨床看護技術①アドバンス
4.インターメディカ　新訂版　写真でわかる臨床看護技術②アドバンス

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに具体的な事例を紹介しながら援助技術の基本を教える。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 感染予防を促進する看護技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、授業の内容を整理し、要点をまとめる。
2	2. 演習:滅菌手袋・無菌操作①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、授業の内容を整理し、要点をまとめる。
3	3. 演習:滅菌手袋・無菌操作②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
4	4. 皮膚・創傷を管理する技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
5	5. 演習:包帯法・ガーゼ交換①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
6	6. 演習:包帯法・ガーゼ交換②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
7	7. 呼吸を楽にする技術	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
8	8. 演習:吸引・吸入・酸素療法①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
9	9. 演習:吸引・吸入・酸素療法②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
10	10. 演習:吸引・吸入・酸素療法③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
11	11. 与薬を安全かつ正確に行う技術①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
12	12. 与薬を安全かつ正確に行う技術②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
13	13. 演習:浣腸①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
14	14. 演習:浣腸②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
15	15. 演習:皮下注射・筋肉内注射①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
16	16. 演習:皮下注射・筋肉内注射②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
17	17.演習:皮下注射・筋肉内注射③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
18	18.演習:静脈血採血①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
19	19. 演習:静脈血採血②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
20	20. 演習:静脈血採血③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
21	21. 演習:点滴静脈内注射①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
22	22. 演習:点滴静脈内注射②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
23	23. 演習:点滴静脈内注射③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
24	24. 治療・検査を安全に正確に行う技術①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
25	25. 治療・検査を安全に正確に行う技術②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
26	26. 演習:一時的導尿・持続的導尿①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
27	27. 演習:一時的導尿・持続的導尿②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
28	28. 演習:一時的導尿・持続的導尿③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
29	29. 総合演習①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。
30	30. 総合演習②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、演習の内容を整理し、要点をまとめる。

講義名	4020025000 看護過程論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小沢　久美子		

学習目標(到達目標)

看護の実践において必要な質の高い人間的ケアを、効果的にかつ効率よく行うための組織的・系統的な方法を学習する。さらに、事例演習を通して臨地実習における看護展開の基礎を習得する。

授業概要(教育目的)

1. 看護を展開する技術を理解することができる。
2. アセスメントの技術を理解し、看護問題を抽出することができる。
3. 長期目標、短期目標の違いを理解し、具体的な看護計画の立案ができる。
4. 看護計画の実践と評価の方法を理解することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

授業への参加態度、試験、課題提出物から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

事例演習では、事例に基づいて看護過程を一人ひとり展開する。事例演習の毎回の授業でフィードバックを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 実習記録の書き方が分かる看護過程展開ガイド(任和子　編著，照林社)
2. NANDA-Ⅰ　看護診断　定義と分類　2021-2023(日本看護診断学会監訳，医学書院)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに看護展開の基礎について理解が深まるように教育する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 看護を展開する技術 ①看護過程とは何か　②看護過程のプロセス ・理解度の確認(発問)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
2	2. 情報収集 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
3	3. 情報の分析 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
4	4. 全体像 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
5	5. 看護問題の明確化、看護診断 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
6	6. 看護計画立案 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
7	7. 看護の実施、記録 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
8	8. 評価 ・理解度の確認(発問、演習の記録) ・リフレクションシート(授業の振り返り、思ったこと、疑問等)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
9	9. 事例演習①情報収集 ・理解度の確認(発問、看護過程の記録)	配布資料の事例をもとに看護過程の展開を行う	テキスト、配布資料の該当箇所を読む。授業で解説されたことの要点を整理する
10	10. 事例演習②情報収集・分析 ・理解度の確認(発問、看護過程の記録)	配布資料の事例をもとに看護過程の展開を行う	テキスト、配布資料の該当箇所を読む。授業で解説されたことの要点を整理する
11	11. 事例演習③全体像・問題の明確化 ・理解度の確認(発問、看護過程の記録)	配布資料の事例をもとに看護過程の展開を行う	テキスト、配布資料の該当箇所を読む。授業で解説されたことの要点を整理する
12	12. 事例演習④中間発表 ・グループワークおよび全体発表を行い、学びを共有する ・理解度の確認(発表内容)	看護問題抽出までのグループ発表の資料を作成する	授業で解説されたことの要点を整理する
13	13. 事例演習⑤看護計画立案(看護目標・行動計画) ・理解度の確認(発問、看護過程の記録)	配布資料の事例をもとに看護過程の展開を行う	テキスト、配布資料の該当箇所を読む。授業で解説されたことの要点を整理する
14	14. 事例演習⑥実施・評価 ・理解度の確認(発問、看護過程の記録)	配布資料の事例をもとに看護過程の展開を行う	テキスト、配布資料の該当箇所を読む。授業で解説されたことの要点を整理する
15	15. 事例演習⑦まとめ発表 ・グループワークおよび全体発表を行い、学びを共有する ・理解度の確認(発表内容)	一連の看護過程の展開についてのグループ発表の資料を作成する	授業で解説されたことの要点を整理する

講義名	4020079000	コミュニケーション論					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田中　克枝			

学習目標(到達目標)

1. コミュニケーションの基本的な技術を理解できる。
2. コミュニケーションの種類や技法を理解し、人間関係を構築するコミュニケーションについて考えることができる。
3. 看護におけるコミュニケーションについて、効果的なコミュニケーション技術を活用できる。
4. 演習(グループワーク、ロールプレイ)を通して、良好なコミケーションのあり方を考えることができる。

授業概要(教育目的)

情報通信技術の発達に伴い、学生は友人との直接的な関わりも少なくなり、SNS(ソーシャルネットワーク・サービス)を利用していることが多くなっている現状がある。看護職は人間対人間の接する職業であり、効果的なコミュニケーション技術を必要としている。本授業では基本的なコミュニケーション技術の修得、グループディスカッションでのアサーティブな発言の仕方などを学び、演習を通して良好な人間関係を構築できるコミュニケーションのあり方を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

必修科目

評価方法

期末試験(70%)と演習等の活動状況(30%)を総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験結果等を知りたい時は個別で情報開示する。

講義時使用テキスト

篠崎恵美子・藤井徹也:看護コミュニケーション　基礎から学ぶスキルとトレーニング　第2版,医学書院,2022.

参考文献

1)諏訪茂樹編:看護のためのコミュニケーションと人間関係,中央法規,2019.
2)茂野香おる・今井宏美:系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護技術,p21-62,2021.
3)渡部富栄:対人コミュニケーション入門　看護のパワーアップにつながる理論と技術,ライフサポート社,2019.

資格との関連

学生へのメッセージ

毎回、授業の後半は演習を行います。いろんな人に関心をもち、よく観察しましょう。そして、円滑なコミュニケーションができるよう、積極的に講義・演習に参加しましょう。

実務との関連

担当教員は看護師としての実務経験があり、実務経験をもとに教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業のオリエンテーション コミュニケーションとは 演習:自己紹介、他者紹介 コミュニケーションの構成要素、特徴	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
2	コミュニケーションの種類 言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション 演習:表情、ジェスチャーでのコミュニケーション	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
3	コミュニケーションに影響する要因 演習:GW、発表	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
4	看護におけるコミュニケーション① ・患者中心のコミュニケーション ・傾聴、共感、アサーティブ 演習:GW	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
5	看護におけるコミュニケーション② 情報収集、説明の技術:演習	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
6	看護におけるコミュニケーション③ 質問の仕方、リフレクション、自己開示など 演習:GW	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
7	看護学生が遭遇するコミュニケーションの困難状況 演習:ロールプレイ	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
8	リフレクション、振り返り プロセスレコードを使用した演習	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
9	グループ学習のコミュニケーション 演習:グループ討議	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
10	コミュニケーション障害のある人との対応 多職種連携とコミュニケーション① 演習:GW	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
11	看護面接のプロセス　13ステップ ・アサーティブ・コミュニケーション ・セルフ・コントロール 演習	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
12	ロールプレイ/ロールプレイング ・意義、注意点 演習:ロールプレイ	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
13	模擬患者と看護師のコミュニケーション ロールプレイ	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
14	模擬患者の家族と看護師のコミュニケーション ロールプレイ	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む
15	まとめ 良好なコミュニケーションをするためには	テーマに即したテキストの部分を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読む

講義名	4020026000 ヘルスアセスメント						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小沢　久美子		

学習目標(到達目標)

1. 看護におけるヘルスアセスメントの基本的な考え方を説明できる。
2. フィジカルアセスメントの系統的方法とアセスメント技術の基本を説明できる。
3. 成長・発達に伴うアセスメントの方法とアセスメント技術の基本を説明できる。
4. 心理・社会的側面のアセスメントの方法とアセスメント技術の基本を説明できる。

授業概要(教育目的)

看護を科学的、理論的に実践する方法としてのヘルスアセスメントの意義を理解するとともに、ケアの臨床的意志決定の中心的構成要素であるヘルスアセスメントの知識と技術を学ぶという目的のもと、頭の先からつま先までの系統的なフィジカルアセスメントができるようにするため、講義と演習を組み合わせながら授業を展開する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

授業・演習への参加態度、試験、課題提出物から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、具体的な事例を交えて解説する

参考文献

1. 必要時紹介する。

講義時使用テキスト

1. 村上美好　他:写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント, インターメディカ

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに具体的な事例を紹介しながらヘルスアセスメントの実際を解説する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 看護におけるヘルスアセスメントの基本的考え方	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
2	2. フィジカルアセスメントの技法　視診・触診・打診・聴診・その他のアセスメント技法	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
3	3. 系統的フィジカルアセスメント①	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
4	4. 系統的フィジカルアセスメント②	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
5	5. 系統的フィジカルアセスメント③	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
6	6. 成長・発達に伴うアセスメント	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
7	7. 心理・社会的側面のアセスメント	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
8	8. 代表的なアセスメントツールの活用 演習①問診	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直し、論点を整理する
9	9. 演習②身体診察(視診・触診・打診・聴診)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる
10	10. 演習③身体各部の測定	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる
11	11. 演習④フィジカルアセスメント(ブリーフィング)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる
12	12. 演習⑤フィジカルアセスメント(シミュレーショントレーニング①)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる
13	13. 演習⑥フィジカルアセスメント(シミュレーショントレーニング②)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる
14	14. 演習⑦フィジカルアセスメント(シミュレーショントレーニング③)	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる
15	15. フィジカルアセスメント　グループ発表	テキストの該当箇所を読み、論点を把握しておく	テキスト、配布資料を読み直す。演習の内容を整理し、要点をまとめる

講義名	4020027000 看護倫理						
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	木村　緑		

学習目標(到達目標)

1. 医療における倫理の概念、理論的背景について説明できる。
2. 医療現場における看護倫理とジレンマについて説明できる。
3. 看護者としての対象の人権擁護の姿勢と行動を説明できる。

授業概要(教育目的)

・患者の権利とその擁護、人間の尊厳、看護職の責務と倫理原則など看護を実践する上で必要な倫理に関
する基本的な知識と倫理的意思決定の考え方および方法を学ぶ。
・看護実践、看護教育、看護研究、保健医療政策における倫理的問題について、理論を用いて分析し、看
護の価値および看護者としての行動について考察する。
・看護の価値を追求、倫理的課題への対処法の獲得により高い倫理観を醸成する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験とグループワーク活動への参加状況等による総合評価

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

講義時使用テキスト

看護学テキストNICE　看護倫理　良い看護・よい看護師への道しるべ
改定第3版
編集　小西恵美子　南江堂

参考文献

1. 臨床倫理学　第5版　Albert R、jonsen他　新興医学出版社
2. 臨床倫理ベーシックレッスン　石垣靖子　清水哲郎　日本看護協会出版会
3. 看護者のための倫理的合意形成の考え方・進め方　医学書院
他必要な文献・資料は、授業時に紹介する。

資格との関連

看護師国家試験において看護倫理に関わる出題がある

学生へのメッセージ

実務との関連

急性期病院での臨床経験をもとにして、臨床倫理のアプローチを教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	看護倫理についての基礎知識	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
2	看護倫理の用語	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
3	倫理原則に基づくアプローチの理論 倫理原則 ケアの倫理	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
4	倫理原則に基づくアプローチの実践	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
5	倫理的意思決定のステップ	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
6	事例分析(グループワーク):入院している患者に対する看護者の対応に関する事例	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
7	事例分析発表:事例分析の共有と意見交換	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する
8	8. その他の看護活動と倫理	・テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する ・前回の配布資料と自己メモを読み直す	テキストの該当箇所を読む ・参考文献の関連個所を読む ・授業内容についてインターネットで調べる ・前回の授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	4020028000	基礎看護学実習Ⅰ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	小沢　久美子			

学習目標(到達目標)

1. 病院、病棟の構造と機能を知り、療養環境を理解できる。
2. 毎日の看護活動の実際を理解する。
3. 看護の基礎的技術の実際を理解する。
4. 患者とのコミュニケーション、人間関係の成立について理解できる。
5. 看護を学ぶ学生としての学習姿勢を身につける。

授業概要(教育目的)

入院患者の生活状況や療養環境、看護活動の概要、日常生活の援助、人間関係の成立等、看護実践に必要な基礎的能力(知識・技術・態度)を学習し、自己の課題に気づくことができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

・事前課題(予習)、実習記録、事後課題レポートについては、コメントまたは面談によりフィードバックする。また実習中はカンファレンスを行い、実習目標に沿って振り返りを行う。
・成績評価について自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個々にフィードバックを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに、看護師という職業や看護の役割、看護活動の実際について理解が深まるように助言する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習時期:1年次春学期: 1週間(5日間) 実習内容:看護師と共に行動し、入院患者の療養環境、看護活動の一日の流れ、日常生活の援助を見学する 実習場所:八戸赤十字病院、青森労災病院　＊計画の詳細は実習要項参照	実習要項に沿って、日常生活援助論、コミュニケーション論の学習内容を復習する	実習で学んだ内容を整理し、実習のまとめレポートを作成する

講義名	4020029001 基礎看護学実習Ⅱ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	小沢　久美子			

学習目標(到達目標)

1. 入院患者の療養環境および看護の対象を理解する。
2. 患者の特徴や健康障害に配慮したコミュニケーションを見学・実施し、振り返ることができる。
3. 患者の特徴や健康障害に応じた基礎的看護技術を見学・実施し、振り返ることができる。
4. 看護を学ぶ学生としての学習姿勢を身につける。

授業概要(教育目的)

看護実践を通して、看護の対象となる人へのコミュニケーション技術や基礎的看護技術の実際を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

・事前課題(予習)、実習記録、事後課題レポートについては、コメントまたは面談によりフィードバックする。また実習中はカンファレンスを行い、実習目標に沿って振り返りを行う。
・成績評価について自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個々にフィードバックを行う。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに患者の看護について理解が深まるように助言する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習時期:2年次秋学期 実習期間:1週間5日間 実習内容:看護の対象となる人へのコミュニケーション技術や基礎的看護技術の実際を学ぶ。 実習場所:八戸赤十字病院、青森労災病院 計画の詳細は実習要項参照 ・理解度の確認(発問・実習記録、発表内容) ・実習最終日にグループワークおよび全体のまとめ発表会を行い、実習での学びを共有する。	・実習要項に沿って日常生活援助論、回復促進援助論、コミュニケーション論、看護倫理、ヘルスアセスメントの学習内容を復習する。	実習で学んだ内容を整理し、実習後のまとめレポートを作成する

講義名	4020080000	基礎看護学実習Ⅲ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	小沢　久美子			

学習目標(到達目標)

1. 受け持ち患者について、身体的・精神的・社会的側面から捉えることができる。
2. 受け持ち患者の看護について、看護過程を用いて整理することができる。
3. 倫理的配慮のもとに日常生活の援助を実践し、振り返ることができる。
4. 看護を学ぶ学生としての学習姿勢を身につける。

授業概要(教育目的)

医療施設における患者の療養生活を理解し、看護実践を通して、対象に適した看護を実践するための看護過程の展開方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

・事前課題(予習)、実習記録、事後課題レポートについては、コメントまたは面談によりフィードバックする。また実習中はカンファレンスを行い、実習目標に沿って振り返りを行う。
・成績評価について自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個々にフィードバックを行う。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに受け持ち患者の看護について理解が深まるように助言する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習時期:2年次秋学期 実習期間:2週間10日間 実習内容:初めて入院患者を受け持ち、日常生活の援助を実践しながら看護過程を展開する。 実習場所:八戸赤十字病院、青森労災病院 計画の詳細は実習要項参照 ・理解度の確認(発問・実習記録、発表内容) ・実習最終日にグループワークおよび全体のまとめ発表会を行い、実習での学びを共有する。	実習要項に沿って授業内容を復習し、論点を整理する	実習で学んだ内容を整理し、実習後のまとめレポートを作成する

講義名	4020030000 成人看護学概論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	市川　裕美子			

学習目標(到達目標)

1. 成人期の人々の身体的・心理的・社会的な特徴、健康問題の特徴について述べることができる。
2. 成人の健康・保健の動向について説明できる。
3. 成人期にある対象の健康と生活について説明できる。
4. 成人の健康状態に応じた看護の特徴について述べることができる。
5. 成人期の人々の発達課題や健康問題の特徴を踏まえた看護を提供することの意義とその方法を考察することができる。

授業概要(教育目的)

成人期にある人々の特徴についてライフサイクルの視点から理解する。また、成人期の健康特性、生活特性および加齢の進行とそれに基づく生活習慣病の予防など、成人期にある人の健康問題および各健康レベルに応じた看護の特徴と方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

講義内容に対して予習、復習、さらに社会の状況・情勢に照らして新聞などの情報も含めながら、グループで事例検討をしたり、応用問題を解いたりすることを試みる。

参考文献

日常生活の健康に関する諸問題を考え、解決していくためにも、広く情報収集をすることが重要である。そのためにも種々の書籍や新聞などを読む。
テキスト以外の必要な資料は、授業時に紹介する。

講義時使用テキスト

成人看護学　成人看護学概論　改訂第3版　南江堂

資格との関連

看護師国家試験に関連している科目である。

学生へのメッセージ

テキストを丁寧に読み、その内容を理解できるように努めてほしい。

実務との関連

担当教員は30年以上の実務実績を有する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第1章　成人とは 成人の定義　成人期の特徴	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
2	第1章　成人とは　成人期における発達課題 大人になること、大人であること(事例検討・講義)	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
3	第2章　成人を取り巻く今日の状況　家族・仕事をめぐる状況 日常生活スタイルの変化　セクシュアリティ　環境問題　死生観	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
4	第3章　成人期にある人の健康① 健康とは　病気の体験　成人保健と健康動向	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
5	第3章　成人期にある人の健康② 生活習慣と健康　職業と労働と健康	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
6	第3章　成人期にある人の健康③　ストレスと健康　性・更年期と健康 健康維持・促進を目指した生活(事例検討)	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
7	第4章　成人期にある人を看護するための基本的な考え方① 関係を結ぶ　適応を促す(ストレス・危機理論他)	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
8	第4章　成人期にある人を看護するための基本的な考え方② 発達を促進	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
9	第5章　健康状態に応じた看護① ヘルスプロモーション　急性の状態にある人への看護	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
10	第5章　健康状態に応じた看護②　リハビリテーション看護　慢性期看護　人生の最終段階にある人への看護	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
11	第6章　成人看護を充実させる実践的環境 看護者の倫理綱領　専門職種間の連携と協働 医療安全　人材育成 ・意思決定支援(事例検討他)	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
12	治療過程にある患者への看護技術① ①回復促進　②安全	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
13	治療過程にある患者への看護技術② ③日常生活機能の保護・維持と社会復帰　④ボディイメージの変化	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
14	感染看護	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する
15	・療養の場を移行する人々への看護技術　①移行支援とは ②具体的方法 ・新たな治療法、先進医療と看護	次回の授業範囲を必ず読む	重要な要点・箇所を学習目標、課題を参考にしながら確認する

講義名	4020031000 成人看護援助論Ⅰ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本　弘子		

学習目標(到達目標)

1. 急性の健康障害がある対象の病態と治療などをふまえて急性期の特徴を説明できる。
2. 生命危機状態にある対象および家族に必要な基本的看護技術について説明できる。
3. 周手術期看護の考え方、必要な看護について説明できる。

授業概要(教育目的)

急性期にある対象への看護を実践するために必要な病態、治療、急性期看護、周手術期看護の考え方、援助方法を講義。演習を通して教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験及び課題レポートで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

講義時使用テキスト

1. 成人看護学　急性期看護Ⅰ概論・周手術期看護　南江堂
2. ナーシンググラフィカ　疾患と看護(循環器、呼吸器、消化器、腎・泌尿器/内分泌/代謝、血液/アレルギー・膠原病/感染症、運動器、脳・神経、眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚、女性生殖器)
3. 高齢者と成人の周手術期看護1～3　医歯薬出版

参考文献

1. 系統看護学講座「成人看護学2～15」医学書院
2. 系統看護学講座別巻「臨床外科看護総論」医学書院
3. 系統看護学講座別巻「臨床外科看護各論」医学書院

その他、必要時にはその都度紹介する

資格との関連

看護師国家試験

学生へのメッセージ

常に予習復習をする時間を惜しまないでほしい。テキストを丁寧に読むこと。

実務との関連

看護師として実務経験がある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	急性期看護の概念、患者の身体的・心理的特徴	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む
2	急性期の状態にある患者とその家族の特徴と看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
3	周手術期にある患者の身体的・心理的特徴と看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
4	術前看護・術中看護・術後看護の実際	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
5	術後の観察とアセスメント・術後合併症予防のための看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
6	全身麻酔による身体的影響と病態関連図から看護を考える	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
7	脊髄・クモ膜下麻酔による身体的影響と看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
8	術式による影響 (開腹手術　腹腔鏡手術　開胸手術　ドレーン留置の看護)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
9	肺葉切除術の看護 術式による影響　術前アセスメント	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
10	肺葉切除術の看護 術後管理　胸腔ドレナージ管理	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
11	肺葉切除術の看護 事例　看護過程の展開	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
12	肺葉切除術の看護 術後退院指導	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
13	女性生殖器の手術 乳房切除術の看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
14	女性生殖器の手術 子宮摘出術の看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
15	胃切除術の看護 術式による影響　術前アセスメント	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
16	胃切除術の看護 術後管理　早期・後期ダンピング症候群	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
17	胃切除術の看護 事例　看護過程の展開	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
18	胃切除術の看護 術後退院指導	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
19	大腸切除術の看護 人工肛門造設術を受ける患者の看護 術前アセスメント	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
20	大腸切除術の看護 術後管理	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
21	大腸切除術の看護 事例　看護過程の展開	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
22	大腸切除術の看護 術後退院指導	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
23	人工関節術の看護 股関節　膝関節　術前アセスメント	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
24	人工関節術の看護 術後管理	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
25	人工関節術の看護 事例　看護過程の展開	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
26	人工関節術の看護 術後退院指導	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
27	緊急心臓手術時の看護 PCI　PTCA　IABP　CABG	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
28	クモ膜下出血患者の緊急手術時の看護 血管内手術(コイル塞栓術) 開頭手術　(クリッピング術)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
29	周手術期の看護 術前準備　身体的準備　術後ベッドの作成	事前課題	演習内容を整理し、論点を整理する
30	周手術期の看護 術後管理　フィジカルアセスメント	事前課題	演習内容を整理し、論点を整理する

講義名	4020032000 成人看護援助論Ⅱ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川　裕美子		

学習目標(到達目標)

1. 慢性期、終末期にある疾患・治療・療養環境・具体的な看護援助について説明できる。
2. 慢性期をもつ人と家族に対し、セルフマネジメント能力を高めるための具体的方法が説明できる。
3. 慢性期、終末期患者の看護と他職種との連携および社会資源について説明できる。

授業概要(教育目的)

慢性疾患の特徴を理解し、疾患を抱えて生きる人とその家族がセルフケア能力を高めることができるよう援助するための知識・技術および、終末期・緩和ケアに関する基礎的知識と看護援助について、講義・演習・グループディスカッションを通して教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験および課題提出、課題の内容、演習の発表で総合的に評価する

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に対応する。
レポートは、次の授業でフィードバックする。

講義時使用テキスト

1. 成人看護学　慢性期看護　南江堂
2. ナーシンググラフィカ　疾患と看護(循環器、呼吸器、消化器、腎・泌尿器/内分泌/代謝、血液/アレルギー・膠原病/感染症、運動器、脳・神経、眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚、女性生殖器)

参考文献

1系統看護学講座「成人看護学2～15」 医学書院
2. 吉田澄江編「成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得」メディカ出版
3. 安酸史子編「成人看護学③セルフマネジメント」メディカ出版
その他、必要時その都度紹介する。

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

教科書を丁寧に読む、そして既に習得している病態生理学を繰り返し復習して欲しい。
事例検討は今後の実習の基礎となることを意識して取り組んでほしい。

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。医療機関での実務経験は、急性期病棟、慢性期病棟、混合病棟、ICU、手術室、リハビリテーション病院などであり、それらの経験をもとに授業展開に活かしている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	慢性疾患の特徴の理解(慢性期疾患の特徴・治療の特徴)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
2	慢性期看護の理解(看護の役割、家族の理解)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
3	慢性疾患を有する人とその家族への援助(セルフケアマネジメント・患者教育)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
4	がん化学療法看護(ゲストティーチャー:がん化学療法看護認定看護師) がん化学療法看護の実際他	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
5	慢性の脳・神経機能障害のある患者の看護(脳梗塞) 脳梗塞とは 脳梗塞患者の看護	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
6	慢慢性の脳・神経機能障害のある患者の看護、事例検討・アセスメント(脳梗塞) 事例の看護問題を抽出し、グループでまとめて発表する。	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
7	慢性の消化器家の障害を有する患者とその家族の看護(慢性肝炎・肝硬変) 治療:TAE	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
8	慢性の脳・神経機能障害のある患者と家族の看護(パーキンソン病、ALS)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
9	慢性の血液・免疫機能障害のある患者の看護(白血病の治療と看護)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
10	慢性の血液・免疫機能障害のある患者の看護(関節リウマチ・全身性エリテマトーデス)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
11	主な治療法と治療を受ける患者の看護(がん化学療法、放射線療法、内分泌療法)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
12	慢性の代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(脂質異常症、甲状腺機能障害)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
13	エンド・オブ・ライフケア① エンド・オブ・ライフケアとは 緩和ケア	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
14	エンド・オブ・ライフケア② エンド・オブ・ライフケア、緩和ケア 事例検討	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
15	慢性の代謝・内分泌機能障害のある患者の看護(糖尿病、インスリン療法)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
16	慢性の代謝・内分泌機能障害のある患者の看護、事例検討・アセスメント(糖尿病) 糖尿病患者の事例情報からアセスメントして、看護問題を抽出し優先度をつける	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
17	慢性の代謝・内分泌機能障害のある患者の看護、看護計画(糖尿病) 糖尿病患者の看護問題の優先度が最も高いものについて看護計画を立案する	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
18	慢性の代謝・内分泌機能障害のある患者の看護(糖尿病) 糖尿病患者への看護計画と指導	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
19	慢性期疾患を持つ患者のアセスメント①(電子カルテ使用事例検討) 電子カルテの操作ができる 情報を取捨選択して収集できる	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
20	慢性期疾患を持つ患者のアセスメント②(電子カルテ使用事例検討) 事例の看護問題を抽出し、発表できる	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
21	慢性の循環機能障害のある患者の看護(高血圧・虚血性心疾患)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
22	慢性の循環機能障害のある患者の看護(不整脈・ペースメーカー)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
23	慢性の循環機能障害のある患者の看護　事例検討・アセスメント(慢性心不全患者の特徴、アセスメント)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
24	慢性の循環機能障害のある患者の看護、看護計画 慢性心不全事例の看護問題を抽出し、看護の方向性について発表する	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
25	慢性の腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助(慢性腎不全、透析療法)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
26	慢性の呼吸機能障害のある患者の看護(気管支喘息・COPD)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
27	慢性の消化器機能障害のある患者の看護(胃・十二指腸潰瘍・クローン病、ステロイド療法)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
28	感覚器系の障害を有する人とその家族への援助(視覚障害、突発性難聴)	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 参考文献の関連個所を読む
29	慢性期疾患を持つ患者への援助、フィジカルアセスメントの実際① 輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法と使用患者の看護 簡易血糖測定の方法について	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、論点を整理する
30	慢性期疾患を持つ患者への援助、フィジカルアセスメントの実際② 肺炎患者の観察項目、観察の実際 麻痺のある患者で点滴実施中患者の寝衣交換	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、論点を整理する

講義名	4020033000 成人看護学実習Ⅰ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川　裕美子		

学習目標(到達目標)

1.急性期・回復期・周手術期にある成人期の患者の特徴と看護問題を理解できる。
2.急性期・回復期・周手術期にある患者の看護問題に応じた援助を理解し、実践できる。
3.急性期にある患者の検査・治療・処置に応じた援助を理解し、回復に向けた援助を実践できる。
(身体的侵襲を受ける周手術期の看護の方法を含む)
4.回復期にある患者の自立に向けた援助を理解し、実践できる。
5.他職種との連携による社会復帰に向けた援助の方法と実践を理解できる。
6.急性期・回復期・周手術期における看護の役割・機能を理解し、自己の役割を認識し行動できる。

授業概要(教育目的)

1.急性期・回復期・周手術期にある成人を理解し、個別性をふまえた看護の実践に必要な基礎的能力を
習得する。
2.急性期・回復期・周手術期にある患者の看護実践をとおして、看護過程展開能力と看護専門職としての姿勢を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

成績に疑問がある場合は、個別に対応する

参考文献

授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
必要時、適宜紹介する

講義時使用テキスト

授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
必要時、適宜紹介する

資格との関連

看護師国家試験に関連する

学生へのメッセージ

積極的に主体的に学習すること。

実務との関連

担当教員全員が看護師として病院勤務の経験がある。それに基づいて実習指導を行う

授業計画表

	内容	予習	復習
1	【実習時期】3年次後期以降～4年次前期 【実習期間】3週間 【実習場所】八戸赤十字病院、八戸市立市民病院、青森労災病院、十和田市立中央病院、むつ総合病院 【実習方法】原則として学生は一人の患者を受け持ち、健康障害をもった患者の健康レベルに応じた看護援助を実践しながら看護過程の展開を行う。 実習の詳細については「成人看護学実習要項」参照	実習病棟の主な疾患、検査、処置、看護について学習しレポートにまとめること。	毎日実習記録を記載し、内容を整理し振り返ること。また、不明な点は調べておくこと。

講義名	4020033001 急性期・周手術期看護実習 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)			

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

心身ともに危機的な状況や手術などの生体侵襲を受ける状況にある患者、家族について、回復過程に及ぼす影響を理解し、患者、家族が危機的状態に対処しながら回復を促進し、その人らしいクオリティ・オブ・ライフが維持できるための実践能力を養う。また、急性期と回復過程におけるチーム医療での看護師の役割と連携について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020034000 成人看護学実習Ⅱ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川　裕美子		

学習目標(到達目標)

1. 慢性期または、終末期にある成人期の患者の特徴と看護上の問題を理解できる。
2. 慢性期または、終末期にある患者の健康問題、健康レベル、機能障害に応じた援助を理解し、実践できる。
3. 慢性期または、終末期にある患者の検査・治療・処置に応じた援助を理解し、援助を実践できる。
4. 他職種との連携や継続看護、社会復帰に向けた援助の方法と実践を理解できる。
5. 慢性期または、終末期における看護の役割機能を理解し、自己の役割を認識し行動できる。

授業概要(教育目的)

1.慢性期または、終末期における患者の健康状態を把握し、患者の特徴と個別性をふまえた看護の実践に必要な基礎的能力を習得する。
2.慢性期または、終末期にある患者の看護実践をとおして、看護過程展開能力と看護専門職としての姿勢を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

成績に疑問がある場合は、個別に対応する

参考文献

これまで授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
適宜必要な場合には紹介する。

講義時使用テキスト

これまで授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
適宜必要な場合には紹介する。

資格との関連

看護師国家試験に関連する

学生へのメッセージ

積極的に主体的に学習すること。

実務との関連

担当教員全員が看護師としての病院勤務の実務経験がある。それに基づいて成人看護学について実習指導を行う

授業計画表

	内容	予習	復習
1	【実習時期】3年次後期～4年次前期 【実習期間】3週間 【実習場所】八戸赤十字病院、八戸市立市民病院、青森労災病院、十和田市立中央病院、むつ総合病院 【実習方法】原則として学生は一人の患者を受け持ち、健康障害をもった患者の健康レベルに応じた看護援助を実践しながら看護過程の展開を行う。 実習の詳細については、成人看護学実習要項参照	実習病棟の主な疾患、検査、処置、看護について学習し、レポートにまとめること。	毎日実習記録を記載し、内容を整理し振り返りを行うこと。また、不明な点は調べておくこと。

講義名	4020034001 慢性期看護実習 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)			

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

慢性的・長期的に経過する健康障害や機能障害の特性を多面的に理解する能力を養い、慢性疾患患者が疾病をコントロールしセルフケアができるための援助方法、また生活者としてのクオリティ・オブ・ライフの充実に向けた援助方法を学ぶ。さらに、チームケアならびに在宅療養支援を必要とする社会資源の活用や患者への継続看護について体験的に学習し、看護実践を通じてチームとして患者を支えること、看護師の役割について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020035000 高齢者看護学概論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	切明　美保子		

学習目標(到達目標)

1. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面から高齢者の特徴を説明できる。
2. 高齢者の健康問題と看護の役割について説明できる。
3. 高齢者を支える社会構造と保健・医療・福祉制度を説明できる。
4. 高齢者の人権擁護・倫理的課題を説明できる。

授業概要(教育目的)

高齢期にある人の加齢に伴う変化と特徴、高齢社会の課題の理解を基に、高齢者の健康のあり方とQOLを考えた生活支援および看護ケアの基盤について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験、小テスト、グループワークの参加度、課題レポートにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポートは、次の授業で代表的なものををいくつかフィードバックする。
小テストは採点の上返却する。

参考文献

1. 厚生の指標増刊　国民衛生の動向((財)　厚生統計協会)
2. 高齢社会白書(内閣府編集、佐伯印刷KK)

講義時使用テキスト

1. 水谷信子監修『最新老年看護学』、日本看護協会出版会
2. 山田律子他編集『生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図』、医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

身近にいる高齢者と関わりを持ち、高齢者の理解を深めてほしい。

実務との関連

看護師としての実務経験を踏まえて話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ライフサイクルと老年期 生涯発達点から見た発達課題 老年期における健康の考え方 加齢と老化　老いの体験と適応　健康の概念 (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
2	老年看護学と老年看護実践 老年看護学の定義　歴史と展望 (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
3	厚生統計からみる高齢者像① 高齢者の健康　高齢者の家族と社会関係 (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
4	厚生統計からみる高齢者像② 高齢者の生活 (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
5	健康アセスメントに基づく加齢変化と生活支援 健康アセスメントの枠組みと方法 (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキスト・参考文献の関連個所を読む。授業内容を整理し、論点を整理する。
6	身体機能・構造の加齢変化と生活への影響① 感覚器系・脳神経系　外皮系 運動器系　呼吸器系　循環器系 (グループワーク)	グループワークのテキスト・参考文献の関連個所を読む。	テキスト・参考文献の関連個所を読む。グループワーク内容を整理し、論点を整理する。
7	身体機能・構造の加齢変化と生活への影響② 感覚器系・脳神経系　外皮系 運動器系　呼吸器系　循環器系 (グループワーク)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。グループワーク内容を整理し、論点を整理する。	テキスト・参考文献の関連個所を読む。授業内容を整理し、課題を提出する。
8	身体機能・構造の加齢変化と生活への影響③ 消化器系　腎泌尿器系　血液免疫系 内分泌代謝系　性生殖器系 (グループワーク)	グループワーク内容について、ホームグループで発表できるように準備する。	テキストの概当箇所を読む。 グループワーク内容を整理し、参考文献等を活用し理解を深める。
9	身体機能・構造の加齢変化と生活への影響④ 消化器系　腎泌尿器系　血液免疫系 内分泌代謝系　性生殖器系 (グループワーク)	グループワーク内容について、ホームグループで発表できるように準備する。	テキストの概当箇所を読む。 グループワーク内容を整理し、参考文献等を活用し理解を深める。
10	心理・精神的側面の加齢変化と生活への影響 知能　記憶　パーソナリティ ※第6・7・8・9回の内容についての確認テスト (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
11	高齢者の健康障害の特徴 老年症候群,フレイル	テキストの概当箇所を読む。前回のノートを読み返す。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
12	社会の変化と高齢者の社会保障制度の変遷 (コメントシートの使用)	テキストの概当箇所を読む。前回のノートを読み返す。	テキストの概当箇所を読む。 授業内容を整理し、論点を整理する。
13	高齢者の健康と暮らしを支える地域包括システム 福祉・保健医療に関する法律や制度 介護保険制度のしくみやサービス (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキスト・参考文献の関連個所を読む。授業内容を整理し、論点を整理する。
14	高齢者の権利と看護倫理、 高齢者看護の実践 高齢者虐待をめぐる倫理的課題 (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキスト・参考文献の関連個所を読む。授業内容を整理し、論点を整理する。
15	人生の最終段階における看護 エンドオブライフケアの基本 高齢者のエンドオブライフの意思決定プロセス (コメントシートの使用)	テキスト・参考文献の関連個所を読む。 前回のノートを読み返す。	テキスト・参考文献の関連個所を読む。授業内容を整理し、論点を整理する。

講義名	4020036000	高齢者看護援助論					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	切明　美保子			

学習目標(到達目標)

1. 高齢者の特徴を理解し、生活障害、健康障害に応じた看護の方法を説明できる。
2. 高齢者の主要な疾患・症状の特徴と看護について説明できる。
3. 認知症・終末期にある高齢者への看護の展開方法を説明できる。
4. 高齢者の看護に必要な基礎的な技術を修得することができる。

授業概要(教育目的)

高齢期にある対象の老化の特徴と健康レベルに応じた援助に必要な基礎知識・技術・態度を学ぶ。また高齢者に多い疾患に伴う看護、リハビリテーション期、入院に伴う看護と認知症高齢者の看護について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験、小テスト、課題レポート、提出物などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポートは次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。小テストは採点の上返却する。

講義時使用テキスト

1. 水谷信子監修『最新老年看護学』、日本看護協会出版会
2. 山田律子編『生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図』、医学書院

参考文献

1. 奥宮暁子編著『ウェルネスの視点い基づく老年看護過程：生活機能に焦点を当てたアセスメント』、医歯薬出版

資格との関連

学生へのメッセージ

既存の学習内容を活用することが求められるため、学習の見直しを行ってほしい。また、高齢者に関連するニュースが社会情勢に目を向ける等して、高齢者に関心を持ち学習を進めてほしい。演習やグループワークが多いため、講義は休まず出席することが望ましい。

実務との関連

医療機関での看護師の実務経験をもとに高齢者看護について話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	演習：高齢者疑似体験：GW	テキスト・参考書の該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 課題レポートを記載する。
2	演習：食事の援助：GW	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。 課題レポートを提出できるように準備する。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 課題レポートを記載する。
3	生活機能を整える看護 ①呼吸・循環機能、コミュニケーション	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。 課題レポートを提出できるように準備する。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
4	生活機能を整える看護 ②活動・基本動作	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
5	生活機能を整える看護 ③睡眠と休息	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
6	生活機能を整える看護 ④食事（摂食嚥下障害・低栄養・脱水含む）	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
7	生活機能を整える看護 ⑤排泄 （失禁、便秘）	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
8	生活機能を整える看護 ⑥みじたく（清潔　衣生活　おしゃれ）（掻痒、スキンテアを含む）	テキスト・参考文献の該当箇所を通読し、論点を整理しておく。演習要項を読む。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。アセスメントシートを提出できるよう記載する。
9	生活機能を整える看護 ⑦演習：生活機能のアセスメント：グループ活動	アセスメントシートを提出できるように見直す。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
10	薬物療法を受ける高齢者の看護	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
11	高齢者に特有な健康障害と看護① パーキンソン病	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
12	高齢者に特有な健康障害と看護② 感染症：ノロウィルス感染症　インフルエンザ 疥癬　白癬他	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
13	高齢者に特有な健康障害と看護③ 大腿骨頚部骨折（骨粗鬆症を含む）① 手術療法における看護（術後せん妄を含む）	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
14	高齢者に特有な健康障害と看護④ 大腿骨頚部骨折② リハビリテーション 退院支援	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
15	高齢者に特有な健康障害と看護⑤ うつ・せん妄	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
16	認知症高齢者の看護① 認知症対策の動向と制度 認知症の理解	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
17	認知症高齢者の看護② 認知症の看護の基本 認知症高齢者とのコミュニケーション	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
18	認知症高齢者の看護③ 認知症高齢者のアセスメントとケア 演習オリエンテーション：GW	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、配布資料やノートを見直す。
19	演習：認知症ロールプレイング①GW	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。演習要項を読む。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 課題レポートを作成する。
20	演習：認知症ロールプレイング②GW	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。 発表できるように準備する。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業内容を整理し、課題レポートを作成する。
21	高齢者施設における看護 演習：フィジカルアセスメント	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。 発表できるように準備する。	テキスト・参考文献の該当箇所を読む。 授業内容を整理し、課題レポートを作成する。
22	演習：看護過程①オリエンテーション　事例紹介　アセスメント	テキスト・参考文献の該当箇所、看護過程の資料を読む。	事例の情報からアセスメントシート（統合）までを記載し、提出できるよう準備する。
23	演習：看護過程②アセスメント（統合）の解説	アセスメントシート（統合）までを記載し、提出できるよう準備する。	解説を参考にアセスメント（統合）までを追加修正し、看護計画を立案する。
24	演習：看護過程③アセスメント（統合）GW	解説を参考にアセスメント（統合）までを追加修正し、グループ内で発表できるように準備する。	GW内容を参考にアセスメント（統合）までを追加修正する。
25	演習：看護過程④看護目標と看護計画	立案した看護目標と看護計画をグループ内で発表できるように準備する。	GW内容を参考に看護目標と看護計画を追加修正する。GWのプレゼンテーション方法を考える。
26	演習：看護過程⑤看護計画：GW	GWのプレゼンテーション方法を考える。	プレゼンテーションできるように準備する。
27	演習：看護過程⑥プレゼンテーション準備（GW）	GWのプレゼンテーション方法を考える。	プレゼンテーションできるように準備する。
28	演習：看護過程⑦プレゼンテーション（GW）投票	プレゼンテーションがスムーズにできるように練習する。	プレゼンテーション内容を参考に、演習記録に追加修正する。
29	演習：看護過程⑧投票結果発表　上位グループのプレゼンテーション（GW）	投票結果発表が当日の為、すべてのグループがプレゼンテーションできるように準備する。	プレゼンテーション内容を参考に、演習記録に追加修正する。
30	演習：看護過程⑨全体の解説	看護過程演習記録全体を見直す。	解説を参考に、演習記録に追加修正し、提出する。

講義名	4020037000 高齢者看護学実習Ⅰ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	切明　美保子		

学習目標(到達目標)

1. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設及び関連施設の概要を説明できる。
2. 施設における看護の役割と多職種の連携の重要性を説明できる。
3. 施設を利用している高齢者の加齢の変化に応じたコミュニケーションがとれる。
4. 施設で生活している高齢者の特徴について説明できる。
5. 施設で生活している高齢者の健康と生活機能の自立を高める支援のあり方を理解する。

授業概要(教育目的)

高齢者の発達課題および心身の特性、健康レベルの多様性について理解し、慢性疾患や障害をもつ高齢者の健康と生活機能の自立を支援するための援助方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

へき地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

面談又はコメントでフィードバックする。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

これまで授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
適宜紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として病院や高齢者施設へ勤務。実務経験をもとに高齢者の理解について話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習期間:1週間 実習時期:3年次後期 実習場所:特別養護老人ホーム又は介護老人保健施設及び関連事業所	実習要項に沿って高齢者看護学概論や高齢者看護援助論の学習内容を復習する。事前課題レポートを作成する。	実習内容を振り返り、不明な点は良く調べる。課題レポートを作成する。

印刷日：2023年09月26日

講義名	4020037001	高齢者生活支援看護実習 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実習	対象年次	3・4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

高齢者の心身の特性、健康レベルの多様性を理解する。慢性的な疾患や障害を抱えながら、その人らしい生活を継続していくための支援について、実際の関わりを通して学ぶ。また、高齢者の療養生活を支える各種施設や関連職種との連携、看護実践で生じる倫理的課題における看護の役割について考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

へき地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020038000	高齢者看護学実習Ⅱ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	切明　美保子			

学習目標(到達目標)

1. 高齢者の加齢に伴う変化と健康障害との関連について理解し、援助につなげることができる。
2. 高齢者の残存機能を活用した日常生活の自立への援助や予測される二次的障害や合併症予防のための援助を実施できる。
3. 高齢者や家族の健康問題を解決するためのソーシャルサポートシステムが理解できる。
4. 高齢者ケアサービスにおける医療施設の役割と課題を理解する。

授業概要(教育目的)

高齢者の生活を支える保健医療福祉の施設の役割・機能について理解し、多職種との連携・協働のあり方とその中における看護の役割・責任及び専門性について学習する。高齢者の特徴を理解し、日常生活の自立への援助および二次障害、合併症の予防、その人らしい生活が送れるための援助について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

課題について、コメント又は面談にてフィードバックする。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

これまで授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
適宜必要な場合には紹介する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師としての実務経験をもとに高齢者の理解について話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習期間:3週間 実習期間:3年次秋学期～4年次春学期 実習場所:青森労災病院 実習方法:入院している高齢者を原則として1名受け持ち、看護を実践する。 ※詳細は実習要項に記す。	実習要項に沿って高齢者看護学概論や高齢者看護援助論の学習内容を復習する。課題レポートを作成する。	毎日、実施した内容を整理し、実習記録にまとめ、振り返りをする。不明な点は良く調べる。

講義名	4020039000 小児看護学概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	田中　克枝		

学習目標(到達目標)

1. 子どもの成長・発達に関する知識を習得し、その特徴について説明できる。
2. 子どもの家族の関係や望ましい成育環境、子どもを取り巻く社会環境について説明できる。
3. 小児看護の基本となる概念と援助について説明できる。
4. 健康障害をもつ子どもと家族の看護について説明できる。

授業概要(教育目的)

小児の健康について生命の進化および地球環境における生態学的健康の観点から捉え、小児の権利を基盤に小児看護の基本概念や役割について教授する。また小児の健全な成長発達段階に応じた看護の理解を通して、小児の健やかな発育に必要な親子関係や養育環境、母子保健の動向について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

筆記試験、課題レポート等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験・レポートの結果等を知りたい学生は個別に開示する

参考文献

授業テーマ毎に参考文献を示す

講義時使用テキスト

1)中野綾美編:ナーシング・グラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護,メディカ出版
2)奈良間美保他:系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児臨床看護各論 小児看護学[2],医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

担当教員は看護師として勤務経験ある。実務経験をもとに講義・演習を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	小児看護の対象と目的、子どもの倫理 ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
2	成長・発達① ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
3	成長・発達②、発達評価 ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す 課題レポートを作成する
4	子どもの日常生活援助① ー子どもの栄養ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
5	子どもの日常生活援助② ー子どもの排泄、清潔ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
6	子どもの日常生活援助③ ー活動と休息、安全と危険の予防ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
7	子どもの病気・入院が及ぼす影響 ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
8	子どもの対症看護① ー発熱、脱水、痙攣ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
9	子どもの対症看護② ー嘔吐、下痢、呼吸困難ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
10	子どもの健康障害と看護① ー活動制限と主な疾患看護(ネフローゼ症候群)ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
11	子どもの健康障害と看護③ ー隔離と主な疾患看護(感染症、肺炎)ー ・理解度の確認(発問) ・リアクションペーパー(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等)の使用	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
12	プレパレーションの講義、演習GWのオリエンテーション	テキストの該当箇所を読む	グループワークの疾患、発達に応じた理解度などを復習する
13	プレパレーション演習②:GW 5つの事例をもとづき、プレパレーションを考える	テキストの該当箇所を読む	グループでの課題をそれぞれが行う
14	プレパレーション演習③:GW	テキストの該当箇所を読む	グループ発表するための準備を行う
15	プレパレーションのGWの発表 小児看護学概論のまとめ	テキストの該当箇所を読む	小児看護学概論の総復習を行う

講義名	4020040000 小児看護援助論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	田中　克枝		

学習目標(到達目標)

1. 成長発達過程にある小児の疾患やその療養に関する知識を習得する。
2. 健康問題をもつ小児とその家族のアセスメントと援助方法について説明できる。
3. 小児の入院による影響や環境の変化をアセスメントすることができる。
4. 小児とその家族の看護に必要な小児看護技術を習得する。

授業概要(教育目的)

成長過程にある小児の特徴と小児疾患についての知識を習得し、健康課題をもつ小児と家族のアセスメントと援助方法を理解することができる。また、小児の入院による影響や環境の変化をイメージ化し、小児とその家族の看護に必要な小児看護技術の基礎となるものを習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

事前課題やレポート提出、筆記試験の結果にて総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、期末試験)の成績を知りたい学生には個別で開示する

参考文献

授業時、授業内容に沿った参考文献を示す

講義時使用テキスト

1. 奈良間美保他：系統看護学講座専門Ⅱ　小児臨床看護各論　小児看護学[2], 医学書院.
2. 中野綾美編：ナーシング・グラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護, メディカ出版.

資格との関連

看護師国家資格

学生へのメッセージ

小児看護学概論で学んだ内容を復習して、小児看護援助論の講義に望んで下さい。
配布したプリントはきちんとファイリングして保管して下さい。

実務との関連

田中(克)、佐々木は看護師としての実務経験があり、田中完は小児科医として現在も勤務し、それに基づき講義・演習を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	代表的な小児疾患：感染症	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
2	代表的な小児疾患：悪性新生物	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
3	代表的な小児疾患：脳神経系疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
4	代表的な小児疾患：先天性、代謝疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
5	代表的な小児疾患：呼吸器、消化器疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
6	代表的な小児疾患：循環器疾患、その他の疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
7	小児・家族の健康に関する問題 ・グループワーク ・リアクションペーパーの使用　(講義についての振り返り、疑問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
8	子ども虐待と支援 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用　(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
9	子どもと社会　ー子どもに関する法規、制度ー ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
10	子どもの健康診断と育児支援 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
11	予防接種 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
12	慢性疾患患児の援助①　ー糖尿病、アレルギー性疾患ー ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
13	慢性疾患患児の援助②　ー腎疾患と心疾患の成育医療ー ・理解度確認(発問、ミニテスト) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
14	手術を受ける子どもの看護 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
15	子どもの緩和医療と看護 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
16	ハイリスク児の看護 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
17	先天性疾患の看護　ダウン症候群の子どもの関わり ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
18	看護過程のグループワーク①　ーオリエンテーションと演習ー	テキストの該当箇所を読む	グループメンバーで事例について話し合う
19	看護過程のグループワーク②	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
20	看護課程のグループワーク③	事例の疾患看護を調べる	グループメンバーで話し合う　疾患の勉強を行う
21	障がいをもつ子どもの看護①　ー発達障害児の関わりー	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
22	小児看護専門看護師の役割とその実践(在宅支援)	小児看護専門看護師の役割をテキスト等を読み、調べる	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
23	障がいをもつ子どもの看護②　ー肢体不自由児、重症心身障害児の関わりー ・リアクションペーパーの使用 (講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
24	看護過程のグループワーク④　事例によるプレパレーション作成	事例のプレパレーションの内容グループで話しあう	発表できるように資料作成作業を行う
25	看護過程のグループ発表会①	グループで発表できるように準備する	グループ以外の事例看護の発表を聞いて、学んだことを調べなおす
26	看護過程のグループ発表会②	グループで発表できるように準備する	グループ以外の事例看護の発表を聞いて、学んだことを調べなおす
27	子どもの看護技術(講義) ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用 (講義についての振り返り、質問等)	前回の授業のテキスト、配布資料を読み返す	看護技術の練習を行う
28	子どもの看護技術(学内演習)①	前回の授業のテキスト、配布資料を読み返す	看護技術の練習を行う
29	子どもの看護技術(学内演習)②	今までの学んだものからわからないもの、憶えるべきものを整理する	課題を行う
30	実習前の看護演習	今までの学んだものからわからないもの、憶えるべきものを整理する	実習の準備、今までの講義内容を整理する

講義名	4020041000 小児看護学実習Ⅰ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	田中　克枝		

学習目標(到達目標)

1. 子どもの活動の場を通じ、成長発達段階の特徴と個別性を理解できる。
2. 基本的生活習慣の自立に基づいた日常生活援助について理解できる。
3. 子どもを一人の人として尊重してかかわり、相互の信頼関係の必要性を理解することができる。
4. 子どもの健康管理、安全管理の実際を理解できる。

授業概要(教育目的)

子どもの成長・発達を促進するための支援や、子どもの人権を擁護する具体的な方法について考え、保育活動および幼児教育の場を通して観察し、成長・発達段階の特徴を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

1. 実習目標に沿って、毎日のカンファレンスで発表し指導者や教員よりアドバイスを受け。、
2. 子どもの成長発達段階に合わせた関わり方について、実習記録を指導者が確認し、コメントをもらう。
3. 小児看護学実習Ⅱの病院実習においても、成長発達シートを継続して用いて内容を充実させる。

講義時使用テキスト

特に指定しない

参考文献

・筒井真優美監修：小児看護実習ガイド、照林社、2007.
・兼松百合子他：小児保健実習―保育と保健・看護の視点から、同分書院、2007.

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実務との関連

総合病院の小児科病棟や救急外来の看護師、乳児健診における乳幼児とその保護者への育児相談の経験を有し、小児保健や小児看護に関わる実質的な経験に基づき授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	子どもの成長・発達を促進するための支援や、子どもの人権を擁護する具体的な方法についての実習 実習内容：実習要項にて提示する。 実習時期（期間）：一週間　3年次後期～4年次前期 実習場所：市内幼稚園　　3か所 　　市内子ども園　　2か所	子どもの成長発達シートを作成する。子どもの生活環境について観察し記録する。	子どもの活動の場を観察したことを、テキストに沿って成長発達段階を確認し評価し記録する。

講義名	4020042000 小児看護学実習Ⅱ						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田中　克枝			

学習目標(到達目標)

1. 子どもの成長発達について対象を通じ理解できる。
2. 疾病や障害をもつ子どもとその家族に及ぼす影響について理解を深め、必要な情報を収集し、分析し、看護過程を展開できる。
3. 成長・発達段階や健康レベルに応じた、その小児に適した入院環境の調整や日常生活の援助を安全に実施できる。
4. 小児看護の目的と機能について理解し、子どもと家族の看護に関する倫理観を養うことができる。5. 子どもを取り巻く環境を認識し、外来など関連する他職種との連携や協働することの重要性について理解できる。

授業概要(教育目的)

子どもとその家族の成長・発達段階や健康レベルに応じた実践場面を通じ、健康の保持、増進、回復を目指した小児看護の役割や具体的な看護支援を理解し、子どもを取り巻く社会や入院環境による影響について看護過程を展開しながら主体的に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

1. 日々の実習計画と看護計画は、教員と指導者により確認しアドバイスを行う。
2. 成長発達シートや自主学習ファイルは、実習前・後に教員が確認する。
3. 毎日の実習の学びは、カンファレンスでグループ内で共有され、学生同士やポイントや教員や指導者からのアドバイスがある。

参考文献

・筒井真優美監修：小児看護実習ガイド、照林社、2007.
・桑野タイ子・本間昭子編・新看護観察のキーポイントシリーズ「小児Ⅰ」「小児Ⅱ」、中央法規

講義時使用テキスト

特に指定しない

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実務との関連

総合病院の小児科病棟や救急外来、小児外来の乳児健診、乳児と保護者への育児相談などを看護師として経験しており、小児保健および小児医療の実際について臨地実習指導者と協力し教育する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	子どもやその家族の成長発達や健康レベルに応じた小児看護の実践と看護過程の展開を目的とする病院実習 実習時期：3年次後期～4年次前期 実習期間：一週間 実習場所：八戸市立市民病院、八戸赤十字病院、青森労災病院 実習内容：実習要項に提示する。	子どもの成長発達シート、主な疾患や症状、医療ケアに関する自主学習ファイルを作成する。	受け持ち患児の看護ケアに関する学習、看護過程の展開を行う。

講義名	4020043000 母性看護学概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本　保子		

学習目標(到達目標)

1. 母性に関する概念を理解し、母性についての自分の考えを述べる。
2. 母性看護の対象の特徴を説明できる。
3. 母性を取り巻く社会の状況と問題について説明できる。
4. ライフサイクル各期の特徴と看護について説明できる。
5. 母子を取り巻く親子・家族関係について説明できる。
6. 母性看護に関する法律や施策について説明できる。

授業概要(教育目的)

母性看護、母性保健の対象や歴史、現代社会における母性の健康をめぐる課題を理解し、
女性のライフサイクルに応じた女性の健康維持と健康課題について学ぶ。検査・治療に伴う羞恥心への配慮や、臓器や女性性の喪失に伴う心理的・社会的問題への対応、患者・家族への指導、主な症状に対する看護や代表的な手術療法に関する看護を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

小テスト・定期試験、課題レポートにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生は個別に開示す。

参考文献

講義時使用テキスト

中込さと子編　ナーシンググラフィカ　母性看護学①「概論・リプロダクティブヘルスと看護」メディカ出版

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

すべての人が経験している生命誕生、それにまつわる様々な事象を知り視野を広げて欲しい。
自分のこと、将来のことを考え看護の役割へと発展させる。
母性看護にまつわる社会の現状を知り、問題意識を高く持つことを期待する。

無断欠席、遅刻をしないこと。

実務との関連

看護師としての臨床経験から、講義をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	母性看護とは、生命の誕生	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
2	母性看護の基盤となる概念	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
3	リプロダクティブヘルスに関する概念	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
4	リプロダクティブヘルスに関する動向	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
5	リプロダクティブヘルスに関する倫理	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
6	リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
7	生殖に関する生理	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
8	不妊症	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
9	加齢とホルモンの変化・生殖における健康問題と看護	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
10	母性看護に関するGW(グループワーク)	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
11	GW発表(結婚と離婚・家族計画・人工妊娠中絶)	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
12	GW発表(性感染症・アルコール・喫煙)	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
13	GW発表(DV・児童虐待)	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
14	ライフステージにおける健康問題	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
15	母性看護の課題と展望	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと

講義名	4020044000	母性看護援助論					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	坂本　保子			

学習目標(到達目標)

1. 正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護について説明できる。
2. ハイリスクおよび正常を逸脱した妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の周産期の看護を説明できる。
3. 周産期各期の看護に必要な技術を習得することができる。
4. 妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護過程を通じて根拠のある看護の展開ができる。

授業概要(教育目的)

妊娠期・分娩期・産褥期・および新生児期の母子とその家族に対する看護活動を実践するための基礎知識を学び、個別性を重視した看護および保健指導を行う基盤とする。さらに母性看護における基本的援助技術の理論と方法を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験、課題レポートによる総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)の成績は希望者に開示する。

講義時使用テキスト

1.小林康江編　ナーシンググラフィカ　母性看護学②　母性看護の実践　メディカ出版
2.荒木奈緒　　ナーシンググラフィカ　母性看護学③　母性看護技術　メディカ出版

参考文献

・北川真理子、谷口千絵著「看護実践のための根拠がわかる母性看護技術」 メディカルフレンド社
・中村幸代編集「根拠がわかる母性看護過程」 南江堂
・井上裕美他「病気がみえるVOL10産科」 メディックメデア
・仁志田博「新生児学入門」 医学書院

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

講義は遅刻や無断で休まないで受講すること。予習・復習が大事である。

実務との関連

産科領域における臨床経験から講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	妊婦とは・妊娠の経過	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
2	妊婦と胎児のアセスメントと援助	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
3	出産を控えた妊婦と家族の心理・社会的変化と看護	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
4	妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント、出産と子育てのための準備のための看護	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
5	妊娠期の異常と看護 切迫流早産・妊娠悪阻・妊娠高血圧症候群	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
6	妊娠期の異常と看護 糖代謝異常・胎盤位置異常・多胎・感染症	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
7	分娩とは、分娩の経過	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
8	正常分娩の経過とアセスメントと援助	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
9	分娩第1～3期のアセスメントと援助	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
10	分娩の異常、産科処置、産科手術	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
11	産褥期のヘルスアセスメント ①復古およびマイナートラブル	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
12	②母乳育児・育児技術の習得	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
13	③母子の愛着・絆形成	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
14	④家庭・社会への影響	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
15	⑤保健指導ー個人・集団ー	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
16	産褥期の異常と看護	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
17	新生児とは	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
18	新生児の子宮外生活適応のアセスメントと援助	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
19	新生児の発育状況のアセスメントと援助	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
20	新生児の異常と看護	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
21	看護過程	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
22	母性看護における他職種との連携 ーゲストティーチャーによるー	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと
23	産科基礎看護技術演習①(沐浴)Aグループ 看護過程演習①妊婦の看護　B・Cグループ	テキスト・参考書の該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと。演習前には技術に関する映像および参考書を演習前に確認し留意点を覚えること。
24	産科基礎看護技術演習② (妊婦診察)Aグループ 看護過程演習②妊婦の看護　B・Cグループ	テキスト・参考書の該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと。演習前には技術に関する映像および参考書を演習前に確認し留意点を覚えること。
25	産科基礎看護技術演習①(沐浴)Bグループ 看護過程演習①産婦の看護A・Cグループ	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと。演習前には技術に関する映像および参考書を演習前に確認し留意点を覚えること。
26	産科基礎看護技術演習② (妊婦診察)Bグループ 看護過程演習①産婦の看護A・Cグループ	テキストの該当箇所を通読し要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと。演習前には技術に関する映像および参考書を演習前に確認し留意点を覚えること。
27	産科基礎看護技術演習①(沐浴)Cグループ 看護過程演習③褥婦の看護　A・Bグループ	テキストの該当箇所を復習して妊婦・産婦の要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと。演習前には技術に関する映像および参考書を演習前に確認し留意点を覚えること。
28	看護過程演習②妊婦の看護　Cグループ 看護過程演習④褥婦の看護　A・Bグループ	テキストの該当箇所を復習して新生児の要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、不明な点は調べておくこと。演習前には技術に関する映像および参考書を演習前に確認し留意点を覚えること。
29	看護過程演習⑤新生児の看護	テキストの該当箇所を復習し褥婦の要点を整理しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、事例の分析を完成させる
30	看護過程演習⑥まとめ	前回提示した事例の分析に必要な要点を復習しておく	授業内容を振り返り要点を整理し、事例の分析を完成させる

講義名	4020045000	母性看護学実習					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	坂本　保子			

学習目標(到達目標)

1. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の特徴を説明することができる。
2. 妊婦・産婦・褥婦および新生児に必要な看護技術ができる。
3. 産褥期における母子の看護過程を展開できる。
4. 妊婦・褥婦・新生児の経過に応じた保健指導の方法を説明することができる。
5. 母子保健医療チームにおける看護師の役割を説明することができる。

授業概要(教育目的)

妊婦・産婦・褥婦、新生児およびその家族の特徴を理解し、看護過程をとおして対象者や家族の状態に応じた基本的な看護実践能力を養う。母子看護に関わる保健医療チームの中での看護師の役割を理解し、継続看護に必要な社会資源の活用について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

・小テストおよび課題レポートを評価して伝える
・実習目標に沿って、指導者や指導教員のアドバイスをもとに、カンファレンスを通して振り返りをする
・実習記録などは、不足な部分についてはコメントを書き、実習目標を意識づけるようにする

参考文献

ナーシンググラフィカ　母性看護の実践　母性看護学②
ナーシンググラフィカ　母性看護技術　母性看護学③
南江堂　中村幸代　　根拠がわかる母性看護過程

講義時使用テキスト

授業時使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 実習期間:2週間 2. 実習時期:3年次後期(R4年9月以降9～4年次前期(R5年7月) 3. 実習場所:八戸市立市民病院、八戸赤十字病院、三沢市立三沢病院 4. 実習方法:一組の母子を受け持ち看護過程を展開する。:詳細は実習要項に記す。	実習要綱に沿って母性看護学概論および母性看護援助論の学習内容を復習する	実習内容を振り返り小テストや国家試験関連問題を解くことで要点を整理する

講義名	4020046000 精神看護学概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	木村　緑			

学習目標(到達目標)

1. 精神保健における社会の動向と看護職が担う機能と役割を説明できる。
2. こころの機能と構造を正しく理解するためのキーワードを正しく説明できる
3. ライフサイクルにおける人間の精神的健康問題について説明できる。

授業概要(教育目的)

精神看護学概論は、人間の成長発達過程および社会の動向と深く関係する領域である。精神障害に悩む人々に関する看護の知識・技術を学ぶとともに、ライフサイクルにおける人間の精神的健康問題について理解を深めることを学習目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験及び課題レポートによる総合的評価

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する

参考文献

1. ナーシンググラフィカ　情緒発達と看護の基本　メディカ出版
2. 精神看護学Ⅰ　精神保健学　第5版　ヌーベルヒロカワ
3. 新体系看護学全書　精神看護学概論　精神保健　メヂカルフレンド社

講義時使用テキスト

1. 系統看護学講座　精神看護の基礎[1]　医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	心のケアと現代社会 精神看護学とその課題	心のケアと現代社会 精神看護学とその課題に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
2	精神障害の体験と精神看護 精神看護学でなにを学ぶのか 精神の健康とは	精神障害の体験と精神看護 精神看護学でなにを学ぶのか 精神の健康とはに対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
3	精神障害のとらえ方 ストレスと健康の定義 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響	精神障害のとらえ方 ストレスと健康の定義 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
4	人間の心のはたらきとパーソナリティ 人間の心の諸機能 感情 学習と行動	人間の心の諸機能 感情 学習と行動 に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
5	人間のこころの働きとパーソナリティ: 知能・心の理論・心のしくみと人格の発達	人間のこころの働きとパーソナリティ: 知能・心の理論　・心のしくみと人格の発達に対応する箇所を読んでる	配布資料と教科書を読んで復習する
6	無意識と精神分析:フロイトの精神力動論	無意識と精神分析:フロイトの精神力動論に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
7	対象関係論・ボウルビーの愛着理論・コフートの自己心理学・土井健郎の甘えの理論	対象関係論・ボウルビーの愛着理論・コフートの自己心理学・土井健郎の甘えの理論に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
8	関係の中の人間	関係の中の人間に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
9	精神科で出会う人々: 精神を病むことと生きる事・精神症状論と状態像(思考・感情・意欲・知覚・意識・記憶の障がい)	精神科で出会う人々: 精神を病むことと生きる事・精神症状論と状態像(思考・感情・意欲・知覚・意識・記憶の障がい)に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
10	精神障害の診断と分類・統合失調症	精神障害の診断と分類・統合失調症に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
11	気分障害・神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害・生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	気分障害・神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害・生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
12	パーソナリティ障害・器質性精神障害・精神作用物質による精神および行動の障害・てんかん・神経発達障害群・心身症	パーソナリティ障害・器質性精神障害・精神作用物質による精神および行動の障害・てんかん・神経発達障害群・心身症に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
13	精神科における治療:薬物療法・電気けいれん療法・精神療法・集団精神療法・家族療法・環境療法、社会療法	精神科における治療精神障害と法制度:精神科看護と法律・精神科領域で必要な法律と制度・法律、制度における課題・主要な精神保健医療福祉対策に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
14	社会の中の精神障害:精神障がいと治療の歴史・精神障がいに関連する法制度	精神障がいと治療の歴史・精神障がいに関連する法制度に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する
15	精神障害と法制度:精神科看護と法律・精神科領域で必要な法律と制度・法律、制度における課題・主要な精神保健医療福祉対策	精神障害と法制度:精神科看護と法律・精神科領域で必要な法律と制度・法律、制度における課題・主要な精神保健医療福祉対策に対応する箇所を読んでくる	配布資料と教科書を読んで復習する

講義名	4020047000 精神看護援助論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	三浦　広美			

学習目標(到達目標)

1.精神医療における治療と看護の基礎的知識を理解し看護計画を立案することができる。
2.精神看護に関連する法律および社会資源について理解し、支援方法を立案できる。

授業概要(教育目的)

精神保健上の問題のために生活や対人関係に困難を抱えている精神障がい者及び家族の理解に必要な知識や援助について学ぶ。疾病や障がいが生活へ及ぼす影響をとらえ、個別性に応じた看護援助やリハビリテーション、社会資源を活用した支援のあり方について学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題レポート、テストによる総合評価

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する

参考文献

必要に応じて授業時紹介する

講義時使用テキスト

1.医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①
2.医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ケアの人間関係① ・ケアの前提や原則を学ぶ ・患者理解と自己理解について学ぶ	ケアの前提と原則について教科書および紹介資料を読む	学びや考えをまとめる
2	ケアの人間関係② ・ケアの方法や技法について学ぶ	ケアの方法について教科書および紹介資料を読む	受講後に学びや考えをまとめる
3	患者－看護師関係 ・患者－看護師関係でおこることを学ぶ ・患者－看護師間で生じる感情とその対処について学ぶ	患者－看護師関係について教科書および紹介資料を読む	患者－看護師間で生じる感情と対処についてまとめる
4	チームのダイナミクス ・病棟やチーム等のグループダイナミクスについて理解し、カンファレンスの方法を学ぶ	グループダイナミクスについて教科書および紹介資料を読む	グループダイナミクスを考慮したカンファレンスの方法をまとめる
5	入院治療と看護① ・患者にとっての入院治療の意味を理解し、入院目的とアセスメントについて学ぶ ・精神科病棟の特徴や治療的環境について学ぶ	入院治療と看護について紹介資料を読む	精神科病棟の特徴を踏まえた看護をまとめる
6	入院治療と看護② ・リスクマネージメントや行動制限から治療と安全のバランスについて学ぶ	行動制限と治療について教科書および紹介資料を読む	リスクマネジメントの観点からの看護をまとめる
7	入院治療と看護③ ・精神科における緊急事態への対処方法について学ぶ	精神科における緊急事態について教科書および紹介資料を読む	精神科における緊急事態への対処方法についてまとめる
8	入院治療と看護④ ・精神科で行われる治療、起こりやすい合併症とその看護について学ぶ	精神科で行われる治療、起こりやすい合併症についてまとめる	精神科での治療と起こりやすい合併症への対応および看護についてまとめる
9	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス ・精神看護場面に見られる感情ワークについて考える ・よい看護場面、難しい看護場面の対応から感情処理のあり方を考える ・転移、バーンアウトなどよく経験されるメンタルヘルス問題を考える ・危機的状況と対処法について考え	教科書を読み、看護の仕事と感情労働との関係・看護師のメンタルヘルスに関連する事柄を調べる	看護場面の効果的な感情処理のあり方・看護師のメンタルヘルスを保つ方法についてまとめる
10	回復を支援する① ・患者にとっての回復・リカバリーとはなにか、その意味を理解し、精神障害をもつ人々の回復を促し支援する様々なアプローチを学ぶ	回復を支援することについて教科書および紹介資料を読む	リカバリーの観点からの看護をまとめる
11	回復を支援する② ・治療の場面におけるリカバリーと看護の視点(症例:アルコール依存症における看護)を学ぶ	アルコール依存症の病態と看護についてまとめる	講義で説明した疾患の看護についてまとめる
12	回復を支援する③ ・治療の場面におけるリカバリーと看護の視点(症例:アルコール依存症のリカバリーに向けた精神療法)を学ぶ	アルコール依存症のリカバリーに向けた看護についてまとめる	アルコール依存症のリカバリーに向けた援助の方法についてまとめる
13	精神看護における看護理論の応用 ・精神看護における看護診断および看護理論の活用を学ぶ	看護学概論での学習を読み返しまとめる	精神看護における看護理論についてまとめる
14	プロセスレコード ・関係をアセスメントするためのプロセスレコードの目的と方法について学び、プロセスレコードの実際から実践的な理解を深める	プロセスレコードに関する紹介資料・事例を読む	プロセスレコードを書き、自己理解について考えをまとめる
15	生活障害と看護 ・てんかん、神経発達障害の生活への影響とその看護を学ぶ	てんかん、神経発達障害の病態についてまとめる	講義で説明した疾患の看護についてまとめる
16	精神看護の展開:統合失調症① ・統合失調症の病態、病気の経過と症状、検査および薬物療法の基礎的知識に基づいた看護について学ぶ	統合失調症の病態・病気の経過と症状・検査・薬物療法についてまとめる	統合失調症の看護についてまとめる
17	精神看護の展開:統合失調症② ・統合失調症の回復のプロセスに沿った看護について学ぶ症状に対する看護について学ぶ	統合失調症の回復のプロセスについて教科書および紹介資料を読む	統合失調症の回復のプロセスに沿った看護及び症状に対する看護についてまとめる
18	精神看護の展開:統合失調症③ ・事例を基に情報整理の方法について学ぶ	統合失調症の事例を読む	看護理論を使った情報整理の方法をまとめる
19	精神看護の展開:統合失調症④ ・情報整理からアセスメントの実際について学ぶ	統合失調症に関する資料を確認してくる	統合失調症の看護アセスメントを考える
20	精神看護の展開:統合失調症⑤ ・アセスメントから問題を抽出し、具体策の立案について学ぶ	統合失調症に関する資料を確認してくる	統合失調症の看護過程を考える
21	精神看護の展開:感情障害① ・情報整理からアセスメントの実際について学ぶ	感情障害の病態・症状・検査・薬物療法についてまとめる	感情障害の看護についてまとめる
22	精神看護の展開:感情障害② ・感情障害の症状、検査や薬物療法の基礎的知識に基づいた看護について学ぶ	感情障害の事例を読む	看護理論を使った情報整理の方法をまとめる
23	精神看護の展開:感情障害③ ・事例を基に情報整理の方法について学ぶ	感情障害に関する資料を確認してくる	感情障害の看護アセスメントを考える
24	精神看護の展開:感情障害④ ・アセスメントから問題を抽出し、具体策の立案について学ぶ	感情障害に関する資料を確認してくる	感情障害の看護過程を考える
25	精神看護の展開:感情障害⑤ ・感情障害患者の看護計画について学ぶ	感情障害の看護計画に関する資料を確認してくる	感情障害の看護過程について学んだところをまとめる
26	精神看護の展開:感情障害⑥ ・感情障害患者の援助の実際について学ぶ	感情障害の看護計画に関する資料を確認してくる	感情障害の看護過程で重要なところを整理する
27	地域におけるケアと支援① ・地域で生活するための原則及び生活を支える制度について学ぶ	地域生活を支える制度をまとめる	地域生活を支える原則についての学びをまとめる
28	地域におけるケアと支援② ・地域で精神障害者を支援するための方法について学ぶ ・地域における精神障害者の支援の実際について学ぶ　ゲストティーチャーからの講義	地域生活を支える方法をまとめる	地域生活を支える方法についての学びをまとめる
29	治療的コミュニケーション① ・精神看護におけるコミュニケーションについて学ぶ	コミュニケーションについて今まで習ったことをまとめてくる	コミュニケーションで重要な事についてまとめる
30	治療的コミュニケーション② ・精神看護におけるコミュニケーションについて学ぶ(ロールプレイを通して学びを深める)	精神障害者に対するコミュニケーションの具体的方法を学ぶ	精神障害者に対するコミュニケーションの具体的方法についてまとめる

講義名	4020048000 精神看護学実習						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	木村　緑			

学習目標(到達目標)

1. 精神障害のある対象者を理解でき、環境への配慮ができる。
2. 精神的健康問題が及ぼす影響について理解し、必要な援助計画が立案できる。
3. 対象者との関わりを通して自己理解を深め、援助的関係に役立てることができる。
4. 対象者に現れている精神症状を把握し、治療経過における看護の役割について説明できる。
5. 社会復帰活動における看護の役割について説明できる。

授業概要(教育目的)

精神に障がいを持つ個人として患者さんと出会い、理解する。そして必要な日常生活援助を行い、精神の健康回復に向う看護の実践を学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

評価表は採点の上返却する

参考文献

授業時使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習期間:2週間 2. 実習時期:3年次秋学期)～4年次春学期 2. 実習場所:八戸赤十字病院、青南病院、十和田市立中央病院、八戸市立市民病院、カシオペア、青陽館 3. 実習内容 ①受け持ち患者の症状や言動を分析し、看護師としての必要な援助計画を立案する。 ②プロセスレコードにより自己理解を深め、援助的関係に役立てる ことで、患者―看護師関係を築く。 ※詳細は実習要項を参照	事前に提示された課題を行う	実習の学びについてレポートにまとめる

講義名	4020073000 地域保健学						
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1)地域包括ケアの概念と考え方について政策の変遷や社会情勢の関係を理解することができる。
2)地域包括ケアにおける地域・健康・対象・生活・家族の理解とその関連を説明でき、地域保健活動の実際を理解することができる。
3)地域包括ケアシステムの概念を理解し、関係する保健・医療・福祉を含めた他職種・他機関との連携および協働の必要性を考え、看護職の役割を述べることができる。

授業概要(教育目的)

人々の医療・療養の場は、病院中心から在宅・地域中心への転換が進み、看護の対象となる人々の生活の場も病院から在宅・地域へ移行、看護職の地域での活動が必須である。これらに対応するため、地域での生活を支える社会的、政治的背景を理解し、他職種連携や地域連携の基本的な知識を修得する。地域の様々な場で支援を必要とする対象者とその家族の理解、生活の場としての地域の理解、継続看護、在宅医療・在宅看護等を含めた地域包括ケアシステムについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

筆記試験、授業中のレポート、課題の提出状況や内容等で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は授業で代表的なものをいくつか授業で情報共有をしフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

・厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

講義時使用テキスト

公衆衛生学(2年次春学期)、在宅看護学概論(2年次秋学期)で使用のテキストを用いる
・公衆衛生学のテキストは科目のシラバスを確認すること
・在宅看護学概論のテキスト:ナーシング・グラフィカ　在宅看護論①:地域療養を支えるケア、メディカ出版

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション:地域保健学の学び方 地域包括ケア①:概念の理解、社会情勢の変化とその影響	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	地域包括ケア②:地域・対象・健康・生活・家族の理解、地域保健活動の概要	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	学校保健活動・産業保健活動	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	成人保健活動・高齢者保健活動	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	障害者保健活動	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	母子保健活動	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	地域包括ケアシステム①:概念の理解、高齢者における地域包括ケアシステムの目的と実際	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	地域包括ケアシステム②:現代における共生社会の理解、それに関係する保健・医療・福祉等の他職種・他機関との連携および協働と看護職の役割	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020073001 地域保健学（1年生）						
年度	2023	開講時期	後期後半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	壬生　寿子			

学習目標(到達目標)

1)地域の人々の生活と健康について考えることができる。
2)地域包括ケアにおける地域・健康・対象・生活・家族の理解とその関連を理解することできる。
3)地域包括ケアシステムの概念を理解し、保健・医療・福祉の関連を含めた他職種・他機関との連携および協働の必要性を考え、看護職の役割を説することができる。

授業概要(教育目的)

人々の医療・療養の場は、病院中心から在宅・地域中心への転換が進み、看護の対象となる人々の生活の場も病院から在宅・地域へ移行、看護職の地域での活動が必須である。これらに対応するため、地域での生活を支える社会的、政治的背景を理解し、他職種連携や地域連携の基本的な知識を修得する。地域の様々な場で支援を必要とする対象者とその家族の理解、生活の場としての地域の理解、継続看護、在宅医療・在宅看護等を含めた地域包括ケアシステムについて理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

筆記試験、授業中のレポート、課題の提出状況や内容、グループワークへの参加状況等で総合的に
評価する。

課題に対するフィードバック

・課題レポート等はコメントをして返却する。

参考文献

・厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。
・社会福祉論で使用のテキスト:社会保障・社会福祉　医学書院

講義時使用テキスト

・テキスト:地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版
・講義毎に資料を配布する。

資格との関連

・国家試験内容に関連している科目である。

学生へのメッセージ

・2年次の「地域・在宅看護論」と関連している科目であるので、基礎知識として身に着けてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護 1)地域と生活 2)健康とは 3)保健医療福祉の概念 ※課題提示①:地区踏査	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
2	地域包括ケアシステムの概念 1)地域包括ケアシステムとは 2)社会資源 3)多職種連携	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
3	地域を「みる」「知る」 自分の住む地域踏査の情報共有 1)地区別の発表 2)情報共有 ： グループワーク ※課題提出:情報共有の学び提出	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
4	地域で健康に暮らすための看護の役割　① ・事例演習:高齢者 ・グループワーク	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
5	地域で健康に暮らすための看護の役割　② ・事例演習:身体障害者 ・グループワーク	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
6	地域で健康に暮らすための看護の役割　③ ・事例演習:小児 ・グループワーク	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
7	地域で健康に暮らすための看護の役割　④ ・事例演習:在宅終末期 ・グループワーク	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。
8	地域包括ケアシステムの必要性と発展 1)地域アセスメント 2)看護の対象の理解 ※課題提示② 地域包括ケアシステムまとめ	事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。	配布された資料等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。グループワークには積極的に参加しまとめ・発表作業に協力すること。

講義名	4020049001 地域・在宅看護学概論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	壬生　寿子		

学習目標(到達目標)

1. 地域・在宅看護の概念と対象について理解できる。
2. 地域・在宅療養者を支える訪問看護の概念、訪問看護ステーションの役割について理解できる。
3. 地域療養を支える各種制度、ケアマネジメントについて理解できる。
4. 地域・在宅看護の対象者と家族への支援について理解できる。

授業概要(教育目的)

地域で疾病や障がいをもって生活する人々を看護するために、医療保険や介護保険制度、地域の社会資源を理解して、多職種や他機関と協働できる在宅ケアを目指せるように、在宅看護の基本的な考え方と援助方法を学び、拡大する在宅看護・家族看護・地域看護へのニーズとそれに応えるために克服しなければならない課題を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

これからの時代に求められる地域共生社会で活動する看護への期待は大きい。病院に限らず、多様な施設での活動、へき地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている

評価方法

定期試験、課題レポート、授業への参加度により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

テキストを熟読し、予習、復習の学習姿勢を習慣化し、知識を深める。

参考文献

1. 石垣和子他:在宅看護論ー自分らしい生活の継続を目指してー、南江堂、2021
2. 河野あゆみ:在宅看護過程、医学書院、2021

講義時使用テキスト

・臺　有佳他編:ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①－地域療養を支えるケア
　地域・在宅看護論②ー在宅療養を支える技術　　(株)メディカ出版、2022.

資格との関連

看護師資格取得に必須

学生へのメッセージ

これからの時代に求められる地域共生社会を支えるための在宅看護は、すべてのライフステージの人々を対象とし、人生の最期までを見守る活動も重要のため、他の専門看護領域の知識も活用し、横断的な学習視点が必要である。

実務との関連

看護師資格取得により、多種多様な場での活動が期待される。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第Ⅰ章　地域・在宅看護の概念① 1)在宅看護の背景 2)在宅看護の歴史的変遷	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
2	第Ⅰ章　地域・在宅看護の概念② 1)在宅看護の基盤 2)在宅看護の役割・機能	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
3	第Ⅰ章　地域・在宅看護の概念③ 1)在宅看護を展開するための基本理念 2)在宅看護における倫理	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
4	第Ⅱ章　在宅療養者と家族の支援① 1)地域・在宅看護の対象者 2)在宅療養の場における家族のとらえ方 3)在宅療養者の家族への看護	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。 第Ⅰ・Ⅱ章の復習テストの予習。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
5	第Ⅱ章　在宅療養者と家族の支援② 1)在宅看護の対象 2)在宅療養の成立条件 ※第Ⅰ・Ⅱ章復習テストの実施①	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。 第Ⅰ・Ⅱ章の復習テストの内容振り返り。
6	第Ⅲ章　地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護 1)退院支援 2)退院調整 3)多職種連携	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。 第Ⅲ章の復習テストの予習。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
7	第Ⅲ章　在宅看護におけるケアマネジメント 1)ケアマネジメント/ケースマネジメント 2)地域包括ケアと地域ケア会議 ※第Ⅲ章復習テストの実施②	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。 第Ⅲ章の復習テストの内容振り返り。
8	第Ⅳ章　地域療養を支える制度① 1)社会資源の活用 2)医療保険制度 3)後期高齢者医療制度	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
9	第Ⅳ章　地域療養を支える制度② 1)介護保険制度 2)障害者に関する法律 3)難病法	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
10	第Ⅳ章　地域療養を支える制度③ 1)子どもの在宅療養を支える制度 2)母子保健制度 3)産業保健制度 4)学校保健制度	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
11	第Ⅳ章　在宅における終末期の考え方 1)終末期医療の現状 2)在宅看取り 3)訪問看護師の役割	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。。
12	第Ⅴ章　在宅看護を支える訪問看護① 1)訪問看護の特徴 2)訪問看護制度	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
13	第Ⅴ章　在宅看護を支える訪問看護② 1)訪問看護ステーションの役割・機能 2)訪問看護ステーション開設基準	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。 第Ⅳ・Ⅴ章の復習テストの予習。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
14	第Ⅴ章　在宅看護を支える訪問看護③ 1)訪問看護サービスの展開 ・訪問看護過程の実際 ・訪問看護の記録 2)訪問看護師の一日:DVD学習 ※第Ⅳ・Ⅴ章復習テストの実施③	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。 第Ⅳ・Ⅴ章の復習テストの内容振り返り。
15	第Ⅵ章　在宅看護における安全と健康危機管理 1)在宅における危機管理 2)日常生活における安全管理 3)災害時における在宅療養者と家族の健康管理	事前学習は担当教員からの指示がない限り講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。 第Ⅳ章のまとめテストの予習。	学習内容を配布資料、テキストで、再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。第Ⅴ章のまとめテストの内容振り返り。

講義名	4020050000	在宅看護援助論					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	壬生　寿子			

学習目標(到達目標)

1. 在宅療養者とその家族の特徴を理解し、特徴に応じた援助方法について説明ができる。
2. 訪問看護における看護過程の特徴を理解し、アセスメントから計画立案までできる。
3. ケアマネジメントの重要性と在宅ケアにおける看護師の役割について説明できる。
4. 基本的な在宅看護技術について、援助方法と留意点を説明できる。
5. 在宅看護の代表的な疾患について、援助方法と留意点を説明できる。

授業概要(教育目的)

在宅で療養する人とその家族を対象とした看護について学習する。在宅療養者の特徴、主な健康障害、看護援助とその提供機関、家族支援方法、社会資源の活用方法、多職種との連携方法、ケアマネージメントの学習を通して訪問看護と外来看護の特徴および入院看護との違いを理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

多関係機関との連携・協働するための判断力、行動力を身につけ、へき地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験、課題レポート、授業への参加度により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

実習期間中、教員は巡回での指導であり、訪問看護過程等の記録に対して指導やコメントをして返却する。体調管理状況をチェックし、実習が継続できるようにする。

参考文献

1. 臺　有佳他編:ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア
　地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版2021.
2. 河野あゆみ:強みと弱みからみた　在宅看護過程、2019

講義時使用テキスト

石垣和子:在宅看護論　自分らしい生活の継続をめざして　南江堂2020

資格との関連

国家試験受験資格取得のための必修科目である。

学生へのメッセージ

在宅看護学概論を基礎に、在宅看護学実習に向けての知識構築のために、演習を加えた講義内容である。病院実習とは異なり、1～2名の学生が訪問看護師と同行訪問し、マンツーマンで指導を受けるなるため、看護倫理を踏まえた対応、社会人としてのマナーを守り行動することが大切である。

実務との関連

看護師としての実務経験を活かし、指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	在宅看護の概念の理解 1)在宅看護学概論の振り返り　2)在宅療養生活を支える訪問看護活動	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。 ※復習テスト①の予習をする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
2	地域療養を支える訪問看護技術 1)家庭訪問・初回訪問　2)訪問の手順と倫理・心構え　※復習テスト①	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。 ※復習テスト①の振り返りをする。
3	ICFモデルを用いた訪問看護過程の展開技術 1)慢性閉塞性肺疾患(COPD)の事例検討　2)訪問看護過程の展開	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
4	事例で学ぶ在宅看護技術① ・在宅療養における看護過程の特徴	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
5	事例で学ぶ在宅看護技術② ・在宅におけるヘルスアセスメント	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
6	事例で学ぶ在宅看護技術③ ・情報取集の項目とアセスメントのポイント　・ICFを用いた情報の統合	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
7	事例で学ぶ在宅看護技術④ ・在宅療養における看護過程展開のポイント	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
8	事例で学ぶ在宅看護技術⑤ ・看護過程展開における記録用紙の活用方法	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
9	在宅の場の移行に伴う看護 ・退院支援、退院調整、多職種連携の実際	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
10	在宅療養生活を支える基本的な技術① ・コミュニケーション	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
11	在宅療養生活を支える基本的な技術② ・在宅におけるアセスメント技術	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
12	在宅療養生活を支える基本的な技術③ ・環境整備　・生活リハビリテーション　・感染予防	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
13	在宅療養生活を支える基本的な技術④ ・ターミナルケア:在宅看取りの事例検討②　・看護過程の展開	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
14	地域で生活する子どもの訪問看護	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
15	地域で生活を希望する精神障害者の看護① ・精神看護の理解	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
16	地域で生活を希望する精神障害者の看護② ・事例検討③　・看護過程の展開	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
17	地域で在宅人工呼吸療法を継続しているALS療養者の看護展開	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
18	地域で生活する難病療養者の理解 ・難病認定看護師による事例紹介	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
19	在宅看護における技術演習①-1 ・医療的ケアの援助技術①　・医療ケアの原理原則	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
20	在宅看護における技術演習①-2 ・在宅人工呼吸療法(HMV)　・睡眠時無呼吸症候群(SAS)　・在宅酸素療法(HOT)	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
21	日常生活を支える看護技術① ・食生活　・排泄　・清潔　・肢位の保持と移動　・呼吸　・睡眠 医療的ケアの援助技術 ③　・在宅中心静脈栄養法　・CVポート	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。復習テスト②の予習をする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
22	日常生活を支える看護技術② ・介護用品の工夫　・簡易洗髪器　・紙便器　※復習テスト②	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。 ※復習テスト②の振り返りをする。
23	在宅看護における技術演習②-1 ・医療的ケアの援助技術②　・喀痰吸引　・気管かニューレ交換	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
24	在宅看護における技術演習②-2 ・喀痰吸引　・気管かニューレ交換	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
25	在宅看護における技術演習③-1 ・医療的ケアの援助技術③　・膀胱留置カテーテル　・ストーマ ・摘便	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
26	在宅看護における技術演習③-2 ・膀胱留置カテーテル　・ストーマ　・摘便	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
27	在宅看護における技術演習④-1 ・医療的ケアの援助技術④　・経管栄養法　・胃瘻　・在宅中心静脈法(CVポート)	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。
28	在宅看護における技術演習④-2 ・経管栄養法　・胃瘻　・在宅中心静脈法(CVポート)	事前学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、予習2時間を原則とする。	事後学習に必要な時間は担当教員から指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して、復習2時間を原則とする。

講義名	4020050001 地域・在宅看護援助論 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

地域で療養する人とその家族を対象とした在宅看護について、在宅における看護援助方法、家族の状況に合わせた家族支援方法、社会資源の活用方法、他機関・多職種との連携方法、ケアマネージメントや在宅看護の活動の手段としての訪問看護を中心とした活動や継続看護について地域包括ケアを意識して学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020051000	在宅看護学実習					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	壬生　寿子			

学習目標(到達目標)

1. 在宅看護の理論と知識・技術を統合させ、療養者とその家族のQOLを考えた看護援助方法を理解し、説明ができる。
2. 療養者と家族のよりよい健康生活をつくり出す一翼を担う在宅看護の理論と技術を体験する。
3. 家族を単位とした身体的・精神的・社会的側面に応じた適切な看護の在り方、関連諸機関・多職種との協働による在宅看護の基本を理解できる。
4. 施設内看護と在宅看護の共通点・相違点を理解し、継続看護の必要性について説明ができる。

授業概要(教育目的)

健康障害を持ちながら在宅療養をしている個人とその家族を対象とした在宅ケアの意義を理解し、看護ですでに学習した知識と技術を統合させ、個人とその家族のQOLを考えた看護を提供する。在宅ケアにおいては訪問看護を中心としたケアシステムと看護援助方法、さらに家族を単位として生活条件、生活スタイル、生活環境、経済状態などに応じた適切なケアのあり方、関連諸機関、職種との協働によるケアの基本を学び、よりよい健康生活をつくり出す一翼を担う看護の理論と技術を教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

他関係機関との連携・協働を意識し、へき地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

・実習評価表にもとづいて臨地実習指導者の評価を参考に担当担当教員が評価する。
・最終評価は個別に開示する。

課題に対するフィードバック

・臨地実習指導者の指示のもと、指導を受け、毎日カンファレンスを実施し、日々の振り返りをする。
・実習1週目に中間カンファレンスを実施し、訪問看護看護過程の確認をする。
・実習最終日に学内での全体カンファレンスを実施し情報共有を通しエビデンスを深める。

参考文献

1. 河野あゆみ:在宅看護過程　医学書院　2021
2. 訪問看護アドバンスー訪問看護の世界を写真と動画で学ぶー　インターメディカ　2018

講義時使用テキスト

授業時使用したテキスト、参考文献、配布資料、事前学習を参考にする。

資格との関連

国家試験の内容と関連があり、必修科目である。

学生へのメッセージ

病院実習とは異なり、1ステーションに1～2名の学生配置であるため、社会人としてのマナー、看護倫理を
守り、八戸学院大学の学生であることを意識して実習に臨むこと。

実務との関連

訪問看護ステーション指導者と担当教員が連絡、情報交換を密にして指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
2	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
3	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
4	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
5	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
6	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
7	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスをじっしし、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
8	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
9	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
10	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
11	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
12	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
13	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスをじっしし、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
14	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
15	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
16	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
17	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
18	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
19	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
20	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
21	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
22	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
23	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
24	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
25	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
26	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
27	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
28	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
29	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。
30	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間)　関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	訪問看護ステーションでの同行訪問(5日間) 関連施設実習(2日間)　学内実習(3日間)	毎日カンファレンスを実施し、実習の振り返りをする。学習は毎日2時間を原則とする。

印刷日：2023年09月26日

講義名	4020051001 地域・在宅看護実習 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

健康障害を持ちながら地域で生活している在宅療養者とその家族を対象とした在宅看護の意義を理解し、すでに学習した知識と技術を統合させ、在宅療養者とその家族が、よりよい健康生活をつくり出すことができるように、地域包括ケアを意識し、QOLの維持・向上を考えた看護が提供できる実践を学ぶ。さらに関連諸機関、多職種との連携・協働による実践活動を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020052000 統合看護論						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	築場 理利子			

学習目標(到達目標)

1. 看護の役割機能、看護サービスを提供する仕組みについて説明できる
2. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割と機能について説明できる
3. 専門職連携の理論と実践について説明できる
4. 社会の変動と科学技術の発展を理解し、看護を発展させていくことの重要性について説明できる
5. 専門職として生涯にわたり学習し続けて成長していくために、自己を評価し管理していく重要性について説明できる

授業概要(教育目的)

看護学における専門分野での既習の知識・技術を統合して、社会背景や社会保障制度の現状を踏まえた質の高い看護ケアを提供するための法や制度、サービス提供における連携・協働の実際について学び、地域包括ケアシステムの構成員としての活動することについて理解する。また、看護専門職としての価値と専門性を発展させていくことの重要性について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力および地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身に付ける

評価方法

試験と課題レポート等総合的に評価

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する

参考文献

・看護マネジメント入門 第2版 原玲子著 日本看護協会出版会
・看護の統合と実践①看護管理 ナーシンググラフィカ出版
・病院と地域を"看護"がつなぐ、角田直枝、日本看護協会出版会
・看護追及へのアプローチ 第5版 田中幸子編著 医歯薬出版株式会社
他必要な資料は授業時に紹介する

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

急性期病院での臨床経験と認定看護管理者としての看護管理の経験をもとに、看護職が置かれている看護の現場を包括的視点でとらえた構成で教授する

授業計画表

	内容	予習	復習
1	看護の統合・看護の発展 統合看護論とは	参考文献の関連個所を読む。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
2	看護サービスを提供するしくみと組織① 看護制度と法律、看護行政	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
3	看護サービスを提供するしくみと組織②	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
4	社会保障の現状と地域包括ケアの必要性	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
5	我が国の地域包括ケアシステムの成り立ち	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
6	地域包括ケアの推進と看護	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
7	保健医療福祉におけるIPW：Interprofessional Work	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
8	看護を取り巻く社会背景 看護関連のガイドラインを読み解く①	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
9	看護関連のガイドラインを読み解く②	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
10	看護チームの役割 リーダーシップ・メンバーシップ	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
11	コミュニケーションスキル 多重課題	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
12	医療情報システムと看護	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
13	キャリアデザインと生涯学習①	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
14	キャリアデザインと生涯学習② ゲストティーチャー(看護のスペシャリストの実践)	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
15	保健医療福祉制度や科学技術の発展等社会の動向	参考文献の関連個所を読む。前回の授業の内容を読み返し整理する。	配付資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。

講義名	4020053000 チーム医療論						
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	高橋　正知			

学習目標(到達目標)

1. チーム医療の理念と目的について説明できる。
2. 主な保健医療専門職の役割について説明できる。
3. 医療チームにおける看護職の役割について説明できる。
4. チーム医療に関する課題克服方法について意見を述べることができる。

授業概要(教育目的)

保健医療福祉制度における専門職の種類と役割を理解し、チーム医療の理念と目的、協働する活動の方法について学ぶ。チーム医療が必要とされる背景と医療チームにおける看護職の役割と責任について理解し、事例を用いた演習を行い、チーム医療の効果と課題および課題克服の方法を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

課題レポートと筆記試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 必要がある場合、授業時紹介する。

講義時使用テキスト

1. 実践チーム医療論　実際と教育プログラム　医歯薬出版

資格との関連

学生へのメッセージ

臨床現場ではチーム医療のスムースな実践が求められるので、それに関する必要十分な知識を身に付けて欲しい。

実務との関連

高橋正知の担当回について、大学病院勤務の実務経験を活かし、チーム医療の理念、目的、保健医療福祉制度における専門職と役割、および医療安全・医療経済について教授している。
久保　宜子の担当回について、大学病院と市中病院勤務の看護経験を活かし、チーム医療の理念、目的、保健医療福祉制度における専門職と役割、および医療安全・医療経済について教授している。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	チーム医療の理念と目的	チーム医療の理念と目的に関するテキストの部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し、重要項目および疑問点をピックアップする。
2	保健医療福祉制度における専門職とその役割	保健医療福祉制度における専門職と役割に関するテキストの部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し、重要項目および疑問点をピックアップする。
3	医療安全・医療経済からみたチーム医療と倫理	医療安全・医療経済からみたチーム医療と倫理に関するテキストの部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し、重要項目および疑問点をピックアップする。
4	チーム医療における感染制御 ①院内感染／人工呼吸器関連感染	チーム医療における感染制御の必要性と意義について書籍で調べ、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し、重要項目および疑問点をピックアップする。
5	チーム医療における感染制御 ②カテーテル感染／クロストリジウム ディフィシル感染	チーム医療における感染制御の必要性と意義について書籍で調べまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し、重要項目および疑問点をピックアップする。
6	演習：チーム医療の実践②　提示した事例をもとに	1. チーム医療の実践についてはグループワークおよびデスカッションで学習内容の共有をするので、医療専門職種(医師、看護師、栄養士など)の役割・機能について、各自「課題レポート」として提出する。 2. 特定看護師について、理解しておく。	1. 演習内容を確認する。 2. グループワークに関する課題レポートを提出する。
7	演習：チーム医療の実践③　提示した事例をもとに	1. チーム医療の実践についてはグループワーク、デスカッションで学習内容の共有をするので、医療専門職種(医師、看護師、栄養士など)の役割・機能について、各自「課題レポート」として提出する。 2. 特定看護師について、理解しておく。	1. 演習内容を確認する。 2. グループワークに関する課題レポートを提出する。
8	チーム医療の実践：プレゼンテーションとディスカッション	1. チーム医療の実践についてはグループワーク、デスカッションで学習内容の共有をするので、医療専門職種(医師、看護師、栄養士など)の役割・機能について、各自「課題レポート」として提出する。 2. 特定看護師について、理解しておく。	1. 演習内容を確認する。 2. グループワークの内容に関する課題レポートを提出する。

講義名	4020054000	医療安全論					
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	築場　理利子			

学習目標(到達目標)

1. 医療事故防止に関する看護職の責任と役割を説明できる。
2. 医療事故発生のメカニズムと発生防止の考え方について説明できる。
3. 医療事故の事例と原因分析を通し、医療を取り巻く社会的な状況について説明できる。
4. 医療事故後対応の考え方と自己の医療事故を回避する方策について説明できる。

授業概要(教育目的)

医療における安全管理の理論を理解するとともに、安全で質の高い医療サービスを提供するために必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ。臨床現場でおける取り組みの実際を知り、医療安全の考え方、知識・技術を理解する。また、医療安全の理論に基づいた事故防止の考え方と方法、事故の分析、事故発生の予防、事故発生後の対応、わが国の組織的な安全管理体制などについて学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

定期試験・グループワークの参加状況による評価

課題に対するフィードバック

授業の終了時に、リアクションペーパーを記入することで講義内容の振り返りと評価を行う。
課題・グループワークした内容で模範・代表的なものをフィードバックする。

参考文献

1. 医療安全ワークブック第4版　川村治子　医学書院
2. ナースのための危険予知トレーニングテキスト　杉山涼子　メディカ出版
3. 医療現場のヒューマンエラー対策ブック　河野龍太郎　日本能率協会マネジメントセンター
4. チームステップス日本版　医療安全　チームで取り組むヒューマンエラー対策　東京慈恵会医科大学
付属病院　医療安全管理部　メディカルビュー

講義時使用テキスト

1. 松下由美子ほか編　ナーシンググラフィカ　看護の統合と実践②医療安全第5版　メディカ出版
2. 他随時資料を配布する

資格との関連

看護師国家試験においても医療安全にかかわる出題がある

学生へのメッセージ

臨地実習の事前学習としても重要な科目であるため、よくテキストを読み、講義内容を理解し、患者と自分自身の安全を考えて行動できる看護学生になろう。

実務との関連

病院の医療安全管理者としての経験から、医療現場の安全な医療の提供への取り組みと現状について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 医療安全の意味と看護職の責務、医療安全の取り組みと医療の質の評価 ・医療安全の意味とその重要性 ・看護職の法的責任について ・国や組織による医療安全の取り組み ・医療事故の定義・分類・報告制度 ・医療安全施策と医療の質の評価	テキストの該当箇所を読む	授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
2	2. 医療事故発生のメカニズムと分析の考え方、事故対策 ・ヒューマンエラーと人間特性・環境の関係について ・事故の構造、分析の考え方と事故対策	テキストの該当箇所を読む	授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
3	3. 医療機関における安全文化醸成のための取り組み ・医療機関における安全対策の取り組み ・安全文化の醸成について	テキストの該当箇所を読む	授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
4	4. 看護における事故発生要因と安全対策 ・看護業務を行う際の環境の特徴とリスク ・看護業務にかかわる主な医療事故の種類、分析、対策	テキストの該当箇所を読む	授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
5	5. 在宅看護における医療事故と安全対策、看護業務上の危険と防止策 ・在宅で起こりうる医療・介護事故の実際と防止対策 ・感染、医療機器、医療品、労働形態、暴力などの危険と予防策	テキストの該当箇所を読む	授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
6	6. 事故分析と医療事故後の対応 ・事故発生時の初期対応の考え方と方法 ・紛争時の防止対策 ・事故事例をもとに事故分析を行い、予防策についてグループで検討する	グループ演習 テキストの該当箇所を読む	グループワーク・プレゼンテーション・授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
7	7. 看護学生の実習と安全 ・実習中の事故を予防するための方法を学ぶ	グループ演習 テキストの該当箇所を読む	グループワーク・授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する
8	8. 危険予知トレーニング(KYT)演習 ・KYTの手法を学ぶ ・KYTの手法で事例をもとに演習する	グループ演習 テキストの該当箇所を読む	グループワーク・プレゼンテーション・授業内容から、配布資料とテキストをよく読み整理する

講義名	4020055000	看護管理論					
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	市川　裕美子			

学習目標(到達目標)

1. 看護におけるマネジメントの基盤となる普遍的な要素や医療制度、マネジメントの意義について説明できる。
2. 看護サービスを安全で効果的かつ安定的に提供するための管理過程とマネジメントスキルについて説明できる。
3. 看護管理の基盤となる主な理論を説明できる。

授業概要(教育目的)

患者の安全・安楽を目指した看護活動の実践には技術だけでなく、看護管理や医療制度、看護制度についての知識が不可欠である。看護におけるマネジメントの意義・概要を学び、看護サービスの効果的で安全安定供給のためのマネジメント能力の基礎を養うとともに、看護管理や看護制度についての知識を体系的に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基本的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験による評価

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

ナーシング・グラフィカ　看護管理(メディカ出版)
他　必要時紹介する

講義時使用テキスト

学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門　第2版　日本看護協会出版会

資格との関連

看護師国家試験

学生へのメッセージ

管理はすべての人が行っていること。その基本と求められている能力などについて学びましょう。

実務との関連

担当教員は病院勤務経験、看護管理者としての経験もある。その経験に基づいて講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	導入・授業の進め方 第1章～第3章 ・マネジメントとは ・看護マネジメントとは ・医療におけるサービスの構造	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
2	第4章～第5章 ・組織の成り立ちと病院組織の基本的構造 ・目標管理	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
3	第6章　情報共有のしくみ ・情報とは何か ・診療記録と電子化 ・情報の取り扱いにおける注意事項 ・情報リテラシー	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
4	第7章～第8章 ・医療の中の協働 ・業務遂行のマネジメント	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
5	第9章～第11章 ・日本の医療制度と病院経営 ・医療安全の基本的な考え方 ・医療現場の感染管理の基本	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
6	第12章～第13章 ・医療現場における業務上の危険 ・災害対策の基本	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
7	第14章～第15章 ・看護職の法的責任 ・看護者の基本的責務	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。
8	第16章 ・看護職のキャリア開発	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理する。	テキストの該当箇所、配布資料を参考に授業の内容を整理し、論点を整理する。

講義名	4020056000	看護教育論					
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田中　克枝			

学習目標(到達目標)

1. 看護教育の理念、目的、教育制度の概略を説明できる。
2. 看護教育の教育課程、様々な教育形態について説明できる。
3. 看護教育の将来について、意見を述べることができる。

授業概要(教育目的)

看護教育の理念・意義、看護教育の変遷、教育課程、教育形態等に関する理論を体系的に学び、看護職の教育的背景から生涯教育における重要性と専門職としての継続教育の必要性を理解する。また、海外の看護教育も学び、日本の看護教育の将来の在り方を考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基本的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

課題レポートによる評価

課題に対するフィードバック

調べてきたもの、発表したものはその授業内、または次回の授業でフィードバックする。
試験(レポート)の成績の知りたい学生は個別に開示する。

参考文献

1)グレッグ美鈴・池西悦子編:看護教育学　看護を学ぶ自分と向き合う改訂第2版,南江堂,2022.
2)杉森みど里・舟島なをみ:看護教育学　第6版,医学書院,2020.

講義時使用テキスト

指定テキストなし。

資格との関連

学生へのメッセージ

積極的に講義に参加し、課題を見つけ調べ、次の講義に臨みましょう！

実務との関連

看護師の臨床経験や看護教員としての実務経験を生かして、看護教育学の話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	看護教育学とは;看護教育の理念・意義、看護教育の変遷 教育課程;教育制度、基礎教育・継続教育 (講義、グループワーク)	今までの講義、実習から看護教育について、自分の考えを整理する	配布資料を読み直し、整理する
2	教育形態;専門学校教育、大学教育、大学院教育、准看護師の教育など (講義、グループディスかション)	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、整理する
3	教育方法:講義・演習・臨地実習・ファール度ワーク他 (講義、グループディスカション)	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、整理する
4	看護基礎教育のカリキュラム開発、評価の考え方 (講義、グループディスカション)	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、整理する
5	演習①:臨地実習における教育と学習 (文献、インタネットから調査)	臨地実習の看護教育について調べる	調べたことをまとめる
6	演習②:海外の看護教育の在り方 (文献、インタネットから調査)	海外の看護教育について調べる	調べたことをまとめる
7	演習①②の発表	調べたことを発表できるように準備する	他の学生の発表を聞いて、関心のある事柄について自分でも調べ整理する
8	望ましい看護教育の在り方 (グループディカッション)	今までの配布資料を読み、ディスカッションした内容を振り返る。	課題についてレポートをまとめる

講義名	4020057000 家族看護論						
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本　保子		

学習目標(到達目標)

1. 家族看護の概要と必要性について説明できる。
2. 家族看護における看護者の役割と援助姿勢について説明できる。
3. 家族のライフサイクルに応じた発達課題やセルフケア機能に着目した援助方法について説明できる。
4. 家族のアセスメントの目的と概要が説明できる。
5. 健康問題を持つ家族の事例を通して基本的支援の方法を説明できる。

授業概要(教育目的)

家族を看護の対象として捉え、家族が有する発達課題や家族の健康に関する諸問題や支援について学ぶ。
家族を理解するための家族看護の諸理論、アセスメント、家族看護過程について学ぶ。
看護に対する多様なニーズに応え看護の質を高めることができるという立場から看護援助を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

課題レポートと定期試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・授業の終了時にリアクションペーパーを記入することで講義内容の振り返りを行い、適宜コメントし返却する。
・定期試験の成績を知りたい学生は個別に開示する。

参考文献

・鈴木和子、渡部祐子：家族看護学―理論と実践―　第5版　日本看護協会出版会,2019.
・森山美智子編：ファミリーナーシングプラクティス　家族看護の理論と実践,医学書院

講義時使用テキスト

山崎あけみ、原礼子編：看護学テキストNICE　家族看護学,改訂第3版, 南江堂,最新版.

資格との関連

看護師受験国家資格

学生へのメッセージ

講義は休まず受講すること。予習・復習が重要である。また、グループワークの際は積極的に意見を述べること。

実務との関連

担当者は看護師としての勤務経験があり、実務経験をもとに講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 家族看護とは 家族の定義、家族の要素、家族システム論、 家族看護学の歴史と動向	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
2	2. 看護学における家族の理解と考え方 ストレスに対処モデル、家族の構造、 パートナーシップ、現代社会と家族、 家族の多様性	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
3	3. 家族看護過程 (家族看護アセスメント・看護計画の立案・主な家族アセスメントモデル)	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
4	4. 家族を取り巻く社会的・文化的背景	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
5	5. 家族看護実践例からの学び、GW①	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
6	6. 家族看護実践例からの学び、GW②	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
7	7. 家族看護実践例からの学び、GW③	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。
8	8. 家族看護の課題	テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく。	講義内容を振り返り、要点を整理し不明な点は調べておくこと。

講義名	4020058000 救急看護						
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	今　明秀			

学習目標(到達目標)

1．救急時における看護職による医療行為の法的根拠を説明できる。
2．救急看護の対象の特徴と観察、アセスメントの視点を説明できる。
3．救急時の主な看護技術の内容及び実施時の注意点を説明できる。

授業概要(教育目的)

病気や事故、災害に遭遇した時の救急処置や施設における救急救命の基礎的知識、技術を学習する。また、救急医療の置かれた現状や問題について医療システム全体の中で捉え、救急医療の将来について看護の視点から総括して展望できるよう学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

課題レポートによる評価

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

1．系統看護学講座別巻　救急看護学　医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

積極的主体的に学習することを望む。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	救急医療・救急看護の定義と法的倫理的側面	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	救急看護の対象(患者・家族)の特徴	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	救急患者の観察とアセスメントの視点	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	演習：主要病態に対する救急処置と看護(心肺停止・意識障害・呼吸障害・ショック・循環障害)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	演習：主要病態に対する救急処置と看護(急性腹症・泌尿器・生殖器障害・外傷・熱傷・中毒)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	演習：主要病態に対する救急処置と看護(中毒・溺水・刺咬症・精神症状・脳死状態)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	演習：救急時の看護技術の内容および実施時の注意点	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	救急時に使用される医薬品	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	4020059001 リハビリテーション看護						
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	市川　裕美子			

学習目標(到達目標)

1. リハビリテーションの概念、障害と回復過程に応じた援助方法を理解し、人生の「再構築」のための支援のあり方を説明することができる。
2. 障害をもつ対象者および家族支援におけるリハビリテーション看護の特性と役割を説明することができる。

授業概要(教育目的)

リハビリテーションを必要とする対象とその家族への看護を学習する。総論として、リハビリテーションを必要とする対象の理解、リハビリテーションチームの定義・理念、リハビリテーションチームにおける看護の役割を理解する。各発達段階や障害の特性を踏まえ、小児、成人、高齢者、精神、地域の各領域におけるリハビリテーション看護の方法について学ぶ

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的方法を身につけている。

評価方法

定期試験及びレポートによる総合的評価

課題に対するフィードバック

試験、レポートの成績を知りたい学生には個別に対応する。

参考文献

1. 中西純子他著　成人看護学　リハビリテーション看護論　第3版　ヌーヴェルヒロカワ
2. 奥宮暁子他著　ナーシング・グラフィカ　成人看護学　リハビリテーション看護　メディカ出版

講義時使用テキスト

講義時テキストはなし。資料を配布する。

資格との関連

看護師国家試験

学生へのメッセージ

その人らしく生きることを支援し、QOLを高めていくことを目指して学習していきましょう。

実務との関連

担当教員全員は、病院勤務の実務経験がある。その経験に基づき講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	リハビリテーションの理念、リハビリテーション看護の概念・目的	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
2	成人看護領域におけるリハビリテーション看護の方法	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
3	リハビリテーションチームの定義・理念 在宅看護学領域におけるリハビリテーション看護の方法	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
4	高齢者看護学領域におけるリハビリテーション看護の方法	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
5	小児看護学領域におけるリハビリテーション看護の目的、対象者の特徴	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
6	小児看護学領域におけるリハビリテーション看護の方法 (脳性麻痺児、二分脊椎児の看護)	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
7	精神看護学領域における看護の目的	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。
8	精神看護学領域における看護の方法	参考文献の関連箇所を読む。	配布資料を読み直し、授業の内容・論点を整理する。

講義名	4020060001 緩和ケア論						
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	市川　裕美子			

学習目標(到達目標)

1. 緩和ケア、エンド・オブ・ライフの概念、チームアプローチ、コミュニケーション、倫理的課題
　について説明できる。
2. 緩和ケアを必要とする患者・家族の抱える全人的苦痛を理解し、対象の状況に応じた緩和ケア、
　エンド・オブ・ライフケアの方法について説明できる。
3. 緩和ケアにおける意思決定支援、緩和ケアの広がりについて説明できる。
4. 1～3を通して自己の援助者としての姿勢や自己の死生観について明確化できる。

授業概要(教育目的)

緩和ケアの概念ならびに緩和ケアを必要とする患者・家族が抱える全人的苦痛を理解し、緩和に必要なケアを実践するための看護上の知識を修得する。また、臨床でよく遭遇する事例を通して通して、その課題と対応や緩和ケアにより患者・家族のクオリティオブライフ(QOL)を改善する取り組みについて考究する。さらに一連の学習過程を通して、援助者としての姿勢と自己の死生観を明確化する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

・豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している
・科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている

評価方法

定期試験とグループワークなど自主的な学修で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験、レポートの成績を知りたい学生には個別に対応する。

講義時使用テキスト

なし
その都度資料を配布する。

参考文献

恒藤　暁、田村恵子編集：系統看護学講座、別巻「緩和ケア」、医学書院、東京、2020.
編者：宮下光令　成人看護学⑥　緩和ケア　ナーシンググラフィカ、大阪、2022.
谷本真理子　増島麻里子編集：NICE　看護学テキスト「エンドオブライフケア」南江堂、東京、2022.
その他授業時紹介する。

資格との関連

看護師免許取得に関連している教科である。

学生へのメッセージ

緩和ケア、エンド・オブ・ライフケアの理解を深め、自分の死生観をしっかり持てるよう、テキストや配布資料、文献をよく読み考える学習をして欲しい。

実務との関連

看護師としての実務経験あり。それらの経験をもとに緩和ケア、エンド・オブ・ライフケアについて講義する

授業計画表

	内容	予習	復習
1	エンドオブライフケア アドバンスケアプランニング 意思決定支援	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
2	緩和ケアの現状と展望 緩和ケアチームにおけるチームアプローチ 緩和ケアにおけるコミュニケーション 緩和ケアにおける倫理的課題	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
3	全人的ケアの実践 身体的ケア　その①	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
4	全人的ケアの実践 身体的ケア　その②	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
5	全人的ケアの実践 精神的　社会的　スピリチュアル(霊的)ケア	配布資料、テキストの該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
6	事例で学ぶエンドオブライフケア 多様な疾患や状態にある人のアセスメント、ケアの実際とポイント	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
7	臨死期のケア 家族のケア 医療スタッフのケア	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する
8	緩和ケア認定看護師の実践 緩和ケアの実際	配布資料の該当箇所を読む	配布資料を読み直し、参考テキストも使用しながら、授業の内容・論点を整理する

講義名	4020061000	災害看護活動論					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	坂本　弘子			

学習目標(到達目標)

1. 災害看護活動の法的基盤と実際にの看護活動の方法について説明できる。
2. 災害現場における救命処置と応急手当の方法を習得できる。

授業概要(教育目的)

近年、地球温暖化に伴う気候変動などの影響もあり災害の頻度や規模が拡大し、被害が増大している。本学の所在地は、地震・津波の多発地であり、常に災害の危険に瀕していると言える。災害がおこれば被災傷病者が発生し、当然医療・看護への要請が高くなる。そのため災害看護を理解し、災害時に適切な救援活動を行えるように、看護職としてのみならず、救援チームとして活動できるような知識・技術を身に付ける。地域的な特徴を生かして、災害看護を実践的に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

小テストと課題レポートで総合的に評価する

課題に対するフィードバック

小テスト・課題レポートの成績を知りたい学生には個別に対応する。

参考文献

救急看護(医学書院)
応急手当普及員講習テキスト
授業時適宜資料を配布する

講義時使用テキスト

災害看護学 (医学書院)

資格との関連

普通救命講習Ⅱ修了証
看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

災害現場での救命処置やトリアージに必要なフィジカルアセスメントを学ぶことで、災害看護活動に取り組み社会へ貢献しましょう。

実務との関連

看護師・救急救命士・応急手当普及員の資格を持ち、長い臨床経験をもとに、災害時に必要な救急看護について話しをする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	心肺蘇生法とAEDの使用方法	普通救命講習テキストを読む	小テストの見直し
2	出血時の止血法と骨折時の固定法 その他の応急手当	普通救命講習テキストを読む	小テストの見直し
3	災害看護と救急看護の違い	災害看護についての文献を読む	講義資料を読む
4	過去の災害の実情と体系的アプローチCSCATTTの必要性について	災害看護についての文献を読む	講義資料を読む
5	トリアージとフィジカルアセスメントについて	講義配布資料のトリアージとフィジカルアセスメントを読む	講義資料を読む
6	災害トリアージの実際①)(実技①)	講義配布資料から関連する箇所を読む	講義資料を読む
7	災害トリアージの実際②)(実技②)	講義配布資料から関連する箇所を読む	講義資料を読む
8	救護方法・運搬方法(実技)	講義配布資料から関連する箇所を読む	講義資料を読む

講義名	4020062000 国際看護活動論						
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	久保　宣子			

学習目標(到達目標)

1. 看護職として世界の人々の健康に目を向ける必要性を説明できる。
2. 紛争や貧困、様々な格差が人々の健康に与える影響について説明できる。
3. グローバリゼーションが進展している中で、保健医療においてどのような活動ができるか意見を述べる。
4. 多様な文化背景をもつ人々に適切なヘルスケアを提供できるよう異文化の対象理解を促進することができる。

授業概要(教育目的)

グローバリゼーションがますます進展している現在、同じ地球上に住む人間として、世界中の人々が互いに助けあい健康に生きていくことが求められている。看護職として、国内外の人々に関心を寄せながら文化背景を考慮しつつ、健康の向上のために国際的に協力することが期待されている。世界各国の人々の生活や健康状態の現実を見極め、日本の看護職として国際的な視野で協力活動ができるようその方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

課題レポート・リフレクションシートによる評価

課題に対するフィードバック

課題(レポート・リフレクションシート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 授業時適宜資料を配布する。

講義時使用テキスト

1. 国際看護学(医学書院)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。医療機関での実務経験をもとに国際看護について話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 国際看護とは　地球規模で考える必要性	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
2	2. 日本における国際化	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
3	3. 世界の健康問題	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
4	4. グルーバルヘルス	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
5	5. 多様な文化と看護	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
6	6. 文化を考慮した看護	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
7	7. 国際協力のしくみ	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。
8	8. 開発協力と看護	テキストの該当箇所を読んでくる。	テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる。

講義名	4020063000 へき地看護活動論						
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	壬生　寿子			

学習目標(到達目標)

1. へき地医療の理念、わが国・青森県のへき地保健医療対策を説明できる。
2. へき地の特性や地域住民の生活と健康について特徴を説明できる。
3. へき地医療、へき地看護活動の方法について特徴を説明できる。
4. へき地看護活動論で学んだことをこれからの看護にどのように活かすか説明できる。

授業概要(教育目的)

へき地では、その地域的特性から環境的・人的・物的にも限られた資源の中で、包括的な看護活動が必要となる。本授業ではへき地医療の理念を踏まえて、へき地の特性や地域住民の生活を理解し、ヘルスニーズに沿ったへき地医療看護の特徴について学ぶ。ICTを活用した遠隔地医療なども含めた関係機関との連携や協働体制の構築に関わる看護の機能・役割を考え、へき地における看護活動の方法を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

・各講義後のレポート、授業への参加度等で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

必要時、紹介する。

講義時使用テキスト

テキストは「なし」だが、講義ごとに資料を配布する。

資格との関連

へき地看護について、国家試験にも出題されてきている。

学生へのメッセージ

看護師の活躍する場も多様化している。医療が行き届かい場での人々の健康を守ることも看護師として
重要な役割である。
へき地看護を学ぶことで、広い視野で物事を考えることができ、看護の視点が広がると思われる。

実務との関連

一部の講義は実際に看護活動をしている看護師やゲストティーチャーが実施する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	へき地および僻地医療の定義と理念	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
2	わが国および青森県のへき地保健医療対策の理解	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
3	へき地における医療・看護活動の実際①	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
4	へき地における医療・看護活動の実際②	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
5	へき地における住民の生活と健康の理解	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
6	へき地看護におけるICT・AI活用について ・ゲストティーチャーによる講義	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
7	へき地で働く看護職に求められる専門性① ・グループワーク	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
8	へき地で働く看護職に求められる専門性② ・発表およびまとめ	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。

講義名	4020063001 僻地看護活動論						
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	壬生　寿子			

学習目標(到達目標)

1. へき地医療の理念、わが国・青森県のへき地保健医療対策を説明できる。
2. へき地の特性や地域住民の生活と健康について特徴を説明できる。
3. へき地医療、へき地看護活動の方法について特徴を説明できる。
4. へき地看護活動論で学んだことをこれからの看護にどのように活かすか説明できる。

授業概要(教育目的)

へき地では、その地域的特性から環境的・人的・物的にも限られた資源の中で、包括的な看護活動が必要となる。本授業ではへき地医療の理念を踏まえて、へき地の特性や地域住民の生活を理解し、ヘルスニーズに沿ったへき地医療看護の特徴について学ぶ。ICTを活用した遠隔地医療なども含めた関係機関との連携や協働体制の構築に関わる看護の機能・役割を考え、へき地における看護活動の方法を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

・各講義後のレポート、授業への参加度等で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

必要時、紹介する。

講義時使用テキスト

テキストは「なし」だが、講義ごとに資料を配布する。

資格との関連

へき地看護について、国家試験にも出題されてきている。

学生へのメッセージ

看護師の活躍する場も多様化している。医療が行き届かい場での人々の健康を守ることも看護師として
重要な役割である。
へき地看護を学ぶことで、広い視野で物事を考えることができ、看護の視点が広がると思われる。

実務との関連

一部の講義は実際に看護活動をしている看護師やゲストティーチャーが実施する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	へき地および僻地医療の定義と理念	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
2	わが国および青森県のへき地保健医療対策の理解	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
3	へき地における医療・看護活動の実際①	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
4	へき地における医療・看護活動の実際②	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
5	へき地における住民の生活と健康の理解	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
6	へき地看護におけるICT・AI活用について ・ゲストティーチャーによる講義	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
7	へき地で働く看護職に求められる専門性① ・グループワーク	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。
8	へき地で働く看護職に求められる専門性② ・発表およびまとめ	授業内容について文献・インターネット等で調べる	授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。

講義名	4020064000	統合看護実習					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	築場　理利子			

学習目標(到達目標)

1. 病院における看護の役割・機能と、看護管理の実際を説明できる。
2. 入退院時の看護チームおよび看護チーム員としての個々の看護師の役割を説明できる。
3. 医療チームにおける看護の役割と多職種協働の実際を説明できる。
4. 地域包括ケアシステムにおける地域連携・看護連携を説明できる。
5. 安全で安心な療養環境・職場環境づくりのための体制を説明できる。
6. 自己の看護観を深め、職業人としての課題を説明できる。

授業概要(教育目的)

1. 臨地実習の総まとめとして、地域包括ケアシステムをふまえた医療提供体制について理解を深め、医療チームの一員としての役割遂行をめざした看護実践能力を高める。
2. 看護専門職として専門性を発展させるための自己の課題を明らかにする。
めることにより、自己の看護観を確認し、今後の課題を明確にし、卒業後の学習への動機につなげる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

1. 日々の実習計画、看護計画などは教員や臨床指導者などに確認し、アドバイスを行う。
2. 毎日の実習の学びはカンファレンスでグループ内で共有し、学生同士意見交換したり、臨床指導者や教員からアドバイスがある。
3. 実習の評価について知りたい学生には個別で開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

指定テキスト無し。

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

実務との関連

担当教員全員が看護師として病院勤務経験がある。それに基づいて実習指導を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習時期：4年次前期(7月～8月) 実習期間：2週間 実習場所：八戸赤十字病院、青森労災病院、八戸市立市民病院、十和田市立中央病院 実習内容：実習要項に提示する。	看護技術項目は既実習で経験した項目を確認する。看護管理についてはテキスト、講義資料などを確認する。受け持ち患者の疾患や複数患者のケア方法などを自己学習する。	受け持ち患者は看護過程を展開する。実習全体を通してグループごとに選定した学習テーマについて学びをまとめて発表する。学習カードを記載する。

講義名	4020065000 公衆衛生看護学概論						
年度	2023	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	吉岡　幸子			

学習目標(到達目標)

1)公衆衛生看護(学)および公衆衛生看護活動とは何か説明できる。
2)公衆衛生看護活動の対象と対象の健康と生活について説明できる。
3)公衆衛生看護活動の支援とは何を理解することを通して、公衆衛生看護(学)の役割(専門性・独自性)についての考えを述べることができる。

授業概要(教育目的)

公衆衛生看護(学)の考え方を理解するために、公衆衛生看護(学)の成立基盤について学ぶ。また、公衆衛生看護の歴史を通して、公衆衛生看護(学)とは何か、その専門性・独自性を探究する姿勢を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験、課題の提出状況と内容、授業中および課題に関するグループワークやプレゼンテーションの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。
・課題に関するグループワークについては、毎回学習成果を記録・提出させ、それに対してその都度コメントすることによってフィードバックする。また、プレゼンテーションについては、質問や学生同士のディスカッションを促すことによってフィードバックする。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	公衆衛生看護の概念(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	公衆衛生看護の概念(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	公衆衛生看護の歴史的変遷(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	公衆衛生看護の歴史的変遷(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	社会環境の変化と健康課題(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	社会環境の変化と健康課題(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	社会環境の変化と健康課題(3)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	社会環境の変化と健康課題(4)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	社会環境の変化と健康課題(5)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	公衆衛生看護活動の方法(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	公衆衛生看護活動の方法(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	公衆衛生看護活動の方法(3)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	公衆衛生看護活動の方法(4)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020065001	公衆衛生看護学概論Ⅰ					
年度	2023	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	吉岡　幸子			

学習目標(到達目標)

1. 公衆衛生看護学の理念と概念について述べることができる。
2. 公衆衛生看護活動の対象について説明できる。
3. 公衆衛生看護活動の場と方法について説明できる。
4. 公衆衛生看護の多様性、専門性、独自性について考察することができる。

授業概要(教育目的)

公衆衛生・公衆衛生看護の理念や歴史的変遷から、現代社会の健康課題の多様性を理解した上で、公衆衛生看護活動の専門性と独自性を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験や小テスト・課題レポート等により総合的に評価する

課題に対するフィードバック

リアクションペーパーは毎回記載し、次回の講義時にコメントとともに返却する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、保健師国家試験受験資格必須科目である。

学生へのメッセージ

健康寿命の延伸が着実に延伸している中、地域における「地域ケアシステム」の重要性が問われており、住民と共に行なう地域づくりでは、看護職の活躍が期待されています。
行政における公衆衛生看護(保健師活動)は、学生さんにはかわかりにくいことが多いですが、実際に経験した事例をとおして、いかに身近で重要な活動であるかを講義の中で伝えます。また、外国人への支援、虐待事例対応、感染症への対応等、多様な文化や生活背景をもった住民に対して、どのような支援が必要なのかについて、一緒に考えていきましょう。

公衆衛生看護は、病気の有無、年齢等にかかわらず、地域で生活するすべての人を対象とした学問です。保健師養成課程を希望していなくても、地域における公衆衛生看護を是非学んでください。

実務との関連

長い保健師経験を生かし、講義を行います。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	公衆衛生看護の概念	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
2	公衆衛生看護の歴史的変遷	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
3	公衆衛生看護の対象	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
4	公衆衛生看護活動の場① 行政における活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
5	公衆衛生看護活動の場② 職域・学校における活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
6	公衆衛生看護活動の方法① 家庭訪問、健康診断・健康診査	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
7	公衆衛生看護活動の方法② 活動計画・実践・評価	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。
8	公衆衛生看護活動の実際 ゲストティーチャー(自治体に勤務する保健師)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	講義後は、授業内容を整理し、次回講義前に整理しておくこと。不明点があれば、インターネットなどを用いて最新情報を確認し、疑問の論点整理をして次回講義にのぞむこと。

講義名	4020082000	公衆衛生看護学概論Ⅱ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	看護
対象学科	3		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

公衆衛生看護学概論Ⅰで学んだことをもとに、公衆衛生看護(学)の成立基盤について学ぶ。また、公衆衛生看護の歴史および健康課題の変遷を通して公衆衛生看護の役割やその専門性・独自性を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	4020074000	公衆衛生看護支援論Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1)保健指導の基本保健指導に関する理論の概略を説明できる。
2)健康教育の展開方法を説明することができ、事例を用いて実践できる。

授業概要(教育目的)

公衆衛生看護活動に必要な保健指導・健康相談などのツールについて、保健師活動の基盤となる公衆衛生看護の実践技術の基本を教示する。保健指導全般に関する理論と展開、健康教育の展開と実践、個別保健指導の企画立案と健康相談、家庭訪問による援助の展開、地域組織活動の展開等の方法について、事例や演習を用いて実践的に教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
上野昌江、他編:公衆衛生看護学、中央法規
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護支援論Ⅰに関する講義・演習を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域保健活動のツールの概要と目的、対象の理解	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	保健指導の基本と概念	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	公衆衛生看護活動の理解:人々の健康行動の特性 公衆衛生看護活動のツール①:定義と理論	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	公衆衛生看護活動のツール②:定義と理論	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	公衆衛生看護活動のツール③:定義と理論(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	公衆衛生看護活動のツール④:企画と指導案の作成(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	地域保健活動の実際:市町村保健師の活動(ゲストティーチャー)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	公衆衛生看護活動のツール⑤:企画と指導案・媒体の作成(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	公衆衛生看護活動のツール⑥:指導案・媒体の作成(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	公衆衛生看護活動のツール⑦:指導案・媒体の作成(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	公衆衛生看護活動のツール⑧:指導案・媒体の作成(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	公衆衛生看護活動のツール⑨:指導案・媒体の作成、実施に向けたリハーサルと修正(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	公衆衛生看護活動のツール⑩:実施に向けたリハーサルと修正(グループワークとロールプレイの実施)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020075000	公衆衛生看護支援論Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1)個別保健指導の企画立案、健康相談における保健指導の展開について説明できる。
2)家庭訪問における保健指導などの展開について説明できる。
3)地域組織活動の展開について説明できる。

授業概要(教育目的)

公衆衛生看護活動に必要な保健指導・健康相談などのツールについて、保健師活動の基盤となる公衆衛生看護の実践技術の基本をもとに、保健指導全般に関する理論と展開、健康教育の展開と実践、個別保健指導の企画立案と健康相談、家庭訪問による援助の展開、地域組織活動の展開等の方法について、事例や演習を用いて実践的に教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
上野昌江、他編:公衆衛生看護学、医学書院
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護支援論Ⅱに関する講義・演習を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	復習・確認:対人支援・コミュニケーションについて	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	復習:保健指導の基本と対象	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	公衆衛生看護活動のツール:健康相談、各種健診と保健指導	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	公衆衛生看護活動のツール:家庭訪問の特徴と対象の理解	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	公衆衛生看護活動のツール:健康相談、各種健診と保健指導① 個人ワーク	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	公衆衛生看護活動のツール:健康相談、各種健診と保健指導② 個人ワークとロールプレイ(GW)の準備	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	公衆衛生看護活動のツール:健康相談、各種健診と保健指導③ ロールプレイ(GW)、発表準備、発表	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	公衆衛生看護活動のツール:健康相談、各種健診と保健指導④ 発表、まとめ、記録の整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	公衆衛生看護活動のツール:家庭訪問① 家庭訪問の実際と事例検討(乳幼児) 個人ワーク	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	公衆衛生看護活動のツール:家庭訪問② 家庭訪問の実際と事例検討(乳幼児) 個人ワークとGW	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	公衆衛生看護活動のツール:家庭訪問③ 事例検討と計画立案 個人ワークとGW、発表準備	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	公衆衛生看護活動のツール:家庭訪問④ 事例検討に対する訪問計画の発表 事例の追加(DVD視聴)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	公衆衛生看護活動のツール:家庭訪問⑤ 事例検討と計画立案 個人ワークとびGW	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020067000	公衆衛生看護活動展開論 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1)さまざまな対象に対する公衆衛生看護援助の基礎的知識について説明できる。
2)さまざまな健康状況・生活状況にある対象に対する公衆衛生看護援助の基礎的知識と方法について説明できる。
3)対象や健康課題に応じた生活の特徴から、健康課題および支援の特徴・方向性について説明できる。

授業概要(教育目的)

さまざまな対象に対して公衆衛生看護活動を展開できるように、その理論と方法を教授する。親子(母子)保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障がい者(児)保健活動、難病保健活動、感染症保健活動、歯科保健活動、学校保健活動、産業保健活動、地域包括ケア等について、事例や実践例を用いて実践的に教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学 .jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2 公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊 国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として大学病院、企業等に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護活動展開論に関する講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域保健活動における対象アプローチ:発達段階と健康課題および保健サービス	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	対象別:母子保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	対象別:母子保健活動②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	対象別:高齢者保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	対象別:成人保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	対象別:成人保健活動②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	健康課題別:障害者(児)保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	健康課題別:精神保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	健康課題別:難病保健活動、歯科保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	健康課題別:感染症保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	対象別:産業保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	対象別:産業保健活動の実際①(非常勤講師)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	対象別:産業保健活動の実際②(非常勤講師)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020076000	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ					
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1)さまざまな対象に対する公衆衛生看護援助の基礎的知識について説明できる。
2)さまざまな健康状況・生活状況にある対象に対する公衆衛生看護援助の基礎的知識と方法について説明できる。
3)対象や健康課題に応じた生活の特徴から、健康課題および支援の特徴・方向性について説明できる。

授業概要(教育目的)

さまざまな対象に対して公衆衛生看護活動を展開できるように、その理論と方法を教授する。親子(母子)保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障がい者(児)保健活動、難病保健活動、感染症保健活動、歯科保健活動、学校保健活動、産業保健活動、地域包括ケア等について、事例や実践例を用いて実践的に教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
上野昌江、他編:公衆衛生看護学、中央法規
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護活動展開論に関する講義を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域保健活動における対象アプローチ:発達段階と健康課題および保健サービス	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	対象別:母子保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	対象別:母子保健活動②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	対象別:高齢者保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	対象別:高齢者保健活動②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	対象別:成人保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	対象別:成人保健活動② 健康課題別:歯科保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	健康課題別:感染症保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	健康課題別::障害者(児)保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	健康課題別:精神保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	健康課題別:難病保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	対象別:産業保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	対象別:学校保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020077000	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1)地域保健活動家庭について理解し、地域診断のプロセスを理解できる。地域診断の家庭から、地域に顕在・潜在する健康課題を導きだすと同時に、その課題について住民とのパートナーシップのもと、効果的な介入の展開方法について検討することができる。
2)二次資料を活用して、実習地域における地域診断を展開、現時点での健康問題を明確にすることができる。また、実習時に収集する情報等を整理することができる。

授業概要(教育目的)

地域におけるヘルスケアシステムの構築等の基本的な公衆衛生看護の支援技術として、地域全体のヘルスケアシステムの向上を目指す地域診断を理解し、公衆衛生看護活動計画における理論と、立案・実施。評価の一連の過程について、具体例を用いて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護展開論Ⅱに関する講義・演習を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	秋学期演習ガイダンス(オリエンテーション) 実習地区における地域診断の進め方	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	地域診断①公衆衛生看護活動における地域保健活動家庭の理解と地域診断	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	地域診断②公衆衛生看護活動における地域保健活動家庭の理解と地域診断	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	地域診断③地域診断の展開:コミュニティ・アズ・パートナーモデルとは	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成① コミュニティコアの特定と情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成② コミュニティコアの特定と情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成③ コミュニティコアの特定と情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成④ コミュニティコアの特定と情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成⑤ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成⑥ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成⑦ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成⑧ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	地域診断の実際:既存資料を活用した地域診断の作成⑨ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020068000	公衆衛生看護管理論					
年度	2023	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	吉岡　幸子			

学習目標(到達目標)

1)公衆衛生看護管理の目的と機能の基本的考え方を説明できる。
2)住民の健康保持増進、地域ケアの質の確保のための施策化の方法について説明できる。
3)健康危機管理、リスクマネジメントの方法、住民の権利保障、情報公開と個人情報の保護の方法について説明できる。
4)地域保健研究の方法を身につける。

授業概要(教育目的)

公衆衛生看護管理の目的およびその機能を教示する。保健師が行う保健施策・事業の円滑な運営および人材育成等に必要な各種管理業務の方法を理解し、住民の健康保持増進、地域ケア(地域保健ケア)の質の確保のための施策化の方法について学ぶ。また、健康危機管理、リスクマネジメントの方法、住民の権利保障と情報公開、個人情報の保護の方法を身に付ける。保健師としてより質の高い公衆衛生看護活動を展開するための地域保健研究の方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

課題の提出状況と内容、授業中および課題に関するグループワークやプレゼンテーションの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。
・課題に関するグループワークについては、毎回学習成果を記録・提出させ、それに対してその都度コメントすることによってフィードバックする。また、プレゼンテーションについては、質問や学生同士のディスカッションを促すことによってフィードバックする。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学　.jp、インターメディカル

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2　公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3　対象別公衆衛生看護活動、医学書院
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生の指標増刊　国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	公衆衛生看護における管理とは:目的と特徴	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	公衆衛生看護管理の構造と機能 保健所機能の役割	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	公衆衛生看護管理の実際 予算管理・地区管理・個人情報の保護	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	公衆衛生看護活動の実際 健康危機管理(災害・感染症)とリスクマネージメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	公衆衛生看護活動の実際 地域包括ケアシステムの構築	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	公衆衛生看護における研究の意義①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	公衆衛生看護における研究の意義②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	保健所における保健師と健康危機管理(ゲストティーチャー)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとおしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020078000	公衆衛生看護支援実習					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	3年次
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1)実際の個別保健指導の見学から、個別保健指導の企画立案、健康相談における保健指導の展開について説明できる。
2)既存資料や情報をもとに地域特性を理解し、地区踏査について実施計画を立案することができる。
3)家庭訪問(訪問面接)の実際から、対象者の理解力や立場を考えた適切なコミュニケーションをとり、必要な情報を収集することができる。
4)地区踏査および家庭訪問(訪問面接)の実際から、地域住民の生活を理解し、生活全般や健康におよぼす地区特性を説明することができる。
5)地区踏査および家庭訪問(訪問面接)から、地域住民の生活と健康をアセスメントし、地域特性および健康課題を検討することができる。
6)地区踏査および家庭訪問(訪問面接)、地域保健活動の実際から、地域で生活する人々の特性を踏まえた健康を支援する技術の基本を理解することができる。

授業概要(教育目的)

1.公衆衛生看護活動に必要な保健指導・健康相談などのツールについて、保健師活動の基盤となる公衆衛生看護の実践技術の基本をもとに、保健指導全般に関する理論と展開、健康教育の展開と実践、個別保健指導の企画立案と健康相談、支援・援助の展開、地域組織活動の展開等の方法の実際を実践的に学ぶ。
2.地区踏査および家庭訪問(訪問面接)、地域保健活動の実際から、地域の個人・家族・集団の生活と健康をアセスメントし、地域特性の理解から、住民の生活および健康課題を見出す力を養う。また、住民との関りや地域保健活動への参加から、コミュニケーション能力を高め、地域で生活する人々の健康を支援する技術の基本を身に着ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

実習ガイダンスを含めた実習内容(事前準備、実習の取り組み状況・参加状況・グループワークの状況や貢献度、実習中・実習後のカンファレンス等での発言や意見交換の状況等)および実習態度(遅刻・欠席を含む態度全般)、実習記録物の提出状況と内容、学生の自己評価、実習指導者評価等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、実習記録等)はコメントして返却する。

参考文献

授業時使用したテキストおよび参考文献、資料等の全て。

講義時使用テキスト

授業時使用したテキスト(公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護支援論Ⅰ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ、公衆衛生看護管理論、その他関係する講義のテキスト等)

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護支援実習に対応する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.実習期間:1週間 2.実習時期:3年生秋～4年生春学期 3.実習場所:近隣地区・近隣市町村 4.実習内容:健康相談・保健指導、地区踏査、家庭訪問(訪問面接)、地域保健活動への参加	これまでの講義・演習内容を十分に復習し、事前課題をもとに確認する。デキストや参考書、実習要項を熟読し、実習目的・目標を理解し、自己の実習目標を立案する。	日々の学びについて実習記録をもとに整理する。また、実習後のディスカッション等を通じてグループワーク内で学びを共有し、自己の理解を踏まめる。さらに、実習で学んだ内容を整理し、まとめ、グループ発表を行う。

講義名	4020069000	公衆衛生看護学実習Ⅰ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1.保健所における実習
1)保健医療福祉行政における保健所の役割・機能の基本的考え方を説明できる。
2)保健所の主な業務内容を説明できる。
3)保健所に所属する保健師の役割と主な業務内容を説明できる。
4)保健所の円滑な運営のための公衆衛生看護管理の基本的考え方を説明できる。

授業概要(教育目的)

地域保健における保健福祉サービス提供システムの構築、運営とマネジメントについて、実際の保健所事業の体験をとおして理解を深める。保健所および保健サービス提供体制、公衆衛生看護活動の実際を体験して理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

実習ガイダンスを含めた実習内容(事前準備、実習の取り組み状況・参加状況・グループワークの状況や貢献度、実習中・実習後のカンファレンス等での発言や意見交換の状況等)および実習態度(遅刻・欠席を含む態度全般)、実習記録物の提出状況と内容、学生の自己評価、実習指導者評価等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)はコメントして返却する。

参考文献

授業時使用したテキストおよび参考文献、資料等の全て。

講義時使用テキスト

授業時使用したテキスト(公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護支援論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護管理論、その他関係する講義のテキスト等)

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護学実習Ⅰに対応する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.実習期間:1週間 2.実習時期:4年次秋学期 3.実習場所:青森県内の保健所(県型保健所または政令市型保健所) 4.実習内容:実習保健所に所属する保健師の支持のもと、保健師と行動を共にし、保健所における保健師業務を実際に体験する。実習内容の詳細については実習要項で提示する。	これまでの講義・演習内容を十分に復習し、事前課題をもとに確認する。テキストや参考書、実習要項を熟読し、実習目的・目標を理解し、自己の実習目標を立案する。	日々の学びについて実習記録をもとに整理する。また、実習後のディスカッション等を通じてグループワーク内で学びを共有し、自己の理解を踏まめる。さらに、実習で学んだ内容を整理し、カンファレンスを行い、まとめレポートを作成する

講義名	4020070000	公衆衛生看護学実習Ⅱ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子			

学習目標(到達目標)

1)保健医療福祉行政における市町村および保健師の役割・機能の基本的考え方を説明できる。
2)市町村における保健福祉事業の目的や展開プロセスを説明できる。
3)住民特性・地域特性に合わせた保健事業、関連職種、関係機関との連携について説明できる。
4)労働者の健康を守る産業保健サービス提供のシステムと組織について説明できる。

授業概要(教育目的)

市町村における保健サービス提供体制、公衆衛生看護活動の実際を体験する。市町村における保健福祉事業の目的や展開プロセスを理解し、住民特性・地域特性に合わせた保健事業、関連職種との連携の実際について学ぶ。産業保健における労働者に対する保健福祉サービスの構築、運営とマネジメントについて、実際の事業所事業の体験をとおして理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

実習ガイダンスを含めた実習内容(事前準備、実習の取り組み状況・参加状況・グループワークの状況や貢献度、実習中・実習後のカンファレンス等での発言や意見交換の状況等)および実習態度(遅刻・欠席を含む態度全般)、実習記録物の提出状況と内容、学生の自己評価、実習指導者評価等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)はコメントして返却する。

参考文献

授業時使用したテキストおよび参考文献、資料等の全て。

講義時使用テキスト

授業時使用したテキスト(公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護支援論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護管理論、その他関係する講義等)

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

学生へのメッセージ

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護学実習Ⅱに対応する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習期間:3週間 実習期間:4年次秋学期 実習場所:青森県内の市町村および産業保健に関わる施設 実習内容:実習場所に所属する保健師と行動を共にし、地域住民及び労働者の健康の保持増進のための保健福祉サービス提供のシステムおよび保健師の働きを学習する。実習内容の詳細については実習要項で提示する。	これまでの講義・演習内容を十分に復習し、事前課題をもとに確認する。テキストや参考書、実習要項を熟読し、実習目的・目標を理解し、自己の実習目標を立案する。	日々の学びについて実習記録をもとに整理する。また、実習後のディスカッション等を通じてグループワーク内で学びを共有し、自己の理解を踏まめる。さらに、実習で学んだ内容を整理し、カンファレンスを行い、まとめレポートを作成する

講義名	4020072421 看護卒業研究（高橋正知）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	高橋　正知		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

看護卒業研究は論文の要点を抽出し、明らかにされた部分と課題として今後検討すべき事項を整理する能力を鍛えること、また、論文を自ら作成する過程を学ぶことが主目的であり、研究発表の仕方やスライドの作成などの基本的な方法を身に付けて欲しい。

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072424	看護卒業研究（田中克枝）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	田中　克枝			

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072425	看護卒業研究（壬生寿子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	壬生　寿子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それに基づいて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072427	看護卒業研究（小沢久美子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	小沢　久美子			

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072431 看護卒業研究（木村緑）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	木村　緑		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072432 看護卒業研究（三浦広美）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	三浦　広美		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072433	看護卒業研究（切明美保子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	切明　美保子			

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール:担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習:医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会:発表と運営 14. 研究成果の学内報告会:発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072434	看護卒業研究（市川裕美子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川　裕美子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072435 看護卒業研究（坂本保子）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本　保子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072437 看護卒業研究（坂本弘子）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本　弘子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。
3. 卒業研究論文として成果をまとめることができる。
4. ゼミ内または学内において成果を発表し意見交換することができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール:担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習:医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会:発表と運営 14. 研究成果の学内報告会:発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072450	看護卒業研究（久保宣子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保　宣子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072451 看護卒業研究（溝江弓恵）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	溝江　弓恵		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072452	看護卒業研究（古舘美喜子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	古舘　美喜子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072453	看護卒業研究（佐々木真湖）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	佐々木　真湖			

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072454	看護卒業研究（西川健）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	西川　健		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072455 看護卒業研究（吉岡幸子）						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	吉岡　幸子		

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072456	看護卒業研究（樋口日出子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	樋口　日出子			

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール:担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習:医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会:発表と運営 14. 研究成果の学内報告会:発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。

講義名	4020072457	看護卒業研究（築場理利子）					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)	築場　理利子			

学習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどついて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 卒業研究ガイダンス(オリエンテーション)、研究課題提出 2. ゼミナール：担当教員別グループワーク 3. 課題学習・ゼミ内発表 4. 文献検索演習：医学中央雑誌Webの利用、その他の検索 5. 先行研究文献のレビュー・クリティーク 6. 研究計画の立案 7. 研究倫理審査手続き 8. 外部機関への研究協力の依頼(必要がある場合) 9. 調査・実験等の実施 10. 収集されたデータの取りまとめ、入力、解析(必要のある場合) 11. 課題の考察 12. 論文作成・提出 13. 研究成果のゼミ内報告会：発表と運営 14. 研究成果の学内報告会：発表と運営 15. 卒業研究論文の抄録集および論文集の作成・製本	研究課題に沿って先行研究の文献レビュー・クリティークしたり、研究準備などそれぞれの指導のもとに予習する。	ゼミのメンバーで、文献をまとめたり、研究計画などまとめたり、結果、考察をまとめたりする。